

miratap

システムキッチン

ジオーラ〈ウォール型、アイランド・ペニンシュラ型〉

組立設置説明書

01-GER01S-02

もくじ

安全上のご注意	2	
各部のなまえ	6	
部品一覧表	7	
各プラン納まり	8	
施工時に必要な主な工具類	8	
取 付 け か た	ウォール型	9
	アイランド・ペニンシュラ型	27
	〈スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)〉	41
	〈背面収納タイプ〉	51
	食洗機の設置のしかた	57
	部材の取付け	59
	調整	62
	組立設置後の確認	裏表紙

- 組立設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に組立設置してください。
特に「安全上のご注意」（2～5ページ）は、組立設置前に必ずお読みください。
- 組立設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で組立設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その組立設置が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 開梱時に外観確認を行ってください。
組立設置後に確認されたキズ、破損などは保証対象外となります。
- 配管工事は、すべて「水道法」「建築基準法」「各都市の条例、規定」に準じて行ってください。
- 電気配線工事は、「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。
- 組立設置後（通電後）に、必ず動作確認を行ってください。
お客様への引き渡し時（使い始め）に、調整不備などで正常に動作しない場合は対応をお願いします。
- 梱包材は、組立設置中・組立設置完了後の養生にもお使いください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 取扱説明書、保証書は、必ずお客様にお渡しください。（組立設置完了後、使いかたを説明してください。）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■ 誤った組立設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

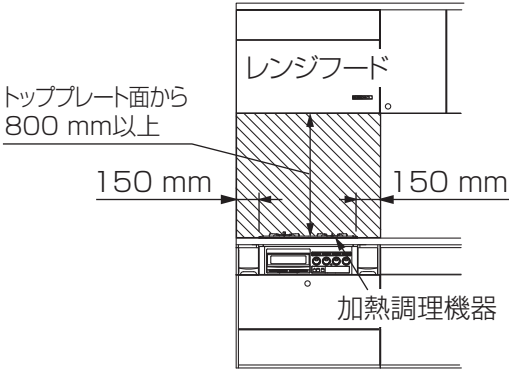


気をつけていただく内容です。

安全上のご注意



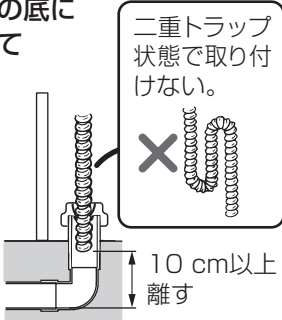
警告

 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造したりしない 思わぬ事故の原因になることがあります。	外気と通じる隙間は合板などを利用して必ず埋める ガスの火が消えたり、機器内部の「焼損・火災」の原因となります。
 禁止	レンジフード横には一般キャビネットを設置しない (不燃ウォールキャビネットを使用してください) 不燃ウォールキャビネットであっても、斜線部分にかかってはいけません。  火災のおそれがあります。 さらに火災予防条例の規制があります。 特定の安全装置を備えた加熱機器の場合は異なります。 詳しくは加熱機器に付属の説明書を参照してください。	電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行う 火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。 下地材の材料仕様は住宅(建築物)との兼ね合いがあるので、現場監督・建築士などと相談のうえ、仕様決定する 不適切な材料を使用すると十分な強度が得られず、落下し、事故の原因となります。 取付け作業時はヘルメット、安全靴・保護手袋などを着用する キャビネットの角で頭を打ったり、落下物による打撲などの事故の原因となります。 キャビネットの固定には、必ず指定の取付け部品、ねじ類を使用する 落下して、けがの原因となります。 ワークトップやキャビネットは、必ず保護手袋をして取り扱う けがをするおそれがあります。



必ず守る

⚠ 注意

	ワークトップ端部に注意する けがをするおそれがあります。	キッチンに組み込まれる、電気製品・加熱機器・レンジフード・その他機器については、その商品の各説明書・注意表示通りに、正しく取り付ける 思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
	搬入・設置時は商品の取扱いに注意する ワークトップやエンドパネル、扉、引出しの化粧面はカケやキズが付きやすい素材を採用しています。商品の角をぶつけたり、商品を落下・転倒させないように取扱いには十分注意してください。	
 禁止	扉・引出しにぶら下がったり、扉を大きく開けすぎない 扉や引出しが外れて、けがや、破損をするおそれがあります。	設置仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用する 人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。
	排水ホースは排水管の底に当てたり、たるませて取り付けない 排水能力が低下してシンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ホースを適切な長さに切断してください。 	
 必ず守る	排水管の接続部は確実に締め付ける 水漏れし、不快な臭い、かびの発生、腐食の原因となります。	ねじで固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、頭(スリワリ⊕)がつぶれないようにする 落下して、けがの原因となります。 棚板を設置するときは、棚受けを隙間のないよう根元まで確実に差し込む 棚板がはずれ収納物が落下し、けがをするおそれがあります。 設置完了後は、棚板、引出し、扉が確実に取り付けられていることを確認し、傾き、がたつきがある場合は、正しくセットする 棚板、引出し、扉などが落下して、けがの原因となります。
	防臭キャップと排水管の接続は接着剤またはシーリング材で必ずシールする シールが不完全な場合、臭気が発生したり、湯気が上がり、キャビネットや床などが腐るおそれがあります。	

安全上のご注意

搬入時のご注意

- **重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。**
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
 ※車上渡しとなります。

- **商品の搬入経路を確保してください。**

大型の商品を設置される場合、商品が廊下や階段を曲がれない、玄関から入らないなどの理由で搬入できない場合があります。下記の内容をご参考に、搬入経路を確認してください。

チェック項目	
建物の入り口	高さは十分にありますか？
エレベーター	商品と作業者が2名以上入るスペースはありますか？
階段	手すりなどで狭くなっていませんか？階段の高さや形状、急な傾斜の有無を確認してください。
玄関ドア	幅・高さは十分にありますか？手すりなど、飛び出している部分はありませんか？

- **商品の取扱いには十分に注意してください。**

基本的に搬入は梱包された状態で行いますが、ワークトップなどの化粧面はカケやキズが付きやすい素材のため、商品の角をぶつけたり、落とさないように取扱いには十分注意してください。

組立設置前のご注意

- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。
- 倒れやすいキャビネットは、梱包の注意書きに従い、保管してください。
- ベースキャビネットを設置する後壁部の配管貫通部、内壁接合部などに隙間がある場合には、隙間を埋めて外気からの風の影響を受けないようにしてください。
(ガス加熱機器の炎がゆらいだり、火が消えたりします。)
- 商品を開梱したら外観に損傷がないことをご確認ください。
(躯体取付け済み商品の損傷は、保証対象外となりますので、取付け前に必ずご確認ください。)
- キャビネットに取り付けられている梱包補強材を取り外してください。
- 商品の養生は下記の注意事項を厳守ください。
 - ①梱包の段ボール・養生紙などを用い養生してください。
 - ②組立設置途中でも工具の落下などによるキズや破損防止のためワークトップの表面やシンク、加熱機器など部分的に養生してください。
 - ③組立設置完了後、内装工事が続いて行われるときや引き渡しまでに日数があるときには、商品全体を養生してください。
 - ④養生テープは直接商品に貼らないでください。
 - ⑤養生テープは粘着力の弱い養生紙専用テープを使用してください。
- 引出しや扉に汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
- 温度変化によるワークトップ寸法の伸縮がありますので、両端壁プランの場合、躯体は両端各2 mm以上大きく仕上げてください。

組立設置前の確認

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付け用下地の位置および寸法
(桟木30mm×90mm以上、または幅100mm以上の強度のある硬い木材、もしくは12mm以上の合板)
- 必要な給水給湯管・排水管・ガス配管・電気配線の位置および接続方法
- ガス種・電圧(100V/200V)・周波数
- レンジフード用の開口(ダクト)の位置および寸法
- 火災予防条例に準拠したレンジフード・コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法

警告



キャビネット・レンジフードなどを取り付ける取付け用下地(桟木30mm×90mm以上、または幅100mm以上の強度のある硬い木材、もしくは12mm以上の合板)が指定どおりを使用されていることを確認してから取り付けてください。
(取付け用桟木に十分なねじ保持力がなく、使用中に落下し、けがをするおそれがあります)

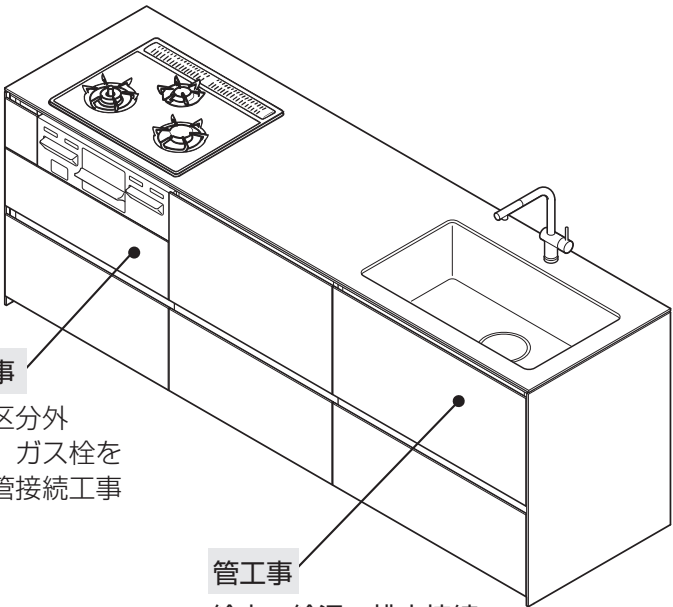
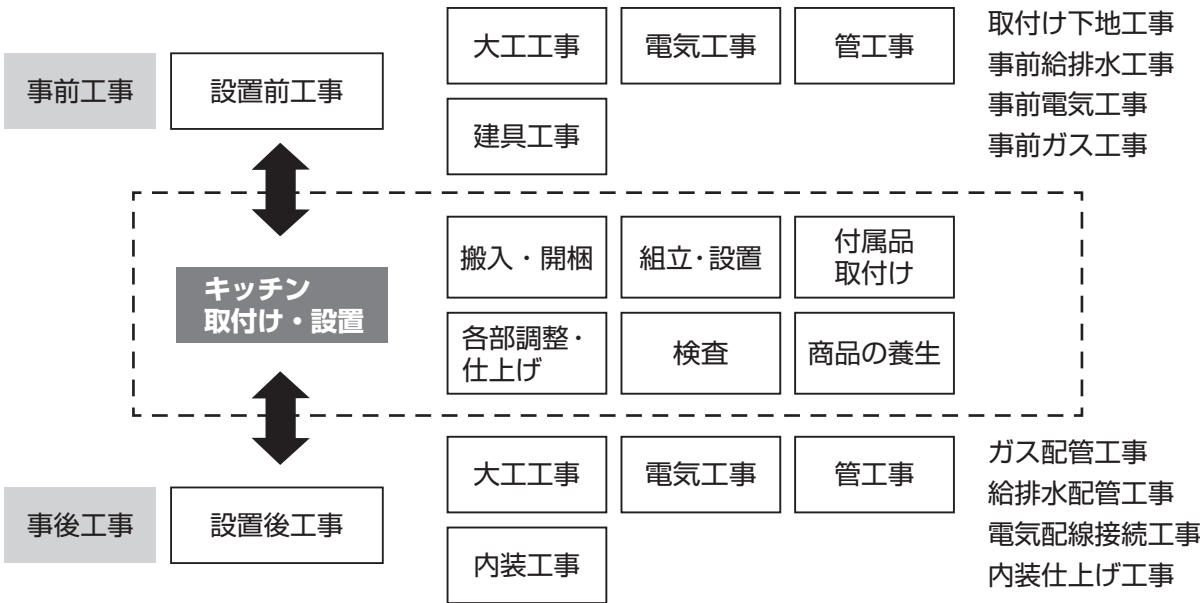
■「キッチンの取付け・設置」とキャビネット工事区分

警告



必ず守る

本説明書は、システムキッチンの本体組立・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。流通業者（販売店）を通して「本体の組立・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチンの本体組立・設置」を区別して行ってください。



ガス管工事
建設工事区分外
であるが、ガス栓を
含めた配管接続工事

管工事
給水・給湯・排水接続

電気工事
コンセント利用以外の配線接続
（流し元灯、IHクッキング
ヒーター、食器洗い乾燥機など）

内装仕上げ工事 大工工事
キッチン取付け・設置のための
下地、プロペラダクト開口、
壁面・床面の内装仕上げ

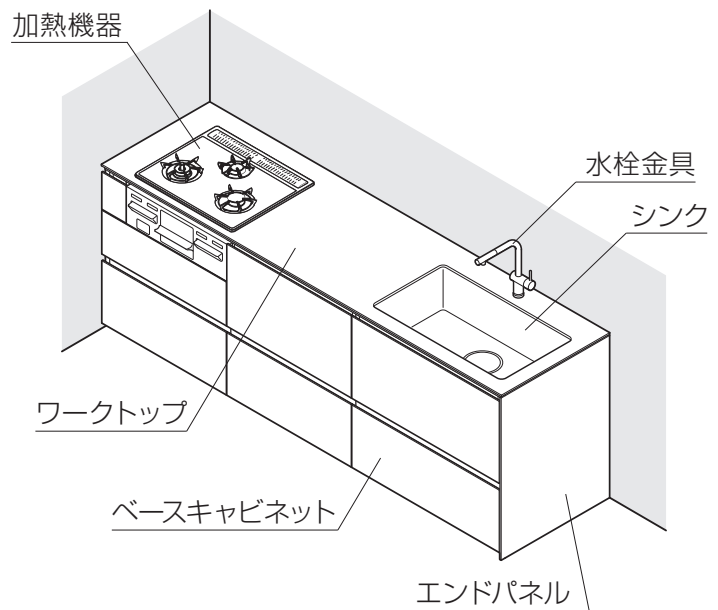
建具工事
窓サッシの取付け

安全上のご注意

各部のなまえ

■ ウォール型

➡ 9 ページ ~

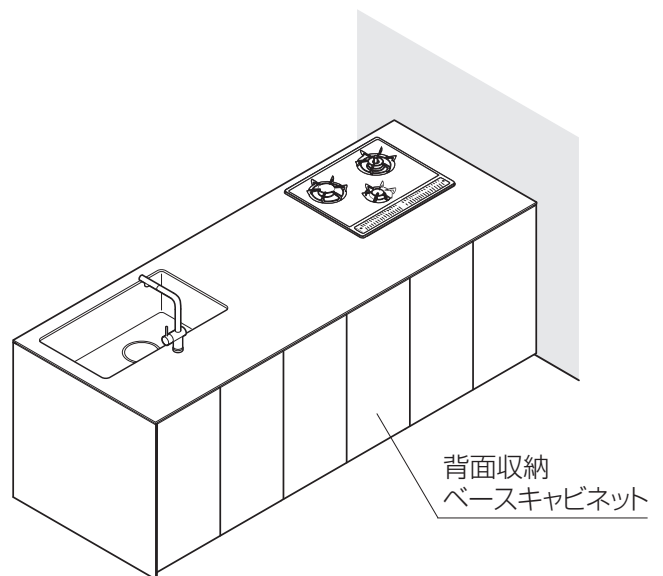
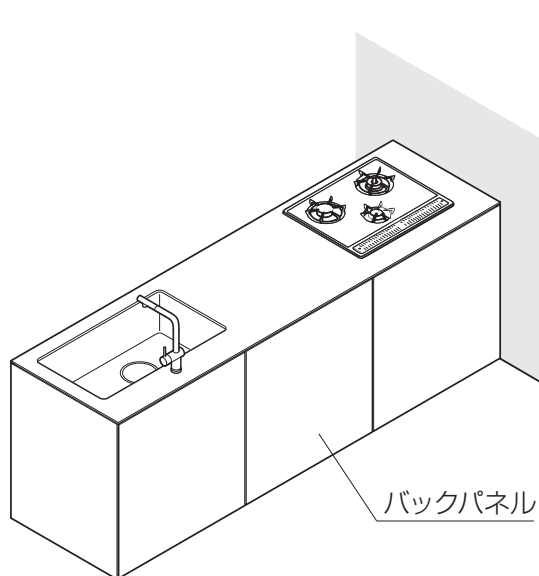


■ アイランド・ペニンシュラ型

<スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)>

<背面収納タイプ>

➡ 27 ページ ~



部品一覧表

[寸法単位 : mm]

■ 取付部品箱

※プランによって、ねじや金具などが余る場合があります。

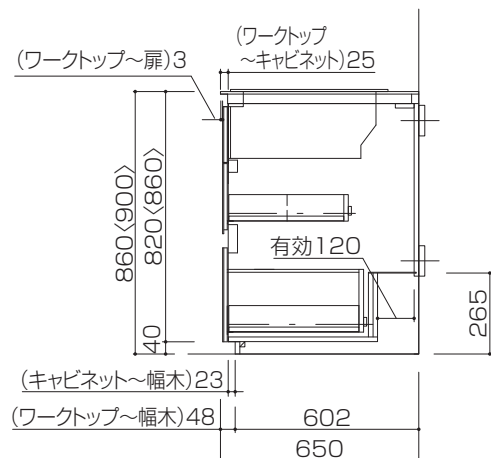
部品名	入数	ウォール型		アイランド型		ペニンシュラ		グリルあり コンロの場合	輸入食洗 の場合	深型食洗 の場合
		片側壁面	両側壁面	バックパネル	背面収納	バックパネル	背面収納			
連結用ねじ コーススレッド $\oplus\phi 4\times 28$		100	100	100	100	100	100	—	—	—
壁固定用ねじ (ウォール型) コーススレッド $\oplus\phi 5.3\times 60$		40	40	40	40	40	40	—	—	—
壁固定用ねじ (ペニンシュラ) コーススレッド $\oplus\phi 4.1\times 75$		10	10	10	10	10	10	—	—	—
フィラー固定用ねじ タッピンねじ $\oplus\phi 4\times 35$		30	30	30	30	30	30	—	—	—
トラスタッピンねじ $\oplus\phi 3.5\times 16$		15	15	15	15	15	15	—	—	—
座金		10	10	10	10	10	10	—	—	—
化粧キャップ		110	110	110	110	110	110	—	—	—
スペーサー		20	20	20	20	20	20	—	—	—
床固定棧 (キャビネット固定用L=420mm)		3 (廃棄)	3 (廃棄)	3	3	3	3	—	—	—
フィラー下地材		2	4	—	—	2	2	—	—	—
仕上げフィラー材 (両面テープ付)		1	2	—	—	2	2	—	—	—
天板下バックアップ用角材 (短手用)(両面テープ付)		1 (L=619mm)	2 (L=619mm)	—	—	1 (L=615mm)	1 (L=840mm)	—	—	—
天板下バックアップ用角材 (長手用 : L=900mm) (両面テープ付)		3	3	—	—	—	—	—	—	—
木口テープ(スペーサー)エンドパネル用		2	—	4	6	2	3	—	—	—
木口テープ(スペーサー)バックパネル用		—	—	12	—	12	—	—	—	—
隙間隠しEPDMゴムスポンジシール材 (水密発泡パッキン)エンドパネル用		1	—	2	2	1	1	—	—	—
隙間隠しEPDMゴムスポンジシール材 (水密発泡パッキン)バックパネル用		—	—	3	—	3	—	—	—	—
バックパネルパッキン		—	—	12	—	12	—	—	—	—
バックパネル当たり材 (バックパネル固定用L=900mm)		—	—	3	—	3	—	—	—	—
背板棧		—	—	—	—	—	—	—	2	2
固定金具		—	—	—	—	—	—	—	8	8
背板棧固定用連結ねじ トラスタッピンねじ $\oplus\phi 3.5\times 14$		—	—	—	—	—	—	—	16	16
巾木固定具 (オス)		—	—	—	—	—	—	—	2	—
巾木固定具 (メス)		—	—	—	—	—	—	—	2	—
巾木固定具用固定ねじ 皿ねじ $\oplus\phi 3.5\times 14$		—	—	—	—	—	—	—	8	—
シーリングプレート		—	—	—	—	—	—	—	1	—
コンロフィラー		—	—	—	—	—	—	1	—	—
コンロフィラー固定用ねじ 皿タッピンねじ $\oplus\phi 3.5\times 10$		—	—	—	—	—	—	3	—	—
取扱説明書・組立設置説明書		1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	—	—	—

各プラン納まり

※＜＞の寸法は、ワークトップ高さH900の場合を示す。

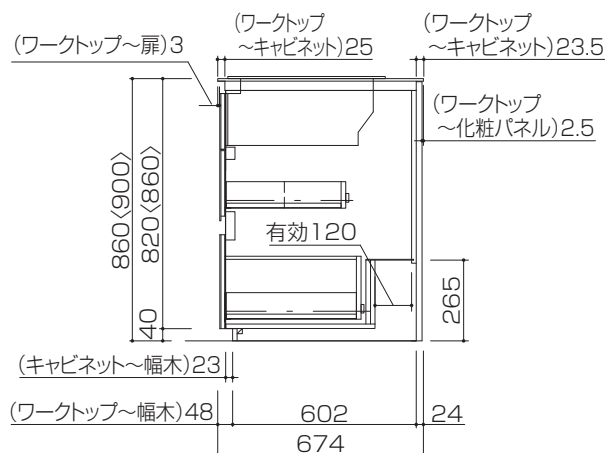
[寸法単位：mm]

■ ウォール型

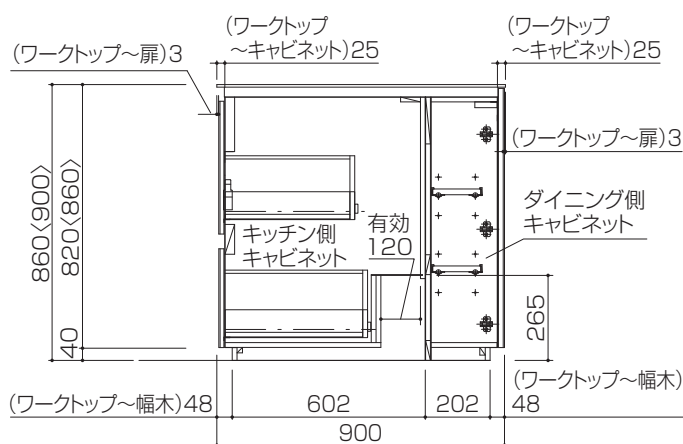


■ アイランド・ペニンシュラ型

<スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)>

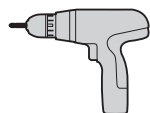


<背面収納タイプ>



施工時に必要な主な工具類

- ・インパクトドライバー
- ・電動ドライバー
- ・⊕ドライバー
- ・アングルドライバー
- ・水準器(オートレーザー)



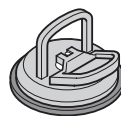
- ・はさみ



- ・カッターナイフ



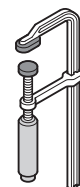
- ・サクシヨンリフター
(スタンダードタイプ
(バックパネルタイプ)の
場合使用)



- ・きり(2.8φ、4.5φ、6φ)



- ・L型クランプ



- ・トルクスドライバー(T20)
(輸入食洗機設置の場合使用)



- ・排水トラップ
固定ナット
締付工具



ウォール型

[寸法単位: mm]

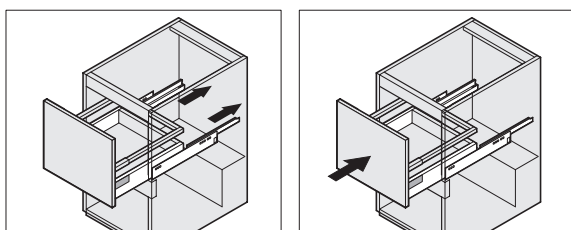
取付けかた

1 ベースキャビネットの取付け

1. ベースキャビネットの引出しの取外し

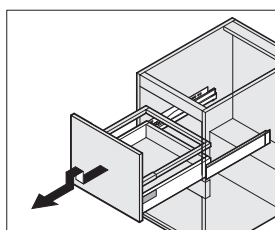
※ 施工前に、必ず引出しを全て取り外してください。
引出しを付けたままの施工は大変危険です。

引出しの入れかた



“カチャ”という音で引出しが正しく入ったかどうか確認できます。

引出しの外しかた



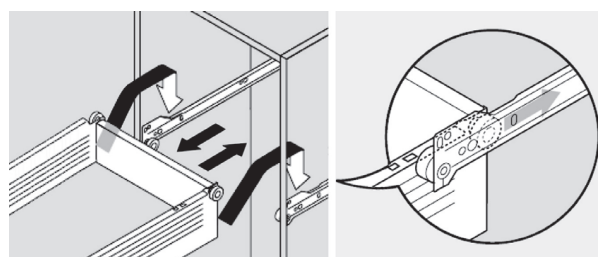
引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引く。

グリル脇小引出しの入れかた

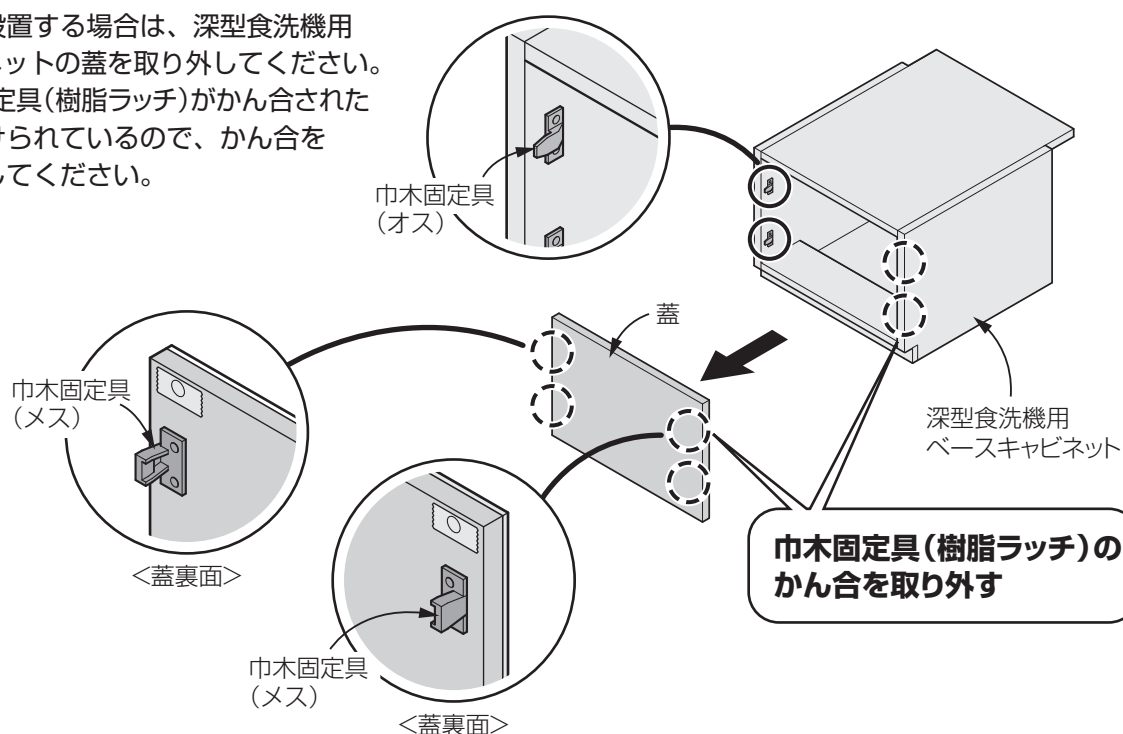
引出しを少し上に持ち上げながらレールに入れる。

グリル脇小引出しの外しかた

引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引く。



※ 深型食洗機を設置する場合は、深型食洗機用ベースキャビネットの蓋を取り外してください。その際、巾木固定具(樹脂ラッチ)がかん合された状態で取り付けられているので、かん合を外して取り外してください。

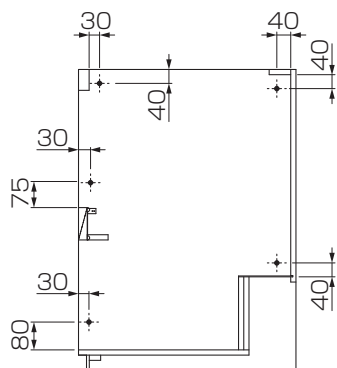


2. ベースキャビネットの下穴加工

※＜＞の寸法は、ワークトップ高さH900の場合を示す。

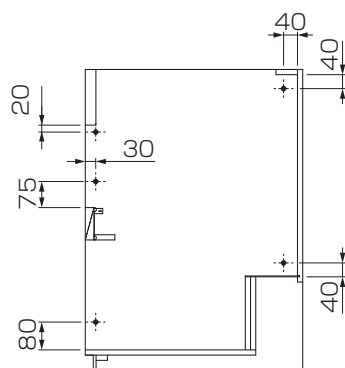
ベースキャビネットの各ねじ固定位置に下穴をあける。下穴加工位置は、以下の図面を参照してください。

■ キャビネット連結用 下穴加工位置（φ4.5mm、深さ15mm程度）



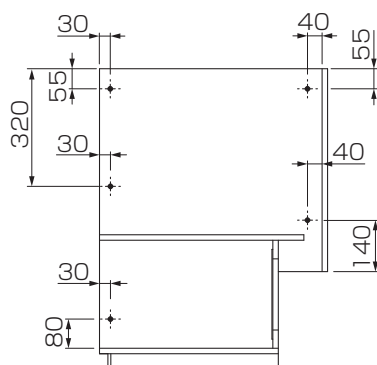
＜調理下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)



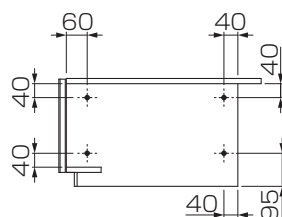
＜シンク下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)



＜浅型食洗キャビネット 側面図＞

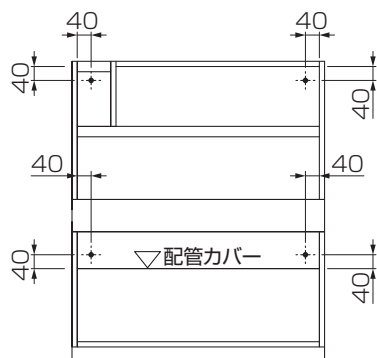
固定位置(5か所)



＜深型食洗キャビネット 側面図＞

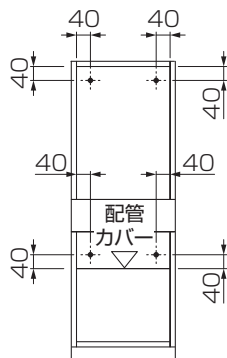
固定位置(4か所)

■ キャビネット壁面固定用 下穴加工位置（φ6mm、深さ15mm程度）



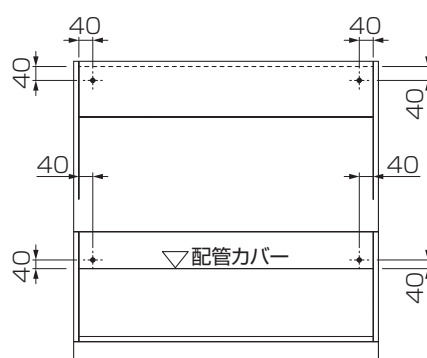
＜コンロ下ベースキャビネット 正面図＞

固定位置(4か所)



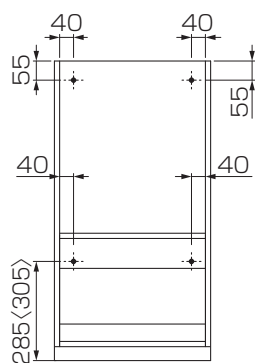
＜調理下ベースキャビネット 正面図＞

固定位置(4か所)



＜シンク下ベースキャビネット 正面図＞

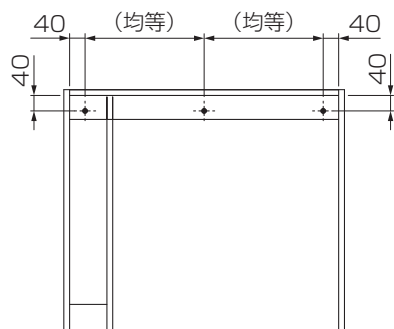
固定位置(4か所)



＜浅型食洗キャビネット 正面図＞

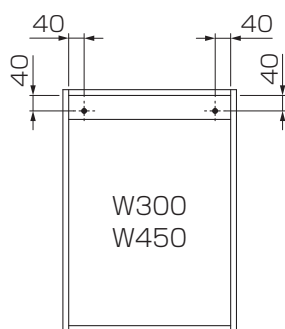
固定位置(4か所)

■ ワークトップ固定用 下穴加工位置 (φ4.5mm、深さ15mm程度)

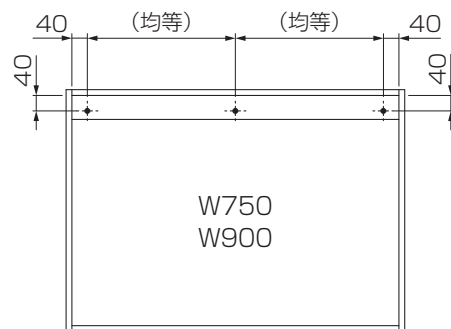


＜コンロ下ベースキャビネット 上面図＞

固定位置(3か所)



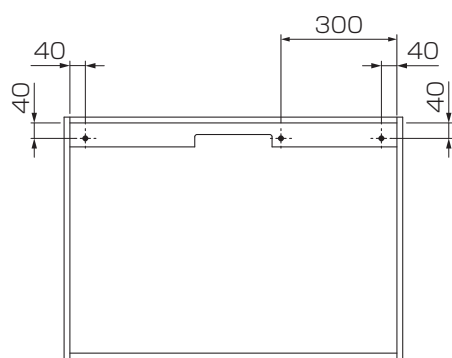
W300
W450



W750
W900

＜調理下ベースキャビネット 上面図＞

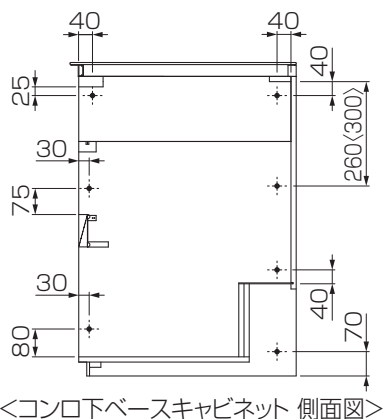
固定位置(W300・450:2か所/W750・900:3か所)



＜シンク下ベースキャビネット 上面図＞

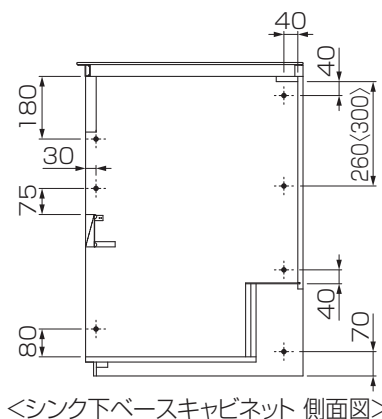
固定位置(3か所)

■ エンドパネル固定用 下穴加工位置 (φ4.5mm、深さ15mm程度) ※〈 〉の寸法は、ワークトップ高さH900の場合を示す。



＜コンロ下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(7か所)



＜シンク下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(7か所)

※シンク下ベースキャビネットは、シンクを避けた位置に下穴をあけてください。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

アイランド・ペニンシュラ型は、33～40ページ を参照してください。

3. ベースキャビネットの設置前加工

壁面に設置するキャビネットには以下の作業をしてください

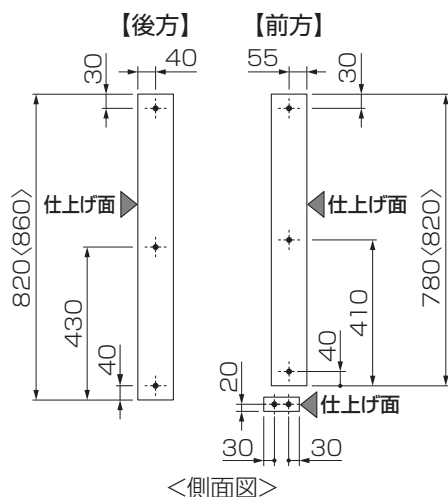
フィラー下地材の取付け

- ① フィラー下地材に下穴をあける。
(φ4.5mm、深さ25mm程度)

■ 下穴加工位置(フィラー下地材固定用)

※〈 〉は天板高H900の場合の寸法。

※仕上げ面の向きに注意してください。

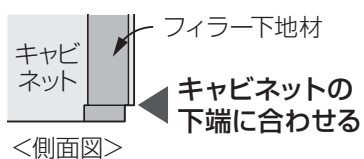
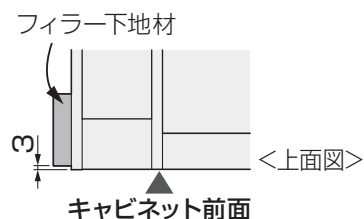
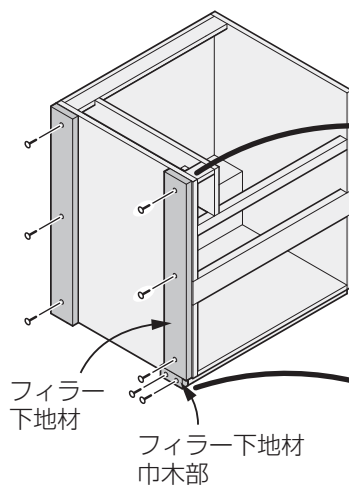


固定下穴(φ4.5)位置(8か所)

- ② キャビネット外側からタッピンねじφ4×35mmで固定する。

※前面上部のフィラー下地材は、キャビネットの下端に合わせ、
前面から3mm下げて取り付けてください。

※巾木部のフィラー下地材は、キャビネットの巾木同面で
合わせて取り付けてください。



浅型食洗機、深型食洗機、輸入食洗機を設置する場合、または食洗機の有無に関わらず横引き配管のある場合は、隣接するキャビネットに以下の作業をしてください

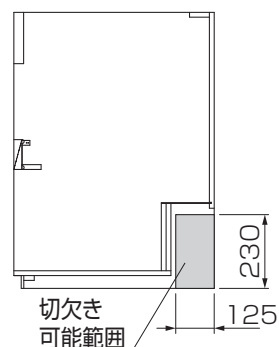
配管・配線取り出し用の切欠き加工

シンク下ベースキャビネットの食洗機側の側板奥下を切り欠く。

※輸入食洗機を設置する場合は、シンク下ベースキャビネットだけでなく、食洗機と隣接する調理下ベースキャビネット(あるいはコンロ下ベースキャビネット)の食洗機側の側板奥下を切り欠いてください。

※横引き配管のある場合は、食洗機の有無に関わらず、配管の通る各ベースキャビネットの側板奥下を切り欠いてください。

■ 加工位置



<シンク下ベースキャビネット 側面図>

※輸入食洗機の場合は、調理下ベースキャビネット(あるいはコンロ下ベースキャビネット)も同様

食洗機なし または 浅型食洗機・深型食洗機を設置する場合

(輸入食洗機を設置する場合は16ページを参照してください。)

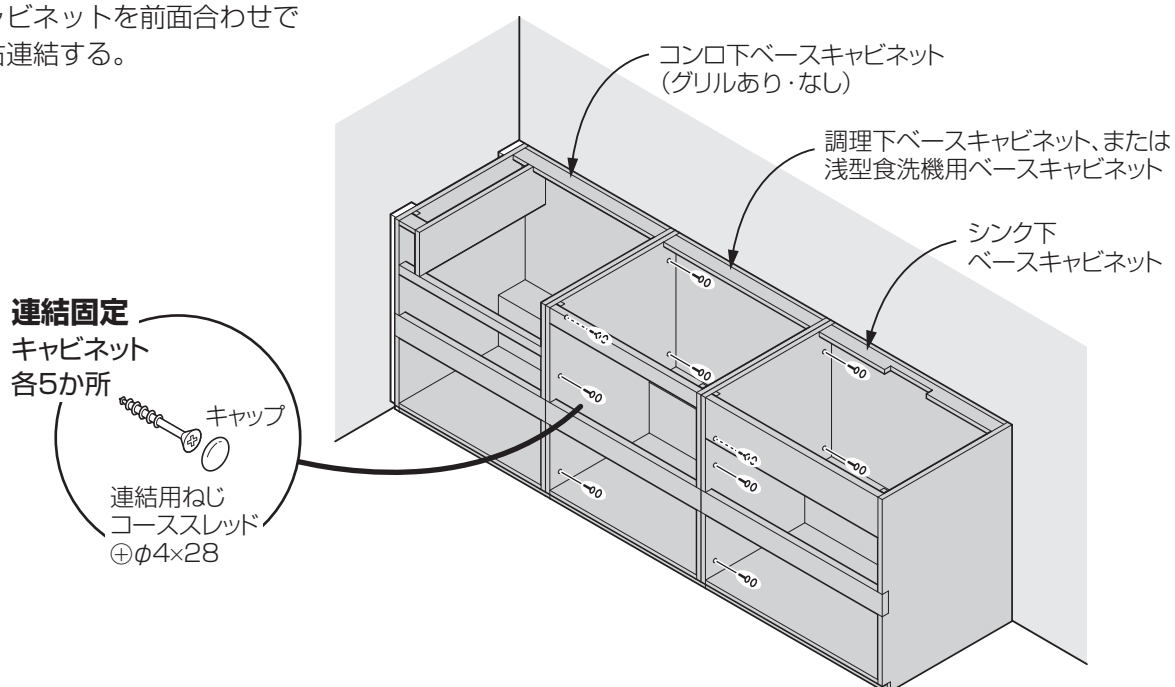
4. (浅型食洗機・深型食洗機がある場合のみ) 食洗機取付用金具の取付け

「各プラン共通」57～58ページを参照してください。

5. ベースキャビネットの連結

■ 食洗機なし・または浅型食洗機を設置する場合

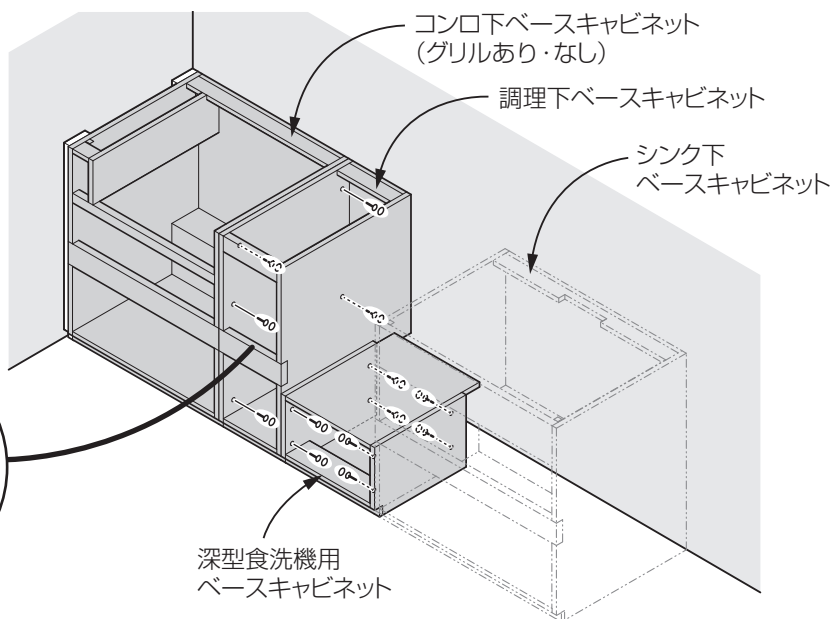
各ベースキャビネットを前面合わせて設置し、左右連結する。



■ 深型食洗機を設置する場合

- ① ベースキャビネットを前面合わせて設置し、左右連結する。

連結固定

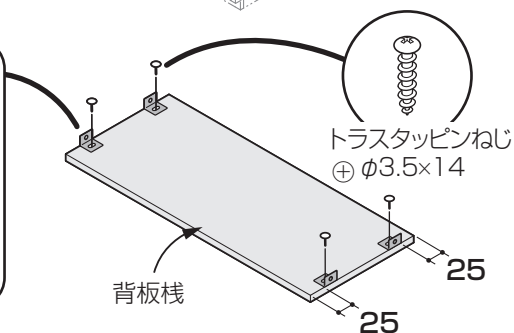
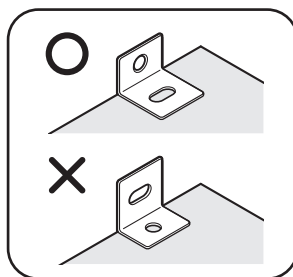


- ② 上下、背板棧に固定金具を取り付ける。

ポイント

金具の向きに注意してください。

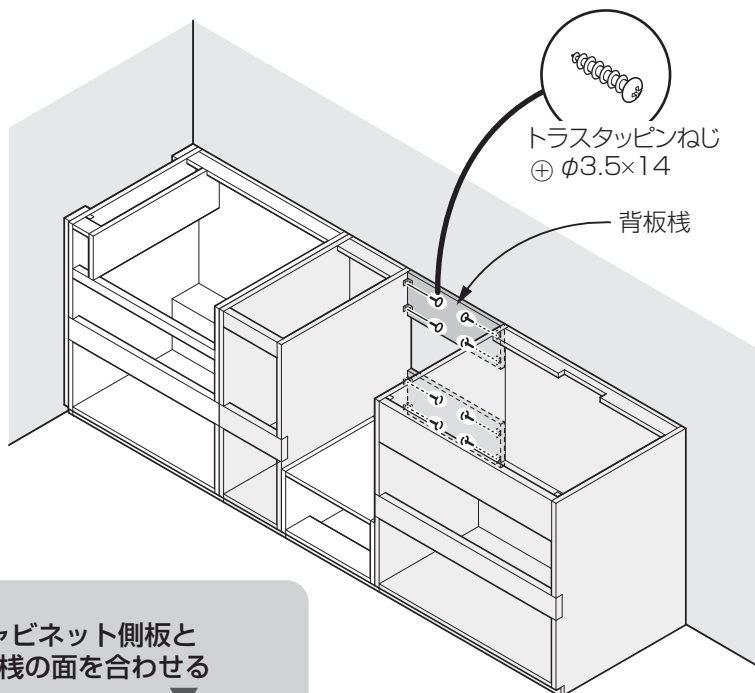
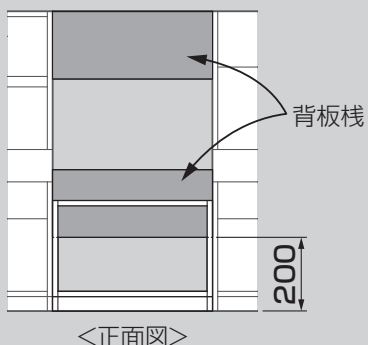
長円穴側が背板棧に面するように
取り付けてください。



- ③ 背板棧2枚を、隣接するキャビネットにねじ固定する。

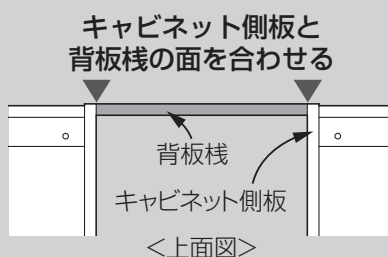
ポイント

背板棧(上)はキャビネット上端合わせ、
背板棧(下)は床面から背板棧下端まで
200mm の位置に取り付けてください。



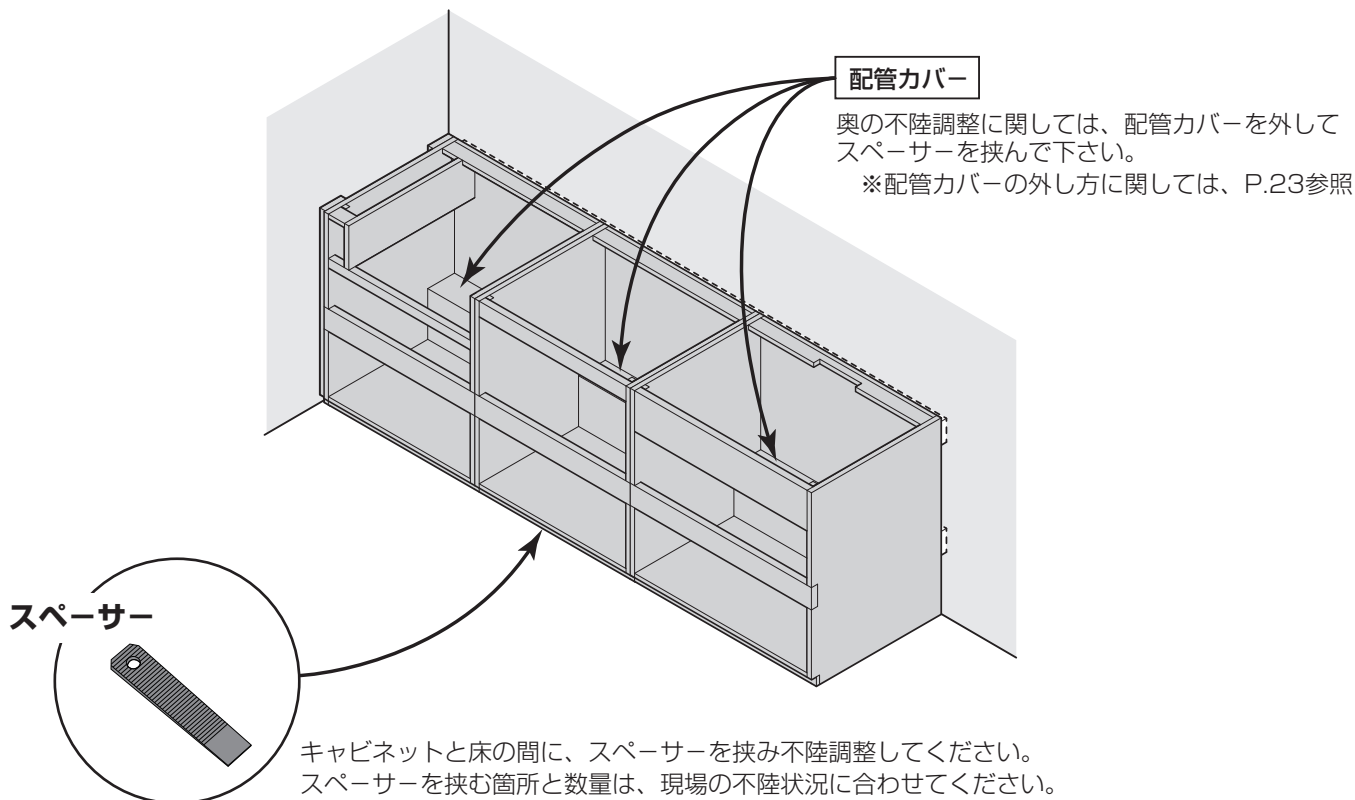
ポイント

背板棧が隣接するキャビネットの
側板と同面になっていることを
確認してください。



6. ベースキャビネットの不陸調整

床が水平ではない場合、スペーサーをキャビネット下に挟み、不陸調整を行ってください。
奥側の不陸調整は、配管カバーを外して行ってください。



7. ベースキャビネットの背壁固定

キャビネット背板と壁面をねじで固定し、キャップを取り付ける。

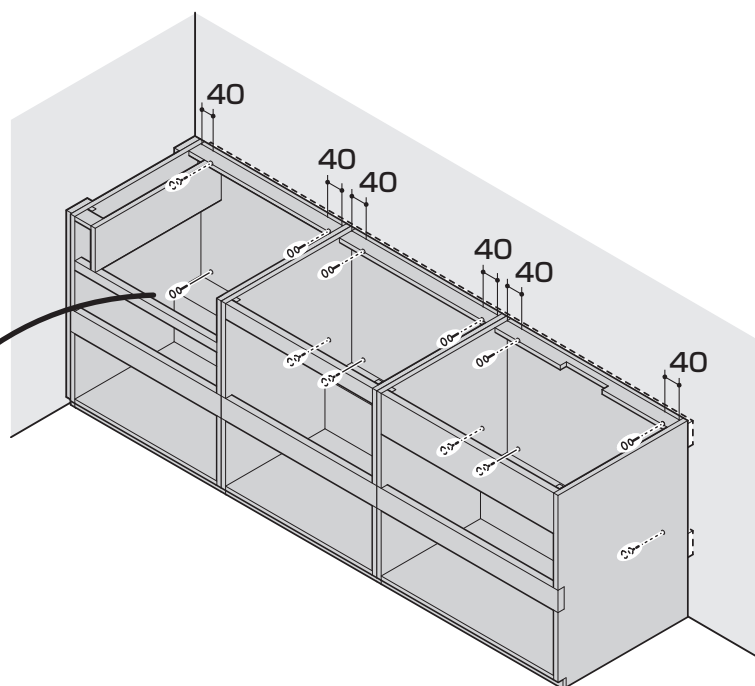
※図は食洗機なしの例で説明しています。

壁固定

各キャビネット
各4か所

キャップ

壁固定用ねじ
コーススレッド
φ5.3×60



以降の手順は、本説明書18～26ページの

2 ワークトップの取付け ～ **9 コンロフィラーの取付け** を参照してください。

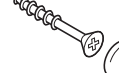
輸入食洗機を設置する場合

8. ベースキャビネットの連結

シンク下ベースキャビネット以外のベースキャビネットを前面合わせで設置し、左右連結する。

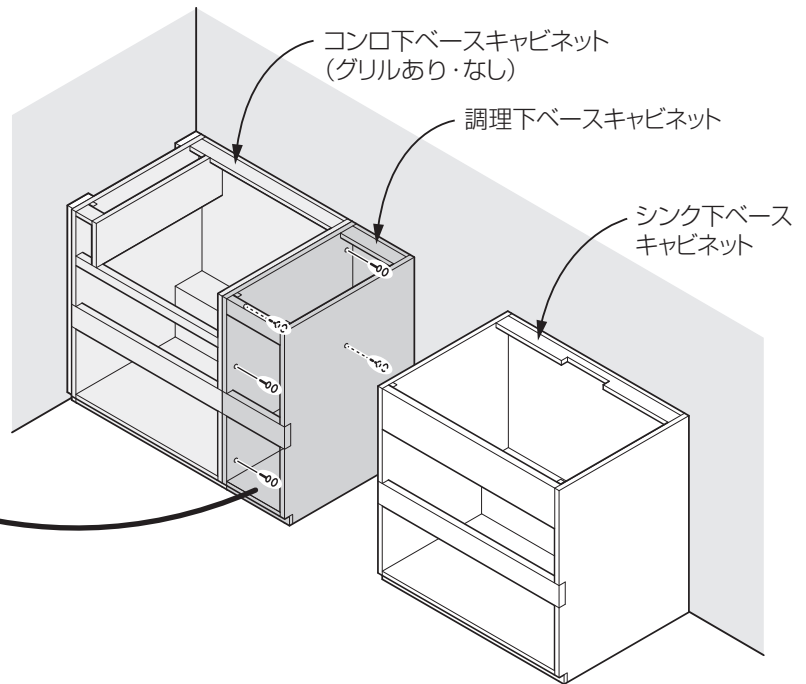
連結固定

5か所



キャップ

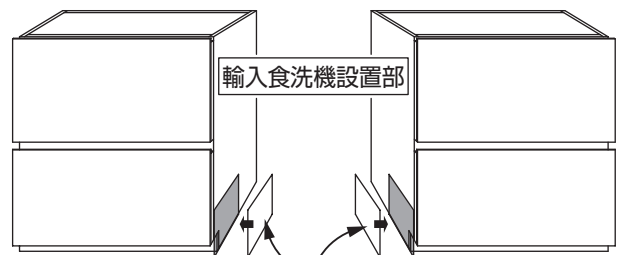
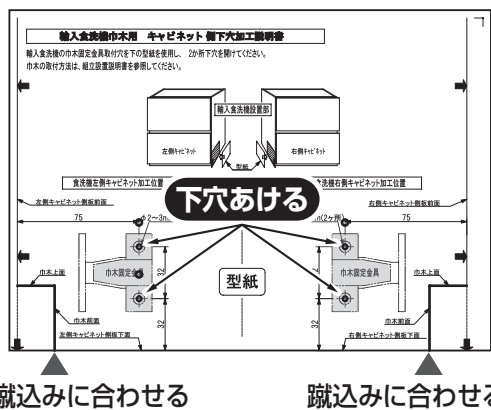
連結用ねじ
コーススレッド
⌀4×28



9. 輸入食洗機の取付け準備・ベースキャビネットの固定

- ① 輸入食洗巾木セットに同梱の食洗巾木取付型紙をあてがい、食洗機に隣接する左右のキャビネットの側板下側に下穴をあける。

※型紙記載の折り線に沿って折り、使用してください。



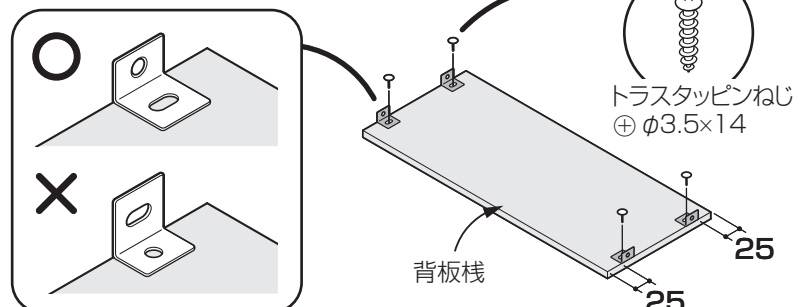
- ① 型紙を、左右のキャビネットにあてがい下穴をあける

※同梱の巾木固定具(樹脂ラッチ)は、ここではまだ取り付けません。

- ② 背板棧(上、下)に固定金具を取り付ける。

ポイント

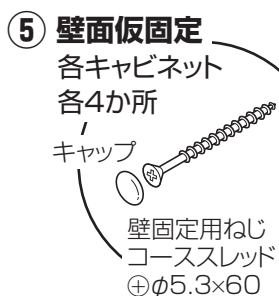
金具の向きに注意してください。
長円穴側が背板棧に面するように
取り付けてください。



- ③ 輸入食洗機が入るスペースの床に背板棧（下）を仮置きする。
背板棧（上）をキャビネット上端に合わせて取り付ける。

- ④ ベースキャビネットの不陸調整
（詳細は15ページ参照）

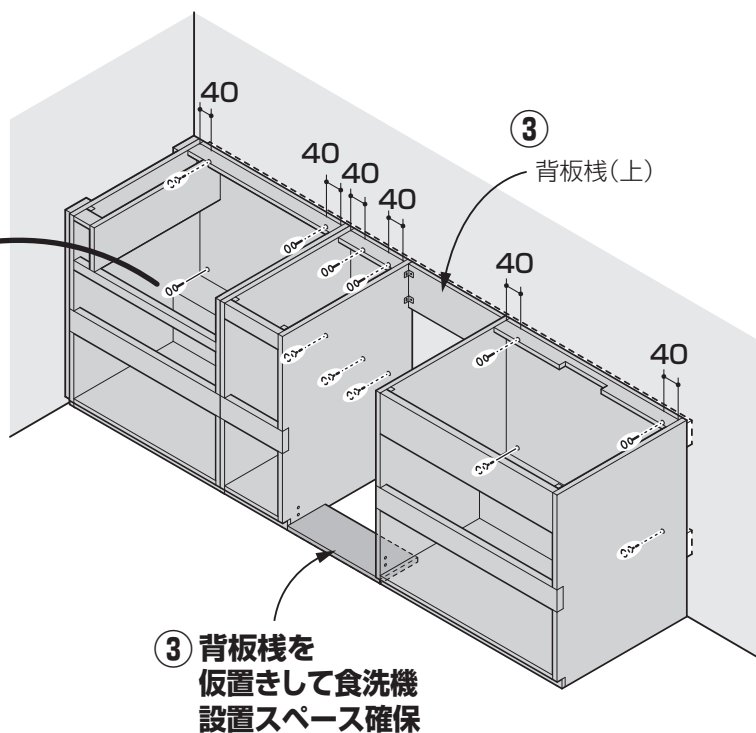
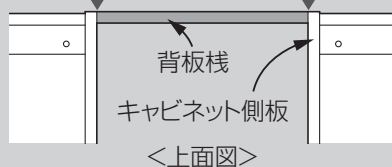
- ⑤ キャビネット背板と壁面をねじで仮固定する。



ポイント

背板棧が隣接するキャビネットの側板と同面になっていることを確認してください。

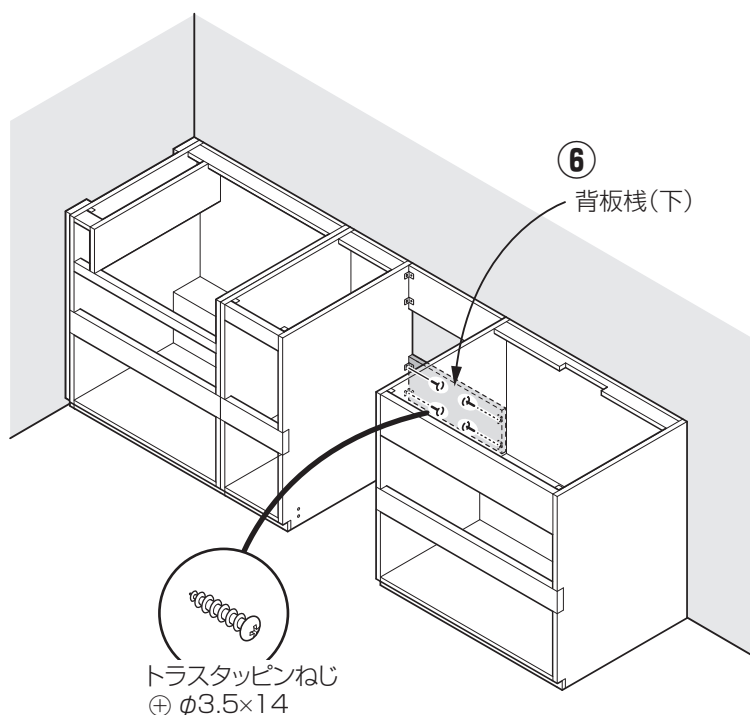
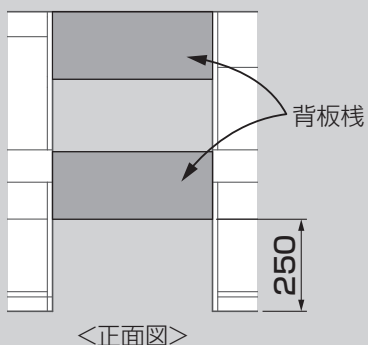
キャビネット側板と
背板棧の面を合わせる



- ⑥ 背板棧（下）を取り付ける。
食洗機有効寸法が確保されていることを再度確認し、キャビネットを本固定してキャップを取り付ける。

ポイント

背板棧(上)はキャビネット上端合わせ、
背板棧(下)は床面から背板棧下端まで
250mm の位置に取り付けてください。

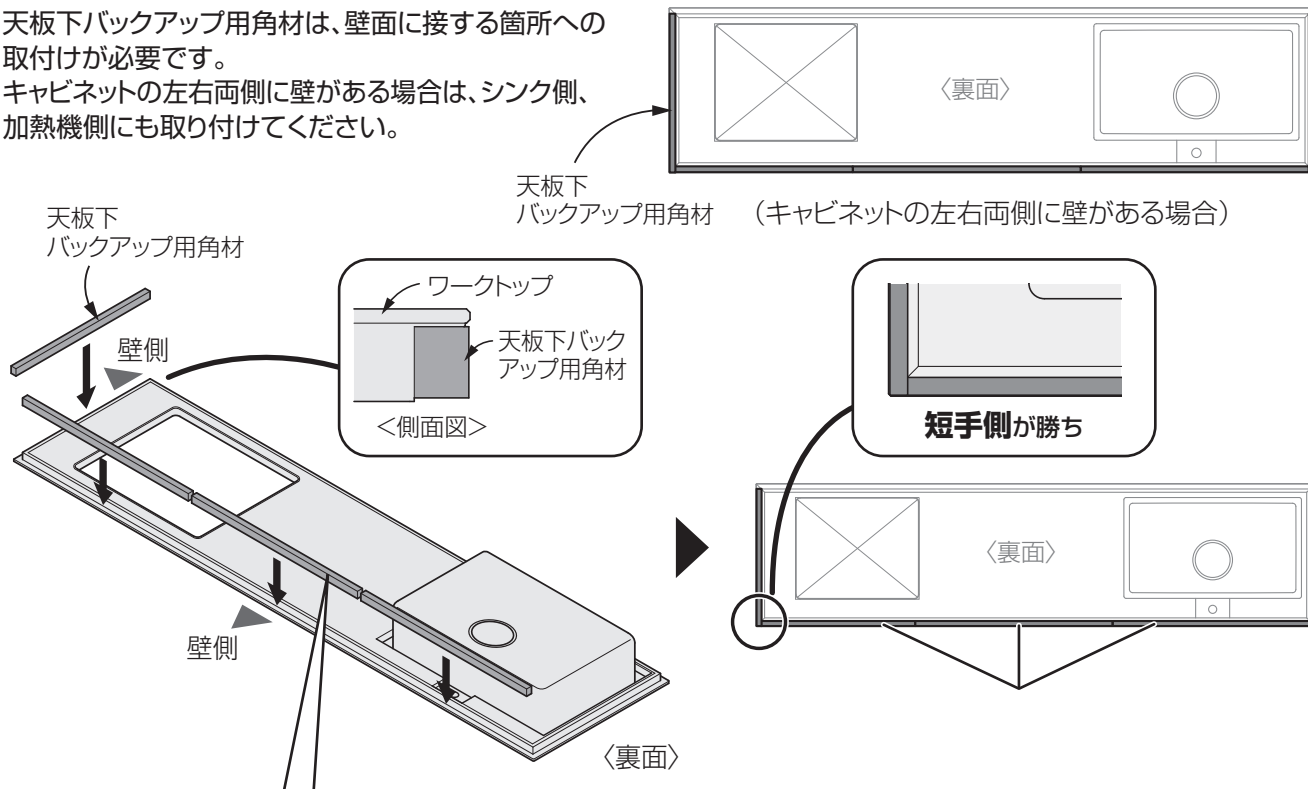


2 ワークトップの取付け

※以降の図は、食洗機なしの例で説明しています。

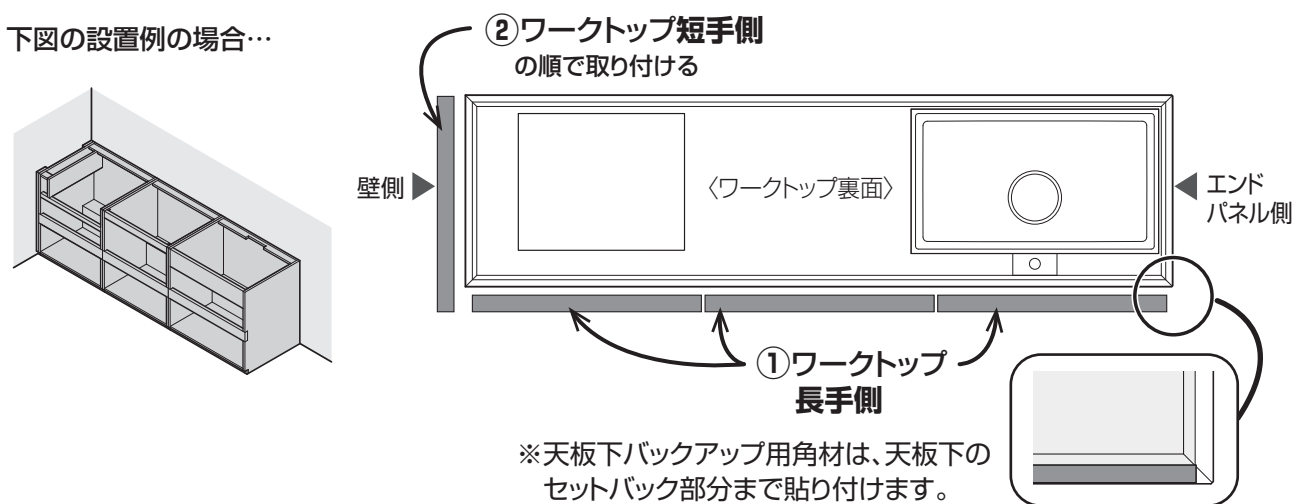
① ワークトップに天板下バックアップ用角材を両面テープのはく離紙をはがして貼り付ける。(壁側のみ)

※天板下バックアップ用角材は、壁面に接する箇所への取付けが必要です。
キャビネットの左右両側に壁がある場合は、シンク側、加熱機側にも取り付けてください。



※天板下バックアップ用角材は取付け順がありますので、下図を参照してください。

下図の設置例の場合…



※天板下バックアップ用角材は、天板下のセットバック部分まで貼り付けます。
※長手側の天板下バックアップ用角材は、天板に合わせて現場カットしてください。

ポイント

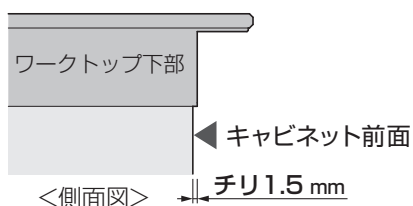
- キャビネットにワークトップを載せる前に、必ず天板下バックアップ用角材を貼り付けてください。
- 天板下バックアップ用角材を貼り付ける前に、ワークトップの裏面をふき取ってください。
出荷時に汚れている場合があります。

② ベースキャビネットにワークトップを載せる。

③ ワークトップとベースキャビネットの前後・左右位置を調整し、キャビネット内部よりねじ固定する。
キャビネット背板側はワークトップ固定用
栈木を通して固定する。

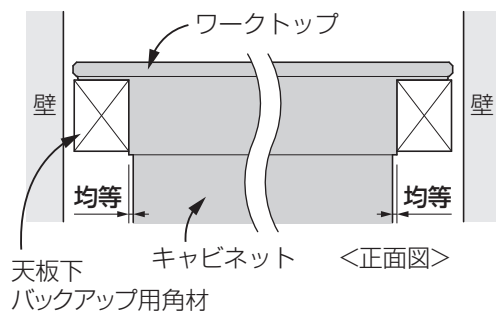
前後の位置調整

ベースキャビネットの前面と、ワークトップ下部の前面が、1.5mmのチリがつくようにしてください。



左右の位置調整(両壁付の場合)

キャビネットとワークトップのチリを均等に取り付けてください。



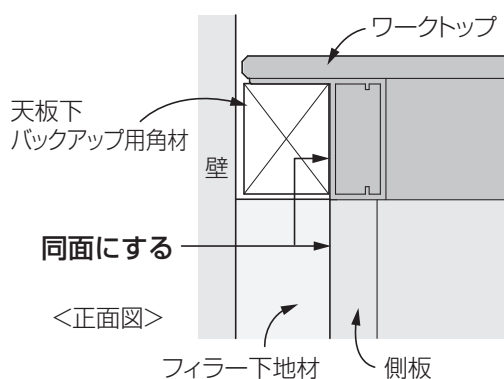
※ねじは隙間なく締め付けてください。

隙間があると、がたつきの原因となります。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

左右の位置調整(片壁付の場合)

壁面側のワークトップ下部とキャビネット側板を同面にしてください。



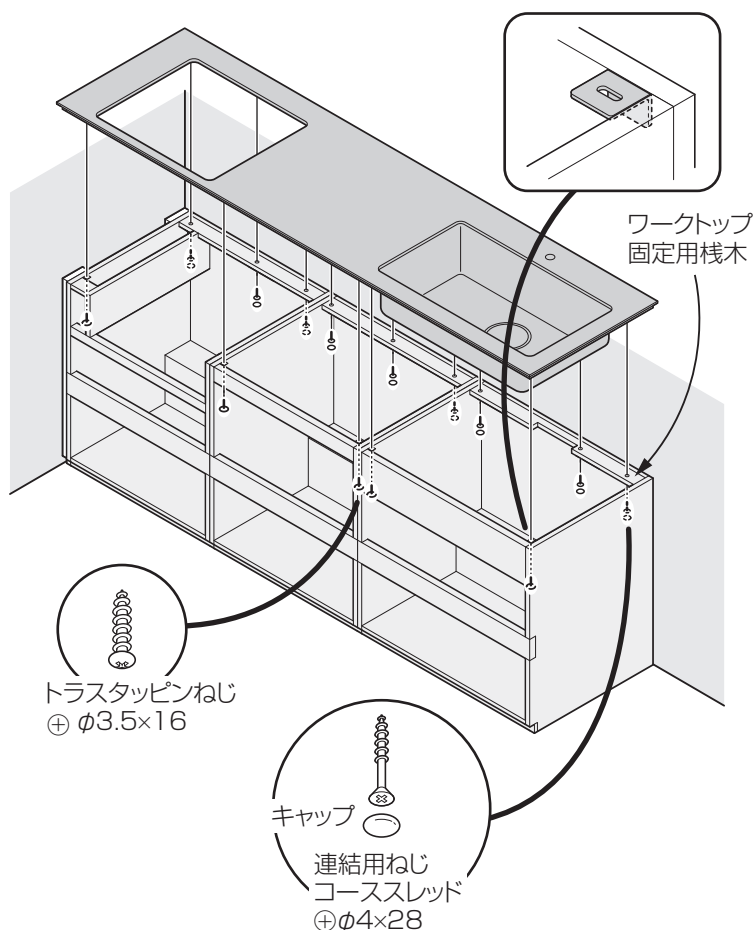
⚠ 注意



必ず守る

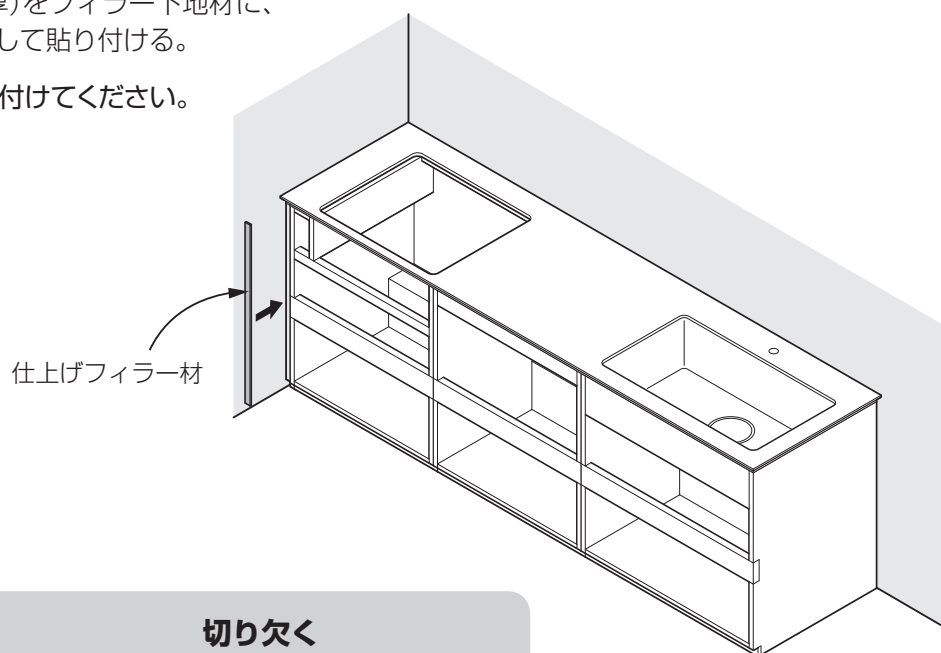
重量物注意

持ち上げ・移動は必ず複数の人数で行う



- ④ 仕上げフィラー材(2.5mm厚)をフィラー下地材に、両面テープのはく離紙をはがして貼り付ける。

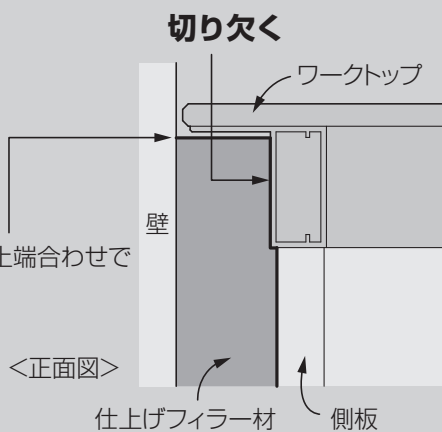
※両壁付の場合は、両側に貼り付けてください。



ポイント

壁面側のワークトップ下部とキャビネット側板が同面にならない場合、現場で仕上げフィラー材を切り欠いてください。

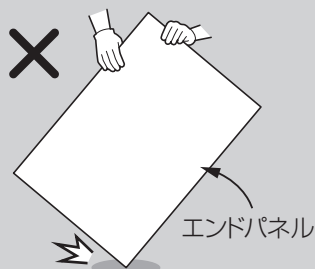
仕上げフィラー材は、上端合わせで貼り付けてください。



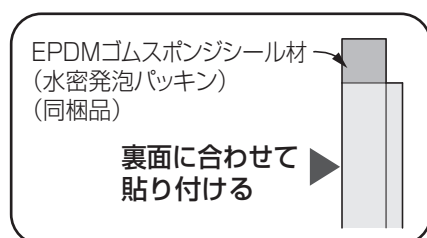
3 エンドパネルの取付け

ポイント エンドパネルの取扱い注意

右図のように角を立てたりしないでください。
タイルの角が欠けるおそれがあります。



- ① エンドパネルの上部木口に、EPDMゴムスポンジシール材(水密発泡パッキン)(同梱品)をカットして貼り付ける。



※EPDMゴムスポンジシール材(水密発泡パッキン)は浸水対策です。

エンドパネル
裏面の幅で
カット

EPDMゴムスポンジシール材
(水密発泡パッキン)
(同梱品)

エンドパネル

- ② エンドパネル側のキャビネット側板に木口テープ(スペーサー)(同梱品)を貼り付ける。

※木口テープ(スペーサー)は、ワークトップの側面とキャビネット側面との段差を解消するためのものです。

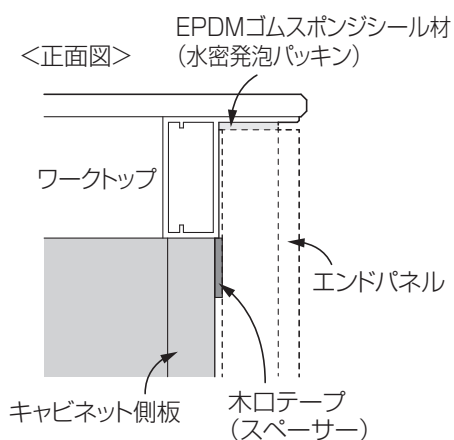
- ・ワークトップが出っ張る場合…

設置の状況に応じて木口テープ(スペーサー：両面テープ付き)を約100mm程度にカットして、はく離紙をはがして貼り、エンドパネルの建ちを調整してください。

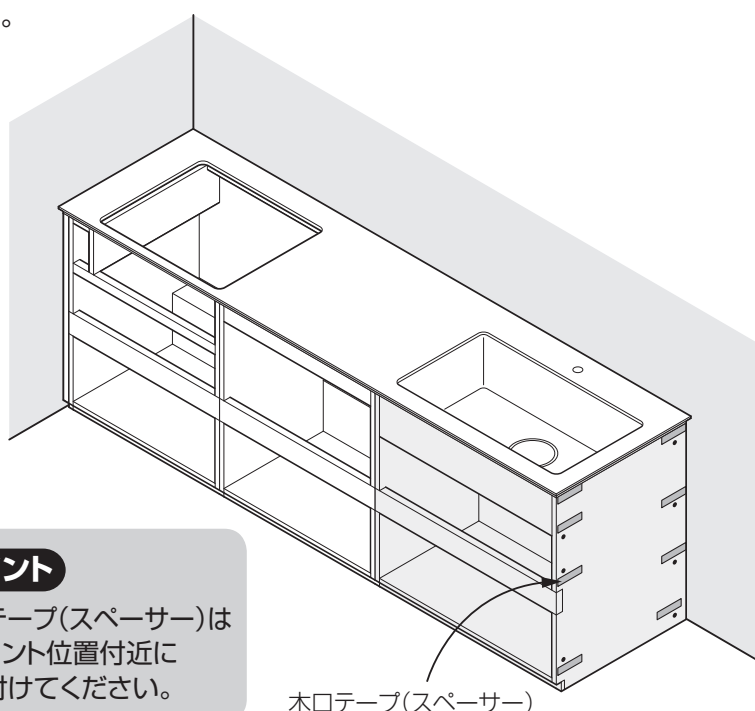
段差が大きい場合、木口テープ(スペーサー)をカットして数枚重ねてください。

- ・キャビネットが出っ張る場合、段差がない場合…

木口テープ(スペーサー)の貼付けは不要です。



キャビネット側板に木口テープ(スペーサー：両面テープ付き)をエンドパネルが傾かないよう必ず上下に貼る(固定ねじ付近)



ポイント

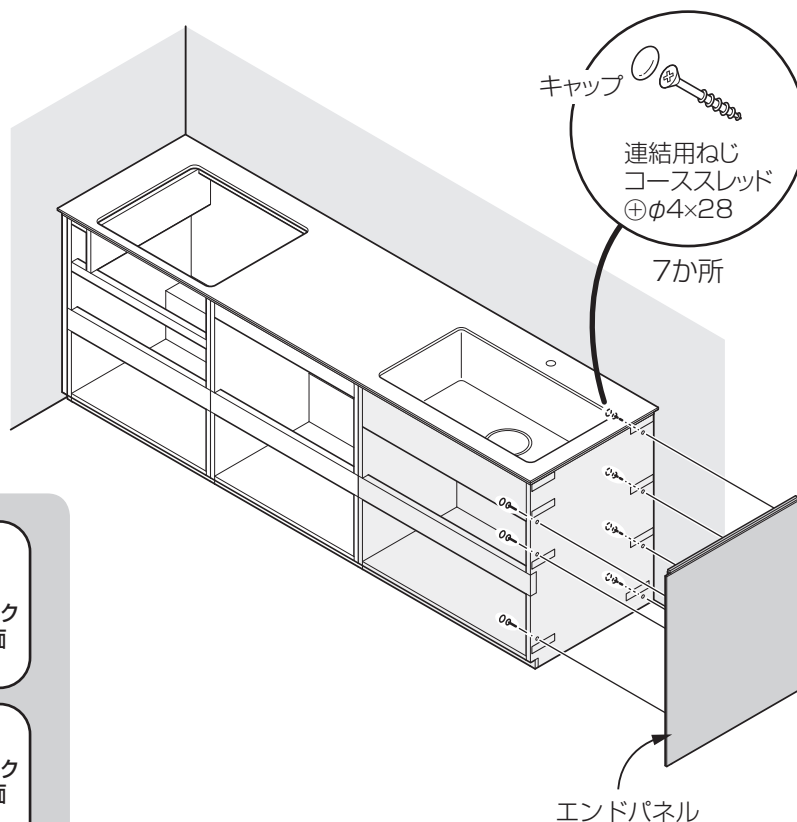
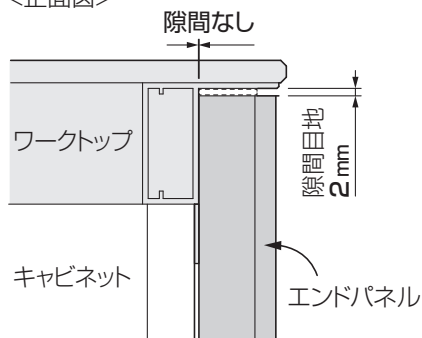
木口テープ(スペーサー)はジョイント位置付近に貼り付けてください。

木口テープ(スペーサー)

- ③ キャビネット内側からエンドパネルをねじ固定し、キャップを取り付ける。
(エンドパネルとワークトップの隙間目地 2mm)

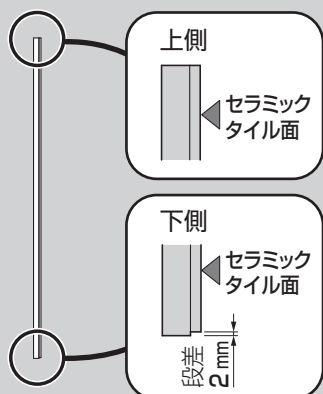
※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

<正面図>



ポイント

エンドパネルは
タイルと基材との
段差がある方が
下側です。



4 <オプション>食洗機の取付け

■ 浅型食洗機または深型食洗機の場合

食洗機本体の取付けは、食洗機に付属の説明書および本説明書の57～58ページに従い、正しく設置してください。
(浅型食洗機…57ページ、深型食洗機…58ページ)

■ 輸入食洗機設置の場合

食洗機本体の取付けは、食洗機に付属の説明書に従い、正しく設置してください。

5 水栓金具の取付け

水栓金具に付属の説明書に従い、正しく設置してください。

6 排水トラップの取付け

※同梱の円形シーリングプレートを使用しない場合は破棄してください。

1. 排水本体・平パッキンをシンクの上から差し込み、トラップ固定ナットを手で仮締めする。

ポイント

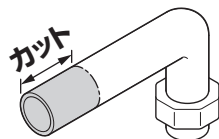
排水本体は、シンク排水口の中心に取り付けてください。



2. エルボ長さを現場に合わせてカットする。

※切り口が斜めになったり、波打ったりしないようにカットしてください。

※カット部のバリや切削粉を必ず取り除いてください。



3. ① 排水本体の出口にエルボを奥まで差し込み、ナットを手締めで締め付ける。
※ナットを完全に締め付ける前に、もう一度エルボを押し込んでください。

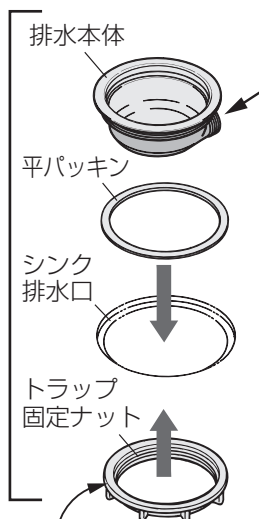
- ② エルボにSトラップを差し込み、手締めで固定する。

4. トラップ固定ナットを専用の締め付具で固く締め付け、固定する。

※エルボがぐらつかないことを確認してください。



1 仮締め



4 本固定



⚠ 注意



必ず守る

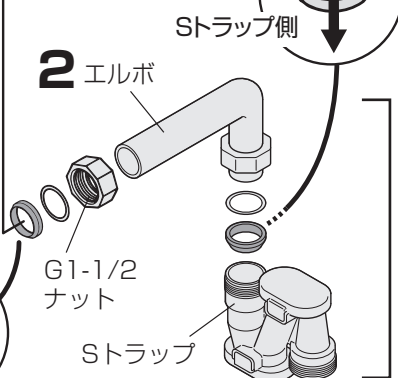
三角パッキンの向きを間違えない
水漏れなどの原因となります。

取付け後、確実に取り付けられた
ことを必ず確認する

水漏れなどの原因となります。

※三角パッキンの
向きをご確認
ください。

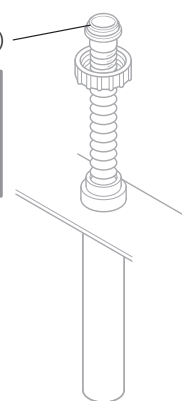
2 エルボ



3

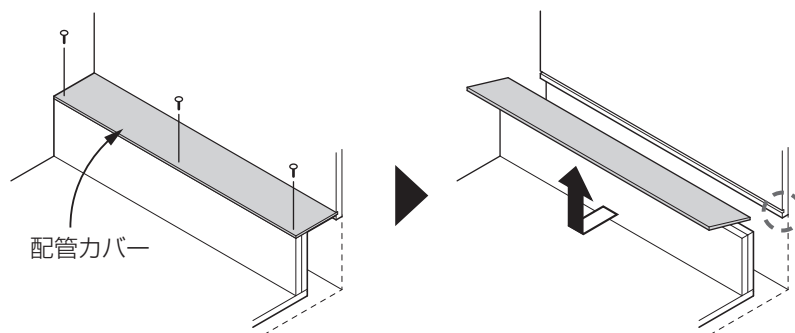
(G2袋ナット)

手順6
「排水ホースの取付け」
で接続する(25ページ参照)



5. 配管カバーの取外し

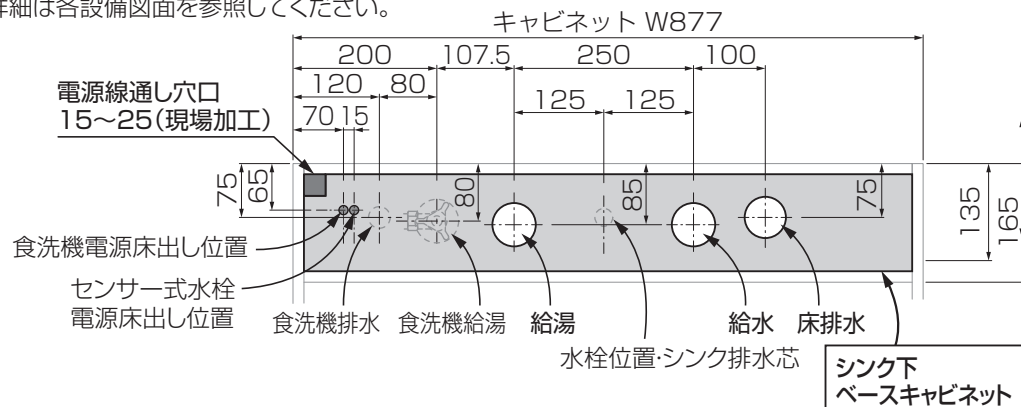
- ① ねじ固定を外して、シンク下ベースキャビネットから配管カバーを取り外す。



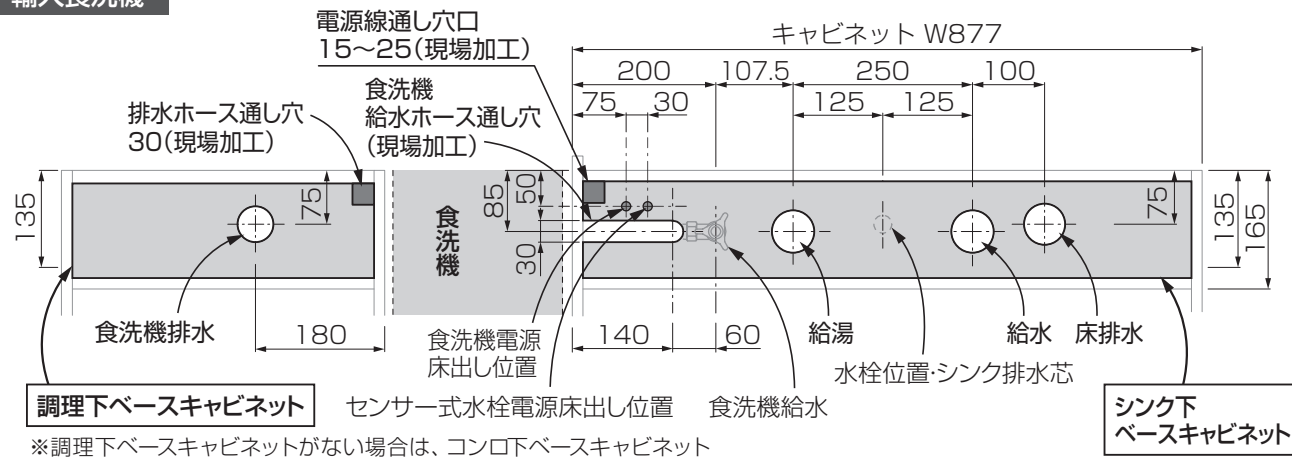
② 穴加工をする。

※以下の寸法図は一例です。詳細は各設備図面を参照してください。

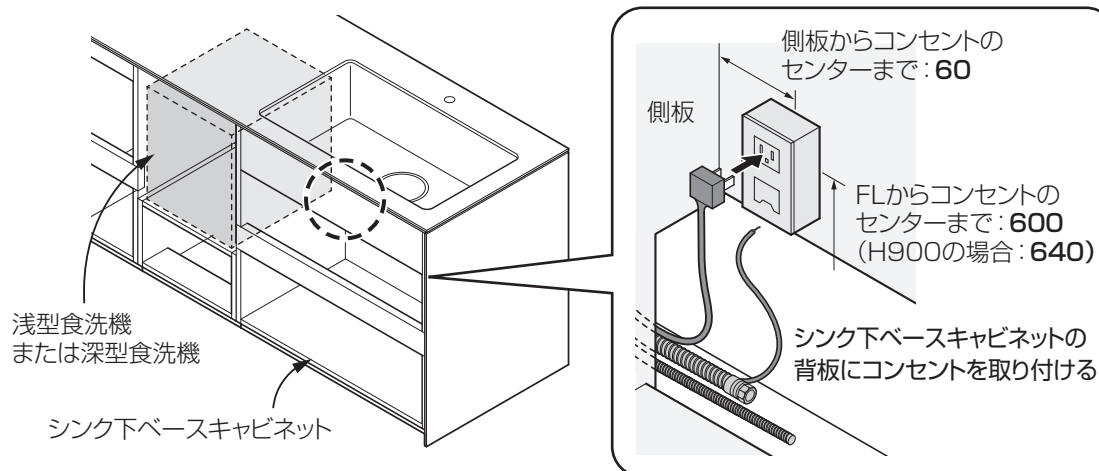
※図は右シンクの場合です。

浅型食洗機
深型食洗機

輸入食洗機

浅型食洗機・深型食洗機の給湯ホース・排水ホース・電源線・アース線について
以下の作業をしてください

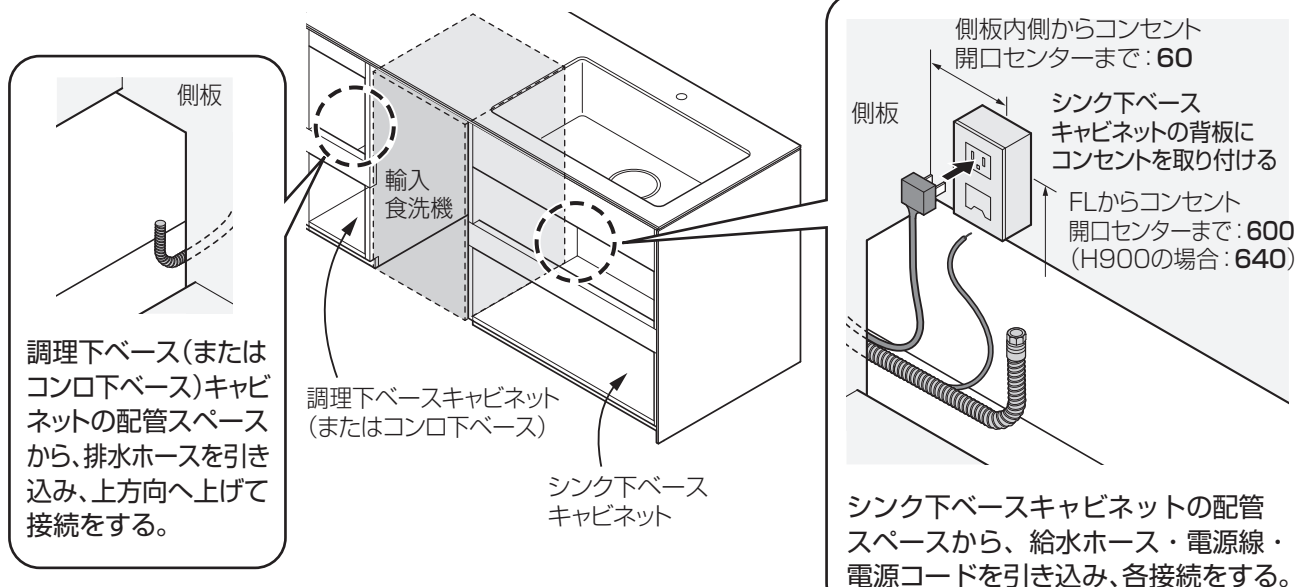
※輸入食洗機の場合は、次ページを参照してください。

シンク下ベースキャビネットの配管スペースから電源線・電源コード・アース線を引き込み、各接続してください。
給湯ホース・排水ホースは、配管スペース内の給湯管・排水管と接続してください。

※接続方法に関しては、食洗機同梱の説明書に従ってください。

輸入食洗機の給水ホース・排水ホース・電源線について、以下の作業をしてください

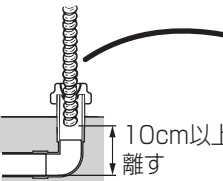
調理下（またはコンロ下）ベースキャビネットの配管スペースに立ち上げられた排水管に、食洗機の排水ホースを、側板の切欠き口を通して接続してください。



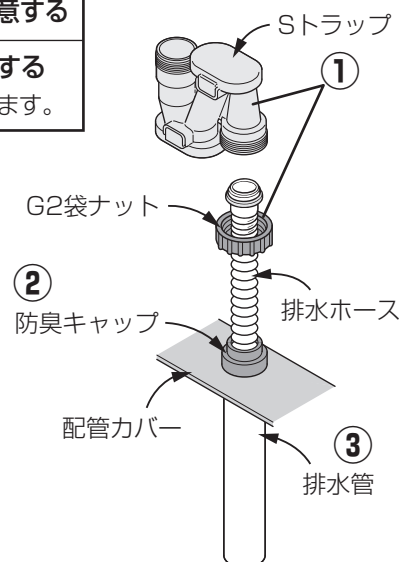
※接続方法に関しては、食洗機同梱の説明書に従ってください。

③ 配管カバーをキャビネットに取り付ける。

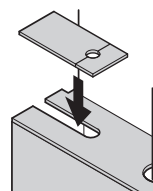
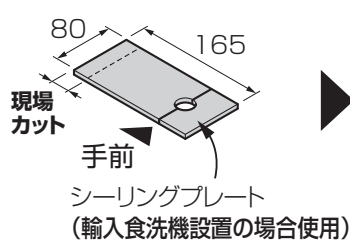
6. 排水ホースの取付け

 注意	
 禁止	排水ホースは排水管の底に当てたり、たるませて取り付けない 排水能力が低下してシンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ホースを適切な長さに切断してください。  10cm以上 離す 二重トラップ状態で取り付けない。 × 
 必ず守る	配管カバー取付け時、ジャバラホースから防臭キャップが外れないように注意する 防臭キャップと排水管の接続は接着剤またはシーリング材で必ずシールする シールが不完全な場合、湯気が上がり、キャビネットや床などが腐るおそれがあります。

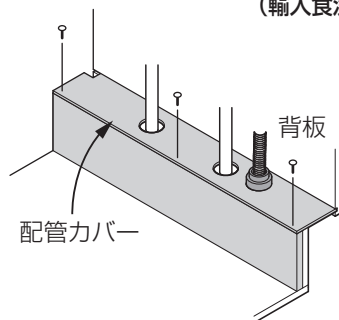
- ① Sトラップのホース接続部に排水ホースを差し込み、G2袋ナットを締め付ける。
※排水ホースが長い場合は適切な長さに切断してください。
- ② 防臭キャップを排水ホースに通し、ホースがたるまないよう調整する。
※配管カバーには前後の方向があります。ご注意ください。
- ③ 防臭キャップの溝にシーリング材を塗布して排水管に確実に取り付けます。
※排水管の中にゴミなどの異物が入っていないことを確認してください。
※必要に応じテープ止めなどを行い、確実に固定してください。



- ④ (輸入食洗機設置の場合のみ)
 付属のシーリングプレートを
 給水ホース引き込み部に貼り付ける。
 ※現場にてカットして貼り付けてください。

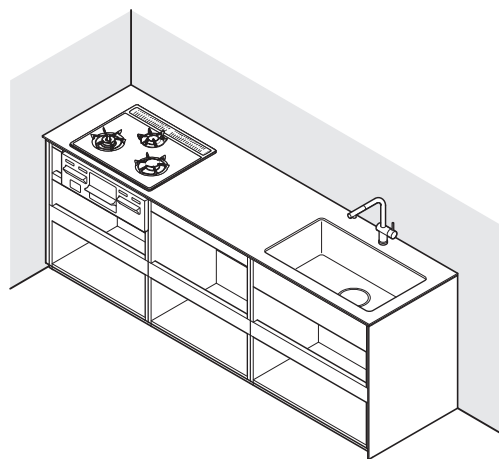


- ⑤ 配管カバーをねじ固定する。



7 機器の取付け

加熱機器やその他の機器の取付けは、それぞれの機器本体に
 付属の説明書に従い、正しく設置してください。



8 引出しの取付け

設置前に取り外した引出しなどを元の位置に戻し、扉を調整して
 ください。(取付けかたは9、59ページ参照)

9 コンロフィラーの取付け

- ① コンロフィラー取付け用の下穴をあける。(φ2.8mm、3か所)

※コンロフィラーを加熱機器センターにあてて、位置決めして下穴をあけてください。

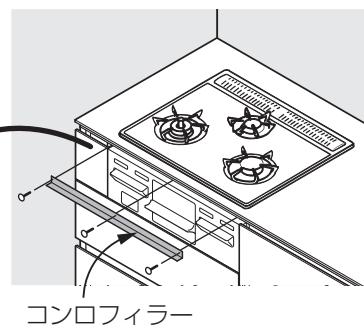
加熱機器に対して、センター合わせで取り付けてください。

※取付ねじは手回しで固定してください。
 インパクトドライバーは使用しないで
 ください。

✕ 使用不可工具
 インパクトドライバー



皿タッピンねじ
 ⊕ φ3.5×10
 ※フィラーに同梱
 ワークトップ
 コンロフィラー
 <側面図>



- ② コンロ下ベースキャビネット(グリルあり)のワークトップに、コンロフィラーを取り付ける。(ねじ3か所)

10 輸入食洗機巾木の取付け

詳細は、本説明書の「各プラン共通」61ページを参照してください。

アイランド・ペニンシュラ型

[寸法単位 : mm]

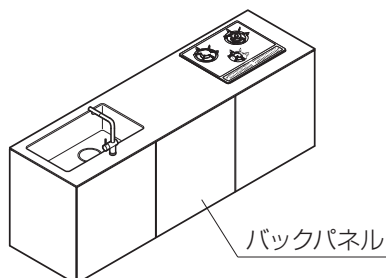
施工チャートともくじ

共通の施工手順

1 ベースキャビネットの取付け

1. ベースキャビネットの引出し・扉(背面収納タイプのみ)の取外し28ページ参照
2. 床固定枠の取付け28ページ参照
3. ベースキャビネットの下穴加工33ページ参照

スタンダードタイプ (バックパネルタイプ)



4. ベースキャビネットの設置前加工41ページ参照
5. (浅型食洗機・深型食洗機がある場合のみ)
食洗機取付用金具の取付け41ページ参照
6. ベースキャビネットの連結41ページ参照
7. ベースキャビネットの不陸調整41ページ参照
8. (ペニンシュラ型のみ)
ベースキャビネットの横壁仮固定42ページ参照

2 ワークトップの取付け42ページ参照

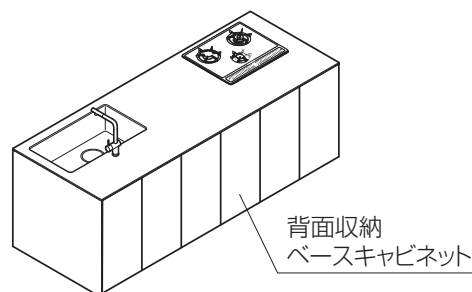
3 床固定枠とベースキャビネットの固定・ (ペニンシュラ型のみ) ベースキャビネット横壁本固定44ページ参照

4 (ペニンシュラ型のみ) 仕上げフィラー材の貼付け45ページ参照

5 エンドパネルの取付け45ページ参照

6 バックパネルの取付け46ページ参照

背面収納タイプ



4. ベースキャビネットの設置前加工51ページ参照
5. (浅型食洗機・深型食洗機がある場合のみ)
食洗機取付用金具の取付け51ページ参照
6. ベースキャビネットの連結52ページ参照
7. 背面収納キャビネットの連結52ページ参照
8. ベースキャビネットの不陸調整53ページ参照
9. (ペニンシュラ型のみ)
ベースキャビネットの横壁仮固定53ページ参照

2 ワークトップの取付け53ページ参照

3 床固定枠とベースキャビネットの固定・ (ペニンシュラ型のみ) ベースキャビネット横壁本固定54ページ参照

4 (ペニンシュラ型のみ) 仕上げフィラー材の貼付け55ページ参照

5 エンドパネルの取付け55ページ参照

共通の施工手順

<オプション>食洗機の取付け

- 水栓金具の取付け
- 排水トラップの取付け
- 機器の取付け

.....本説明書の「ウォール型」..... 22~26ページ参照

ベースキャビネットの引出し・

扉(背面収納タイプのみ)の取付け 本説明書の「各プラン共通」..... 59~60ページ参照

コンロフィラーの取付け

.....本説明書の「ウォール型」.....26ページ参照

輸入食洗機巾木の取付け

.....本説明書の「各プラン共通」.....61ページ参照

食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

アイランド・ペニンシュラ型(スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)/背面収納タイプ)

取付けかた

1 ベースキャビネットの取付け

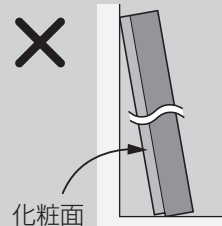
1. ベースキャビネットの引出し・扉（背面収納タイプのみ）の取外し

本説明書の「ウォール型」9ページ、「部材の取付け」59～60ページを参照してください。

ポイント 扉の取扱い注意

※背面収納タイプの場合は、背面収納キャビネットの扉も取り外してください。

扉の化粧面はカケやキズが付きやすい素材を採用しています。取外し時、化粧面を床に接して置かないでください。

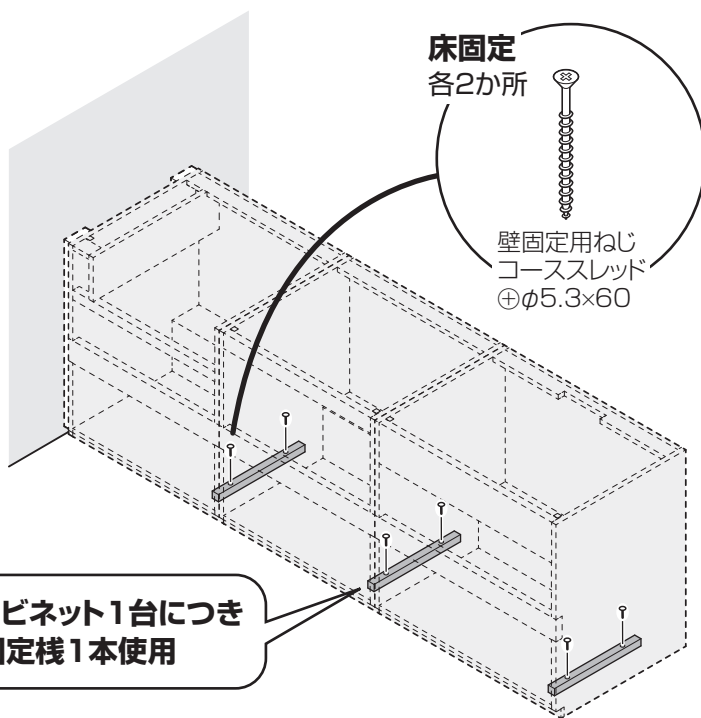
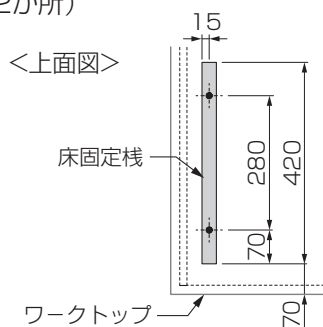


2. 床固定棧の取付け

- ① 床固定棧の固定位置を出す。（29～32ページ参照）
- ② 床固定棧のねじ固定位置に、 $\phi 6\text{mm}$ ・深さ30mm程度の下穴をあける。（2か所）
- ③ 床にねじ固定する。
※床仕上げ材により、ねじが長い場合は、現場調達にて変更してください。

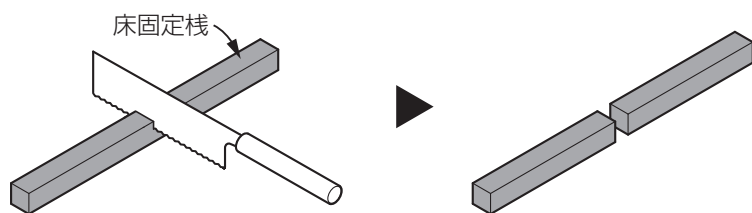
■ 床固定棧の下穴位置

$\phi 6\text{mm}$ ・深さ30mm程度の下穴をあける。（2か所）



■ 輸入食洗機を設置する場合

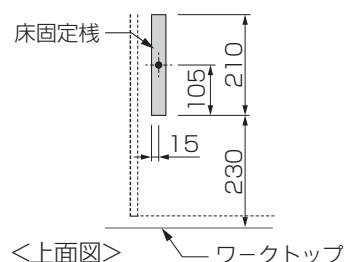
アイランド型(W2100/W2400/W2550/W2700)は、輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、床固定棧を1/2にカットして取り付けてください。



■ 床固定棧の下穴位置

（1/2にカットした場合）

$\phi 6\text{mm}$ ・深さ30mm程度の下穴をあける。（1か所）



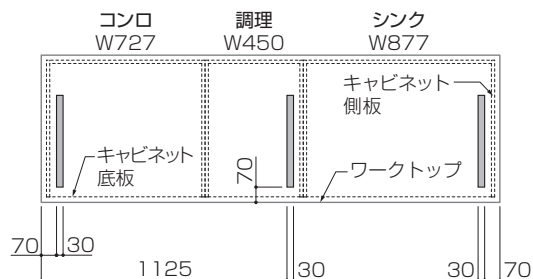
※ペニンシュラ型はプランによって床固定棧をカットしないで使用する場合があります。

■ 床固定柵と床面の固定位置

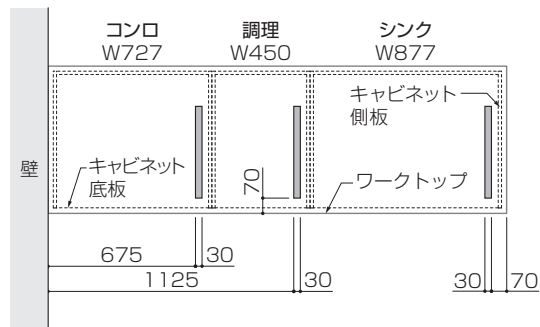
スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)・背面収納タイプ 共通

(ワークトップW2100の場合) ※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に床固定柵を設置してください。
※背面収納タイプは、キッチン側のみ床固定してください。

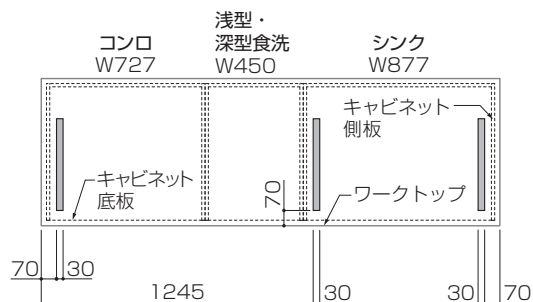
〈アイランド〉



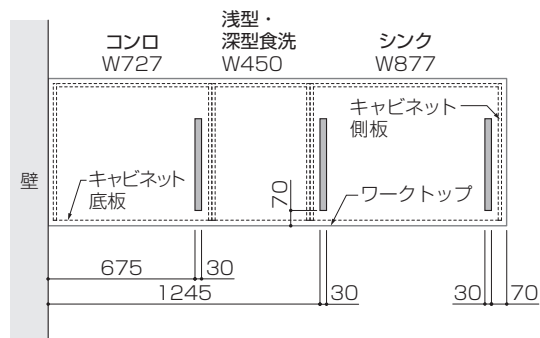
〈ペニンシュラ〉



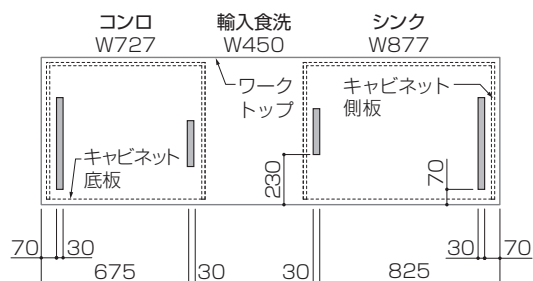
〈アイランド〉



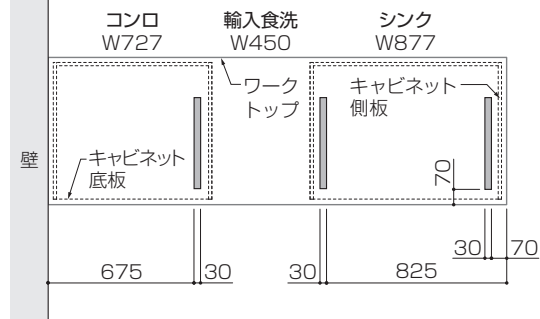
〈ペニンシュラ〉



〈アイランド〉



〈ペニンシュラ〉



※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

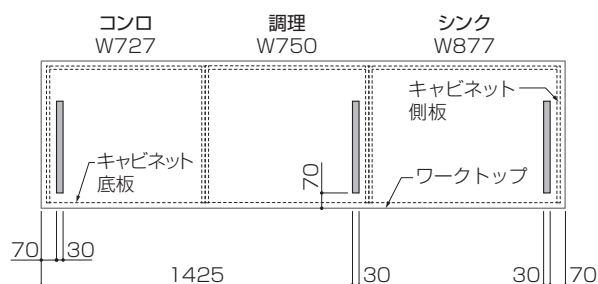
食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

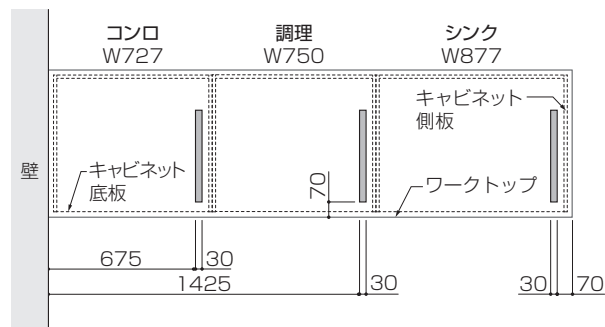
アイランド・ペニンシュラ型(スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)／(背面収納タイプ))

（ワークトップW2400の場合） ※図は右シンクの場合です。左勝手（左シンク）の場合は、左右反転した位置に床固定柵を設置してください。
※背面収納タイプは、キッチン側のみ床固定柵を設置してください。

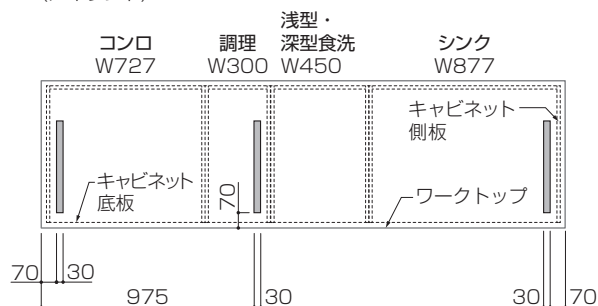
〈アイランド〉



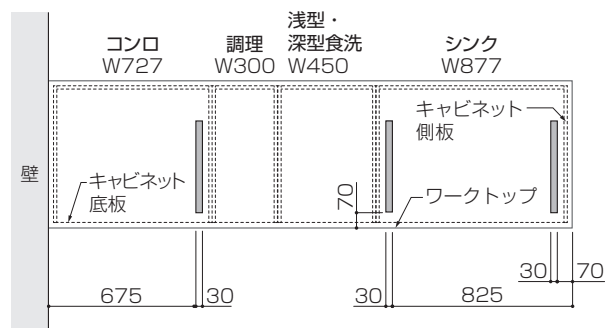
〈ペニンシュラ〉



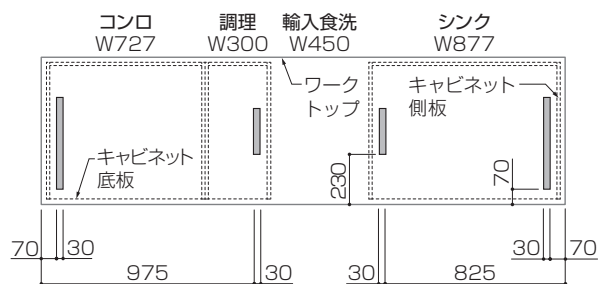
〈アイランド〉



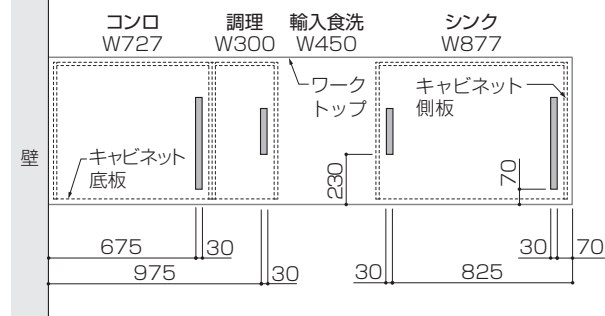
〈ペニンシュラ〉



〈アイランド〉



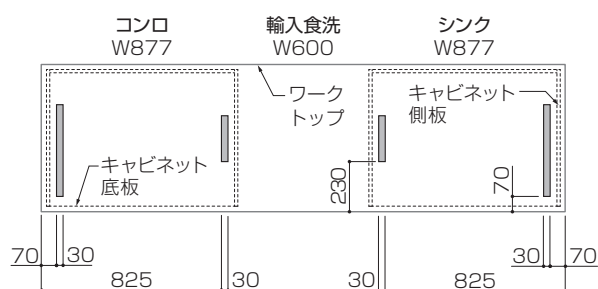
〈ペニンシュラ〉



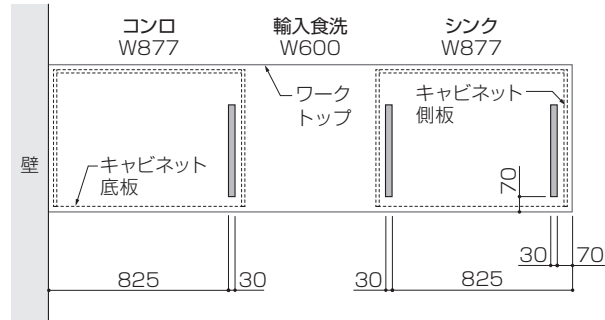
※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

〈アイランド〉



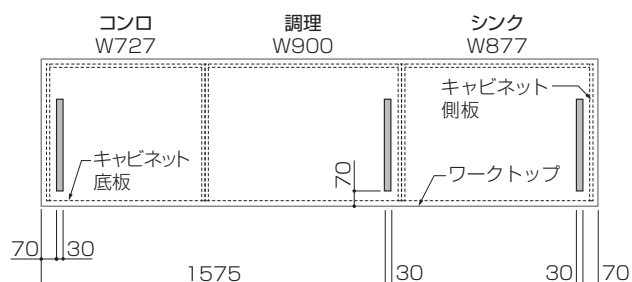
〈ペニンシュラ〉



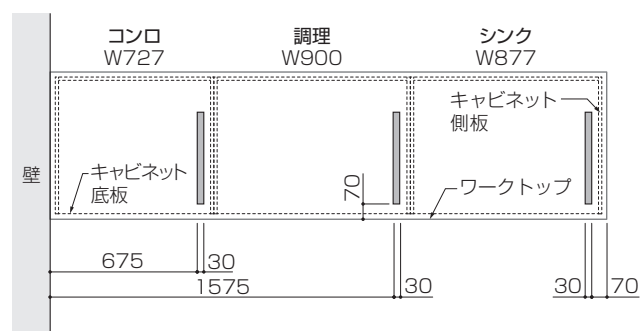
※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

(ワークトップW2550の場合) ※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に床固定柵を設置してください。
※背面収納タイプは、キッチン側のみ床固定柵を設置してください。

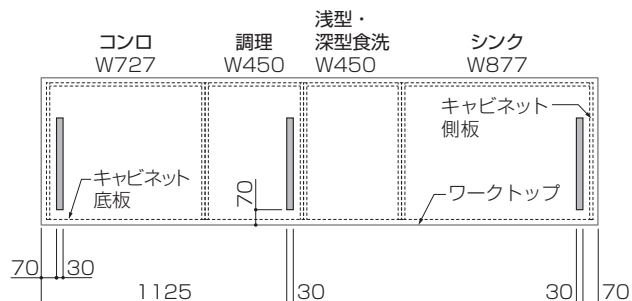
〈アイランド〉



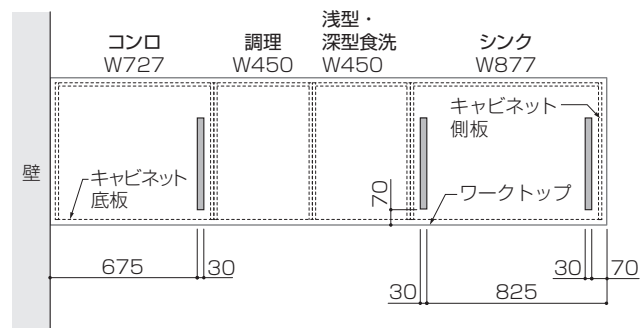
〈ペニンシュラ〉



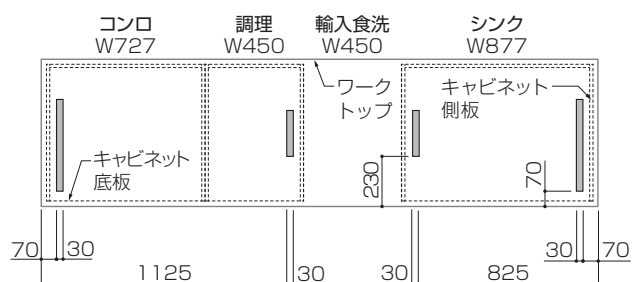
〈アイランド〉



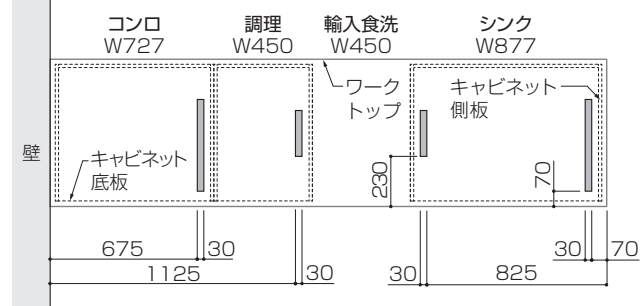
〈ペニンシュラ〉



〈アイランド〉



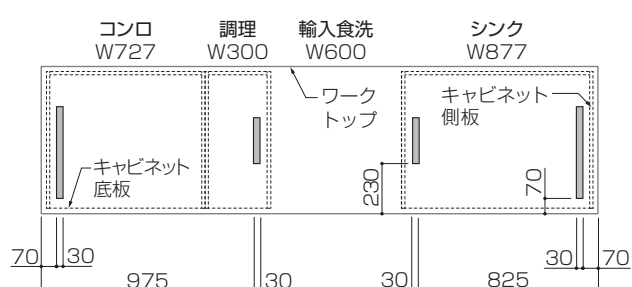
〈ペニンシュラ〉



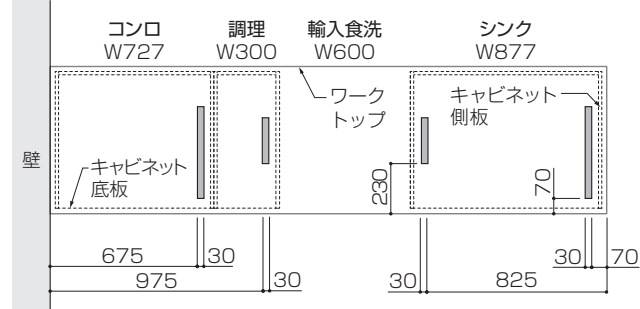
※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

〈アイランド〉



〈ペニンシュラ〉



※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

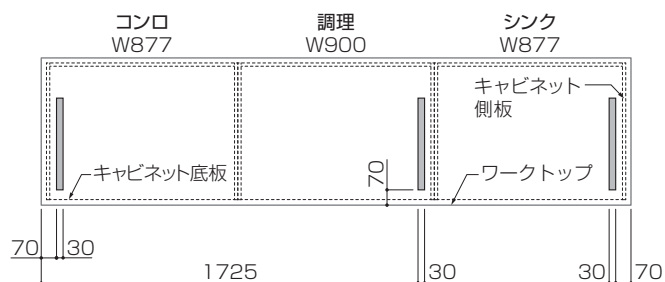
食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

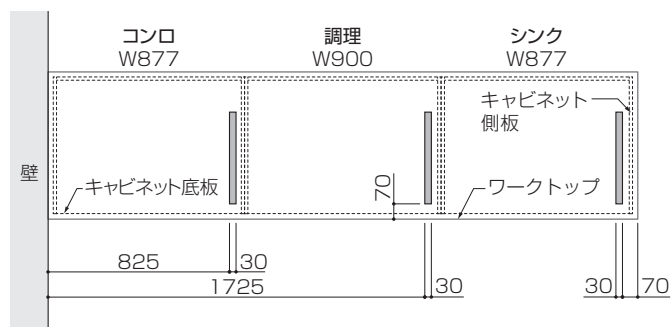
アイランド・ペニンシュラ型(スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)／(背面収納タイプ))

（ワークトップW2700の場合） ※図は右シンクの場合です。左勝手（左シンク）の場合は、左右反転した位置に床固定柵を設置してください。
※背面収納タイプは、キッチン側のみ床固定柵を設置してください。

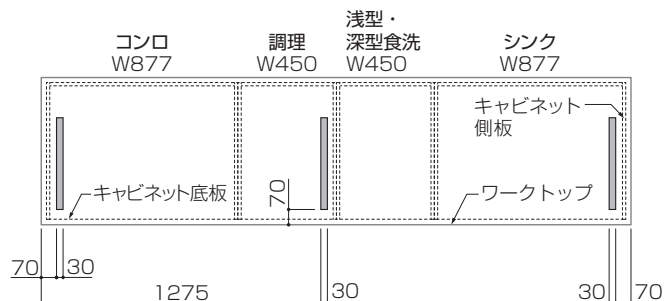
〈アイランド〉



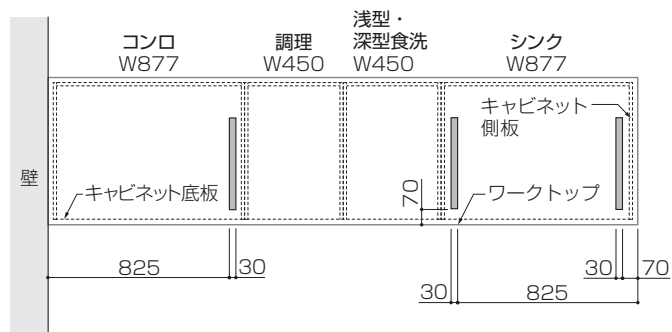
〈ペニンシュラ〉



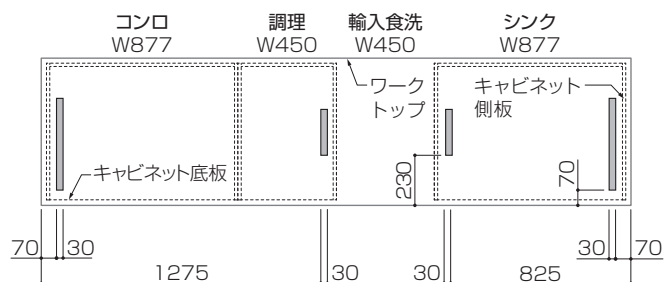
〈アイランド〉



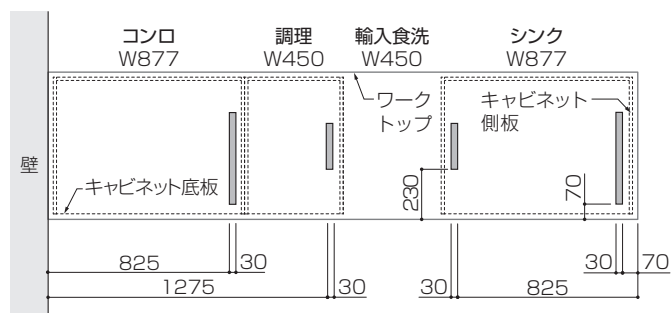
〈ペニンシュラ〉



〈アイランド〉



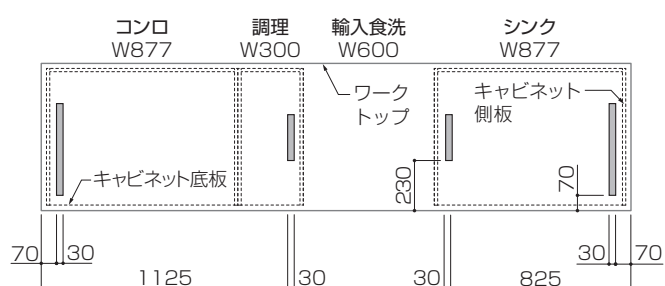
〈ペニンシュラ〉



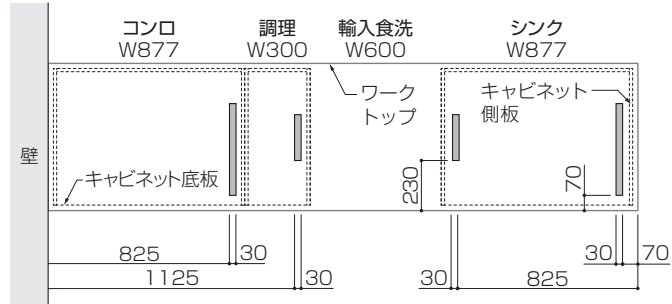
※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

〈アイランド〉



〈ペニンシュラ〉



※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

※輸入食洗機設置スペースに隣接する左右のキャビネットに、1/2にカットした床固定柵を取り付ける。

3. ベースキャビネットの下穴加工

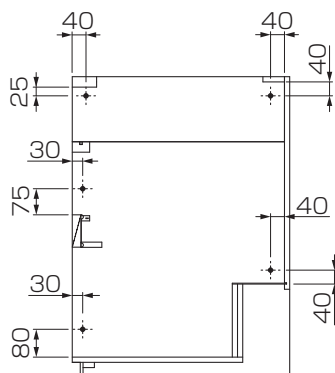
ベースキャビネットの各ねじ固定位置に下穴をあける。

下穴加工位置は、本説明書の「ウォール型」10～12ページ、および以下の図面を参照してください。

※＜＞の寸法は、ワークトップ高さH900の場合を示す。

■ キャビネット連結用 下穴加工位置（φ4.5mm、深さ15mm程度）

スタンダードタイプ（バックパネルタイプ）・背面収納タイプ 共通



＜コンロ下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)

ウォール型と同じ

＜調理下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)

ウォール型と同じ

＜シンク下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)

ウォール型と同じ

＜浅型食洗キャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)

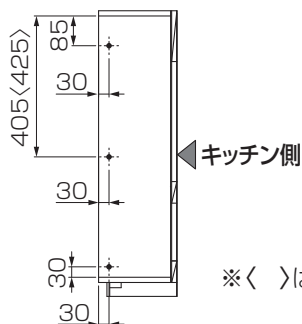
ウォール型と同じ

＜深型食洗キャビネット 側面図＞

固定位置(4か所)

背面収納タイプ

※背面収納キャビネットは、左(L)、中央(N)、右(R)があります。



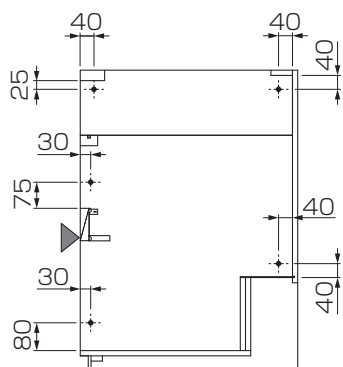
＜背面収納キャビネット 側面図＞

固定位置(3か所)

※＜＞は天板高H900の場合の寸法。

■ キャビネット側板壁面固定用 下穴加工位置（φ4.5mm、深さ15mm程度）

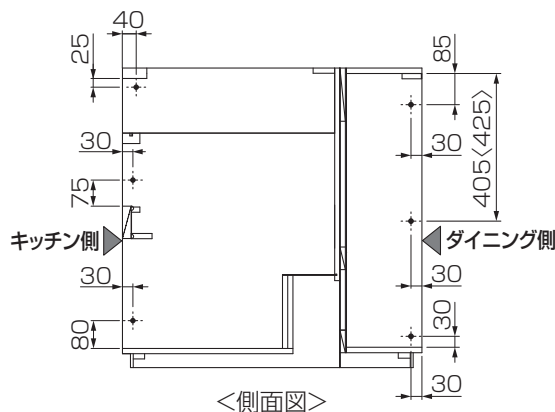
スタンダードタイプ（バックパネルタイプ）



＜コンロ下ベースキャビネット 側面図＞

固定位置(5か所)

背面収納タイプ



＜側面図＞

固定位置(キッチン側キャビネット 3か所+背面収納キャビネット 3か所)

■ ワークトップ固定用 下穴加工位置 (φ4.5mm、深さ15mm程度)

スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)・背面収納タイプ 共通

ウォール型と同じ

ウォール型と同じ

ウォール型と同じ

<コンロ下ベースキャビネット 上面図>

固定位置(3か所)

<調理下ベースキャビネット 上面図>

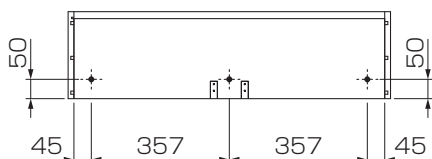
固定位置(W300・450:2か所/W750・900:3か所)

<シンク下ベースキャビネット 上面図>

固定位置(3か所)

背面収納タイプ

※背面収納キャビネットは、左(L)、中央(N)、右(R)があります。



<背面収納キャビネット 上面図>

固定位置(3か所) ※下穴加工不要

■ エンドパネル固定用 下穴加工位置 (φ4.5mm、深さ15mm程度)

※シンク下ベースキャビネットは、シンクを避けた位置に下穴をあけてください。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えてねじ固定してください。

スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)

ウォール型と同じ

ウォール型と同じ

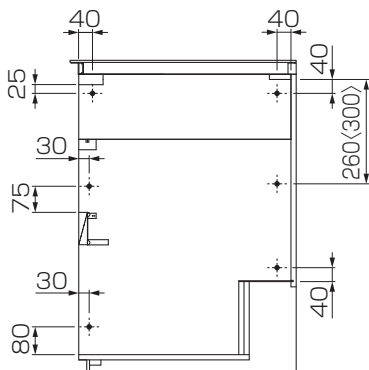
<コンロ下ベースキャビネット 側面図>

固定位置(7か所)

<シンク下ベースキャビネット 側面図>

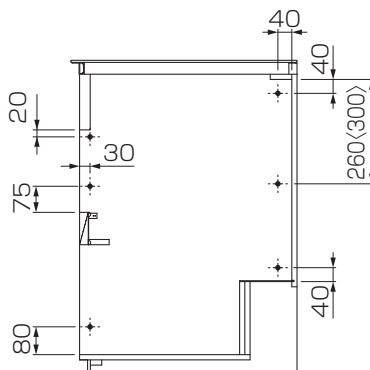
固定位置(7か所)

背面収納タイプ



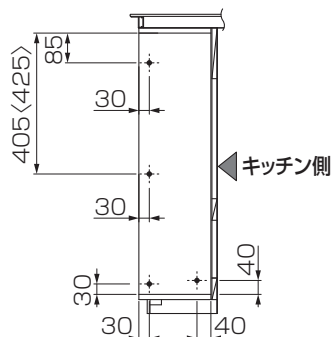
<コンロ下ベースキャビネット 側面図>

固定位置(6か所)



<シンク下ベースキャビネット 側面図>

固定位置(6か所)



<背面収納キャビネット 側面図>

固定位置(4か所)

アイランド・ペニンシュラ型〈スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)〉は、次ページ 図面参照

アイランド・ペニンシュラ型〈背面収納タイプ〉は、37ページ 図面参照

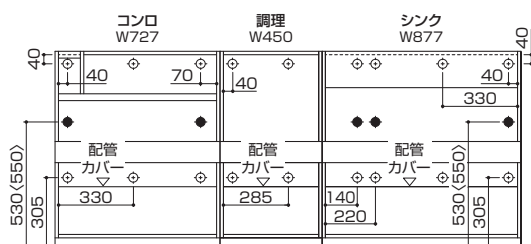
■ バックパネル固定用 下穴加工位置

スタンダードタイプ（バックパネルタイプ）

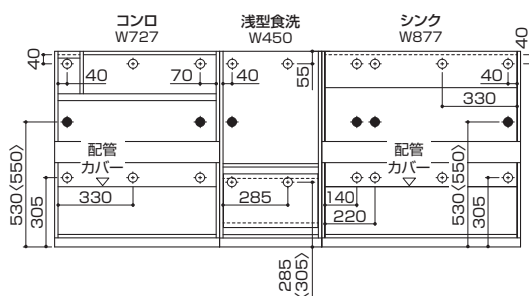
※図は右シンクの場合です。左勝手（左シンク）の場合は、左右反転した位置に下穴をあけてください。

※寸法はキャビネット内側からの寸法です。

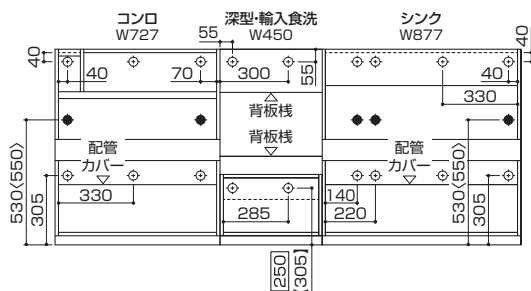
（ワークトップ W2100／食洗機なしの場合）



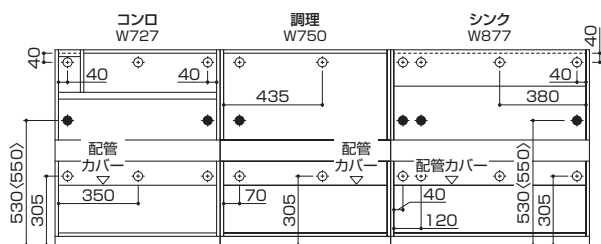
（ワークトップ W2100／浅型食洗機設置の場合）



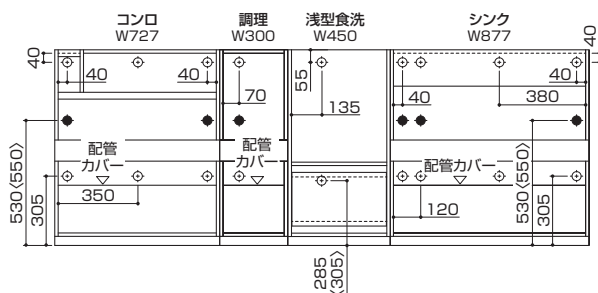
（ワークトップ W2100／深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合）



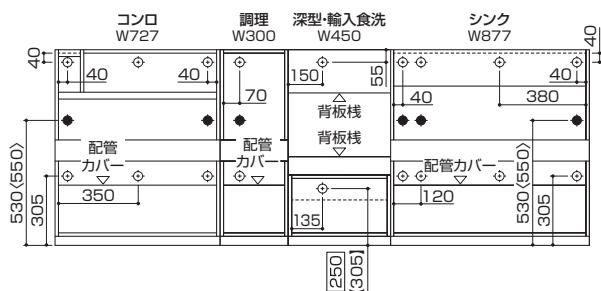
（ワークトップ W2400／食洗機なしの場合）



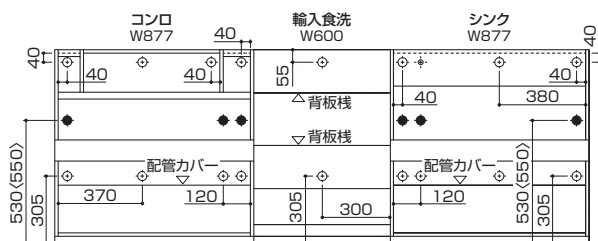
（ワークトップ W2400／浅型食洗機設置の場合）



（ワークトップ W2400／深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合）



（ワークトップ W2400／輸入食洗機 (W600) 設置の場合）

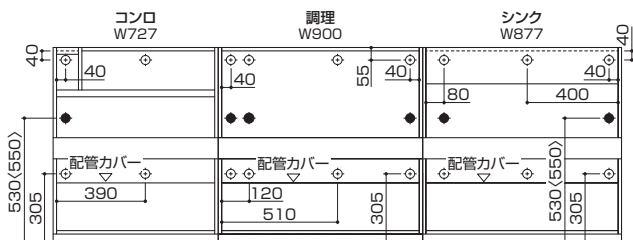


※ □ は深型食洗機、【 】 は輸入食洗機、〈 〉 は天板高H900の場合の寸法。

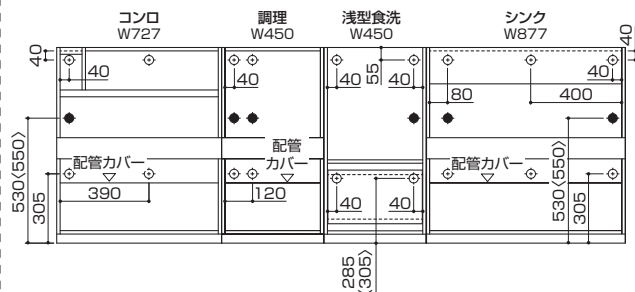
※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に下穴をあけてください。

※寸法はキャビネット内側からの寸法です。

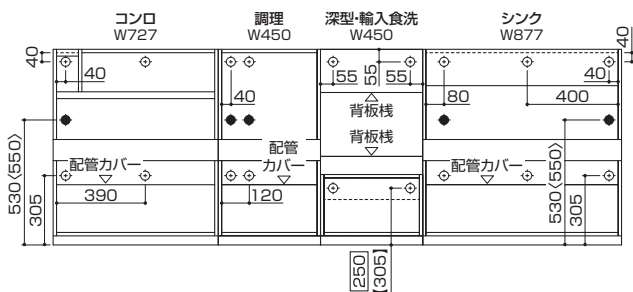
(ワークトップ W2550/食洗機なしの場合)



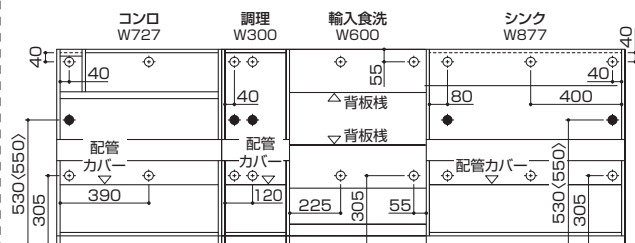
(ワークトップ W2550/浅型食洗機設置の場合)



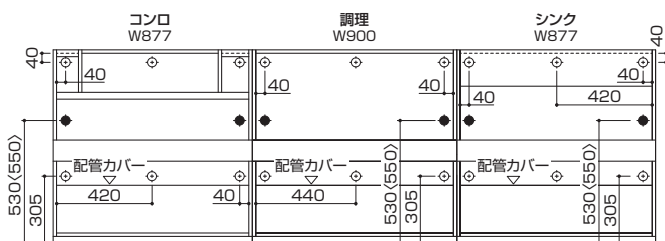
(ワークトップ W2550/深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合)



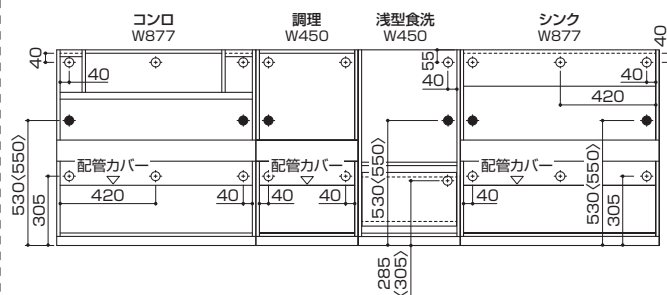
(ワークトップ W2550/輸入食洗機(W600)設置の場合)



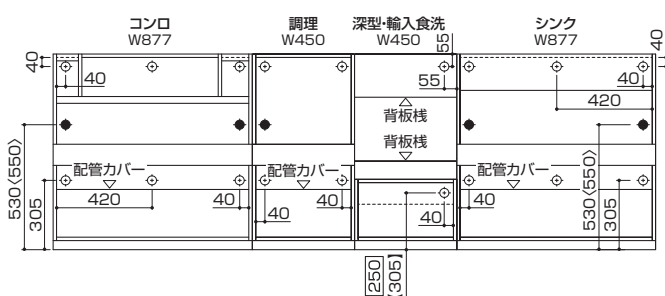
(ワークトップ W2700/食洗機なしの場合)



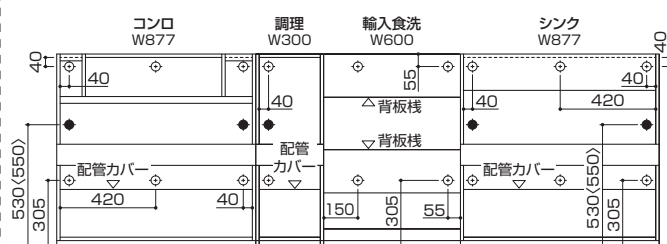
(ワークトップ W2700/浅型食洗機設置の場合)



(ワークトップ W2700/深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合)



(ワークトップ W2700/輸入食洗機(W600)設置の場合)



※ □ は深型食洗機、【 】 は輸入食洗機、< > は天板高H900の場合の寸法。

アイランド・ペニンシュラ型(スタンダードタイプ(バックパネルタイプ))以降の手順は、41ページへ

■ 背面収納固定用 下穴加工位置 (φ4.5mm、深さ15mm程度)

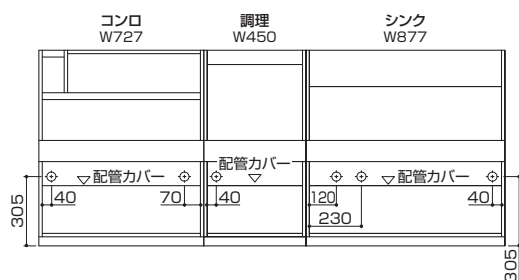
背面収納タイプ

※背面収納キャビネットは、左(L)、中央(N)、右(R)があります。

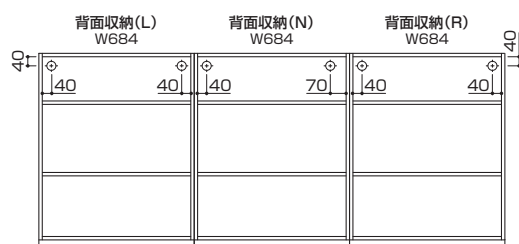
※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に下穴をあけてください。

(ワークトップ W2100 / 食洗機なしの場合)

〈キッチン側〉

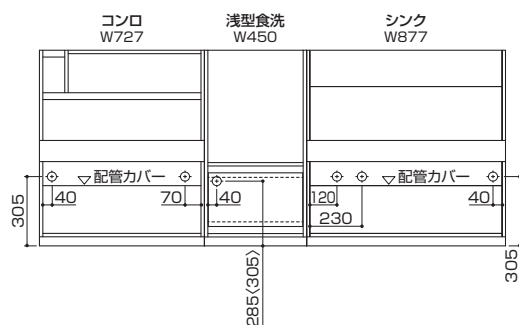


〈背面収納側〉

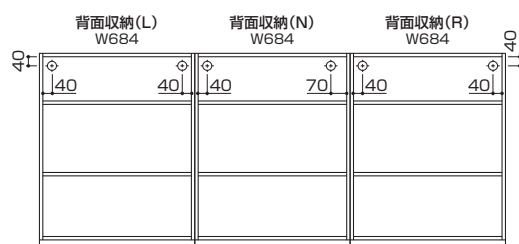


(ワークトップ W2100 / 浅型食洗機設置の場合)

〈キッチン側〉

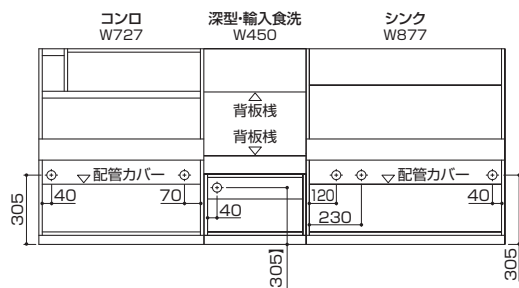


〈背面収納側〉

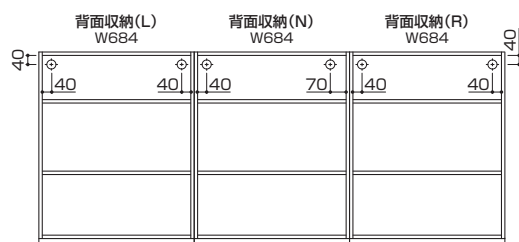


(ワークトップ W2100 / 深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合)

〈キッチン側〉



〈背面収納側〉



※ □ は深型食洗機、【 】 は輸入食洗機、〈 〉 は天板高H900の場合の寸法。

食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

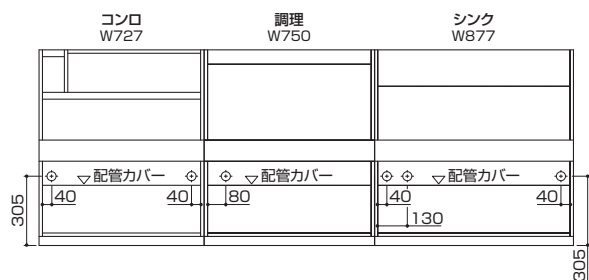
アイランド・ペンinsula型〈背面収納タイプ〉

※背面収納キャビネットは、左(L)、中央(N)、右(R)があります。

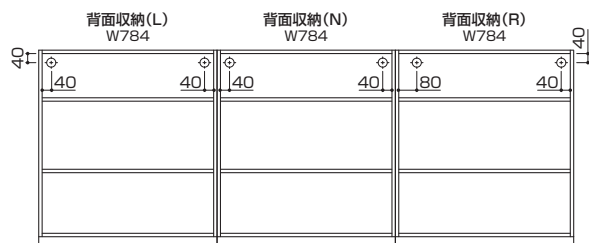
※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に下穴をあけてください。

(ワークトップ W2400 / 食洗機なしの場合)

〈キッチン側〉

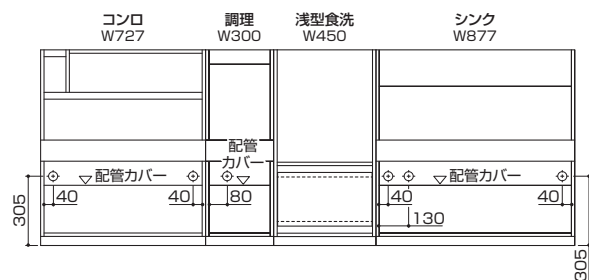


〈背面収納側〉

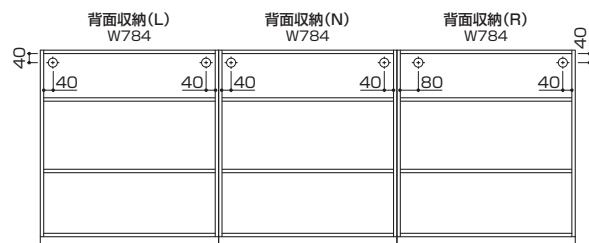


(ワークトップ W2400 / 浅型食洗機設置の場合)

〈キッチン側〉

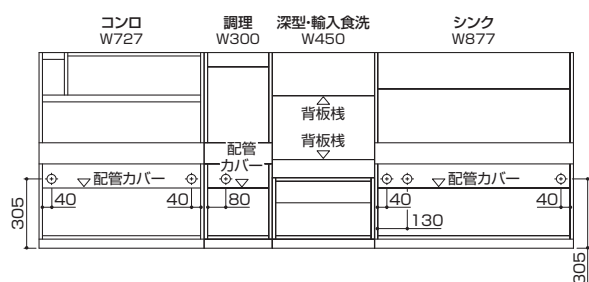


〈背面収納側〉

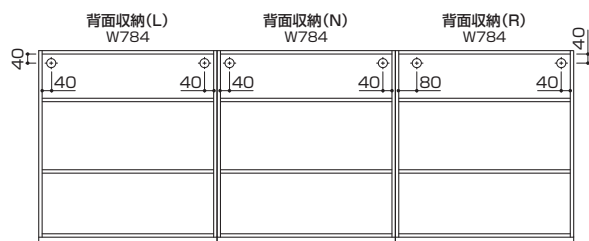


(ワークトップ W2400 / 深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合)

〈キッチン側〉

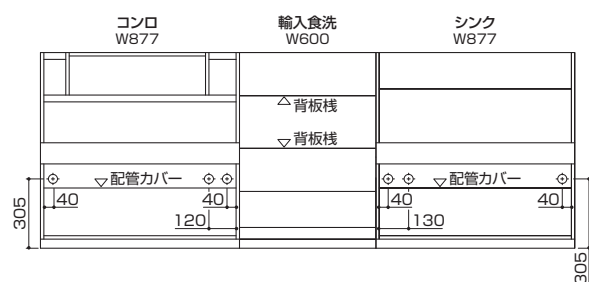


〈背面収納側〉

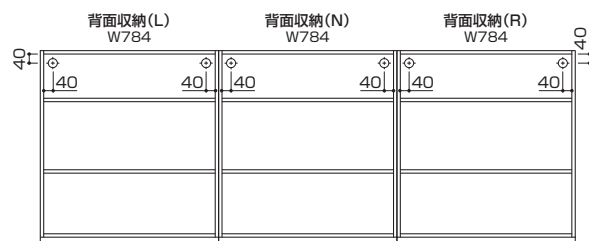


(ワークトップ W2400 / 輸入食洗機(W600)設置の場合)

〈キッチン側〉



〈背面収納側〉

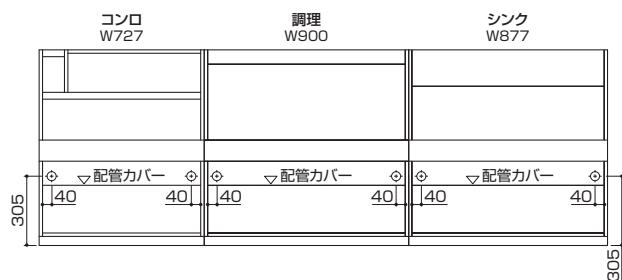


※背面収納キャビネットは、左(L)、中央(N)、右(R)があります。

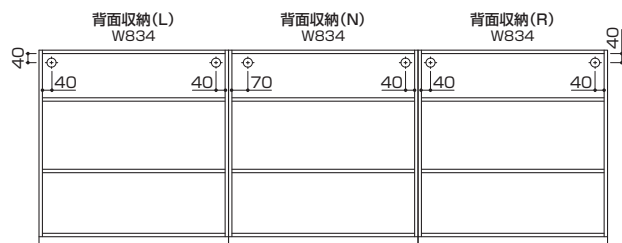
※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に下穴をあけてください。

(ワークトップ W2550／食洗機なしの場合)

〈キッチン側〉

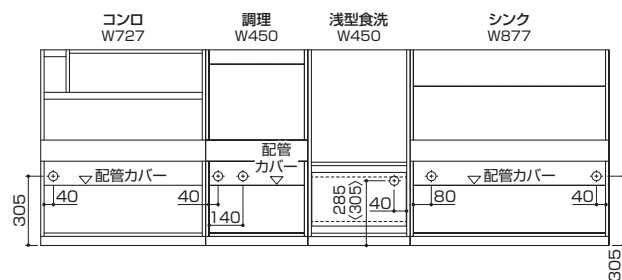


〈背面収納側〉

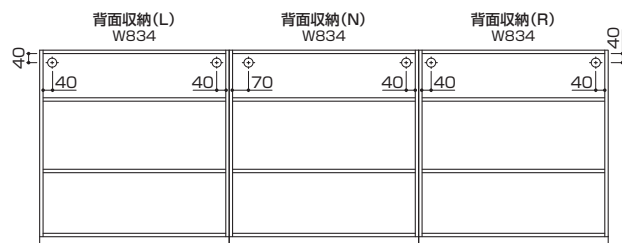


(ワークトップ W2550／浅型食洗機設置の場合)

〈キッチン側〉



〈背面収納側〉

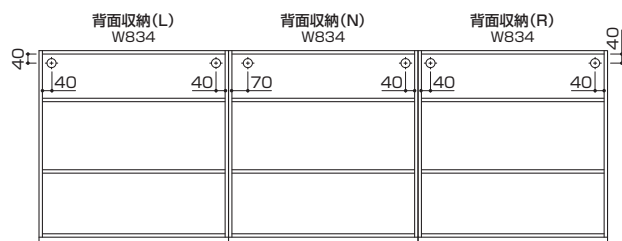


(ワークトップ W2550／深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合)

〈キッチン側〉

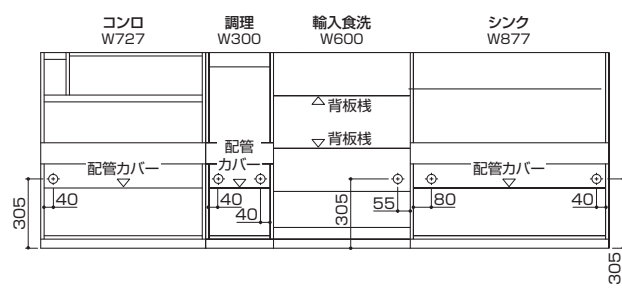


〈背面収納側〉

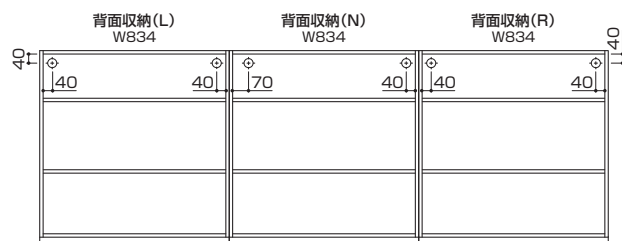


(ワークトップ W2550／輸入食洗機(W600)設置の場合)

〈キッチン側〉



〈背面収納側〉



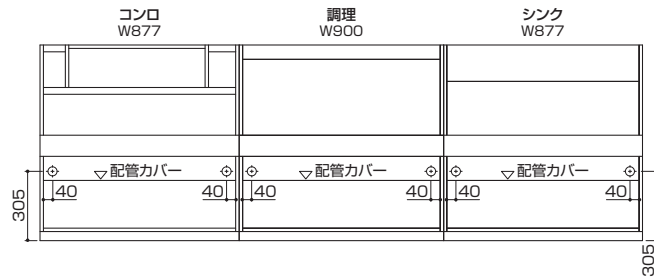
※ □ は深型食洗機、【 】 は輸入食洗機、〈 〉 は天板高H900の場合の寸法。

※背面収納キャビネットは、左(L)、中央(N)、右(R)があります。

※図は右シンクの場合です。左勝手(左シンク)の場合は、左右反転した位置に下穴をあけてください。

(ワークトップ W2700 / 食洗機なしの場合)

〈キッチン側〉

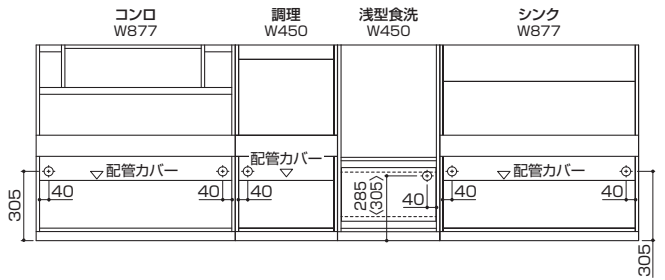


〈背面収納側〉

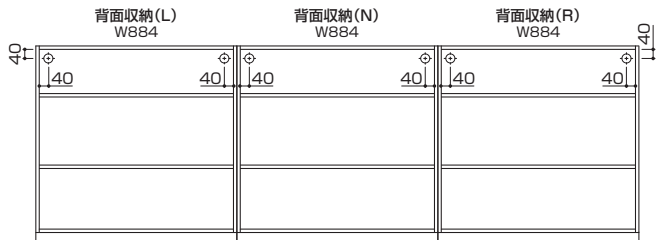


(ワークトップ W2700 / 浅型食洗機設置の場合)

〈キッチン側〉



〈背面収納側〉



(ワークトップ W2700 / 深型食洗機・輸入食洗機(W450)設置の場合)

〈キッチン側〉

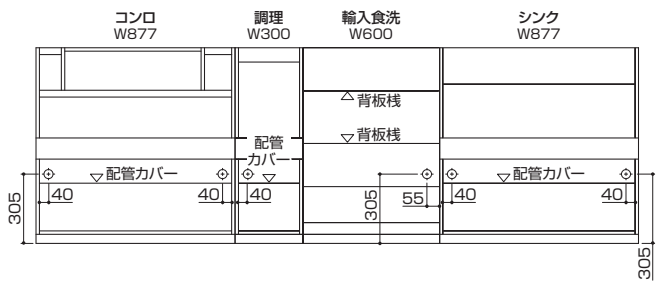


〈背面収納側〉

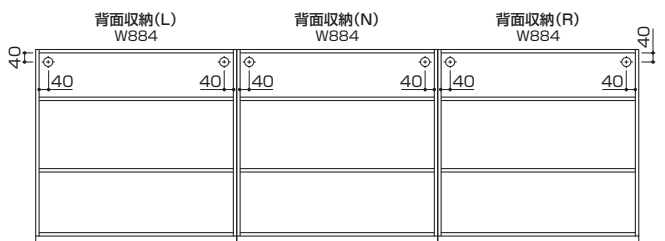


(ワークトップ W2700 / 輸入食洗機(W600)設置の場合)

〈キッチン側〉



〈背面収納側〉



※ □ は深型食洗機、【 】 は輸入食洗機、〈 〉 は天板高H900の場合の寸法。

アイランド・ペニンシュラ型〈背面収納タイプ〉以降の手順は、51ページへ

アイランド・ペニンシュラ型〈スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)〉

[寸法単位:mm]

1 ベースキャビネットの取付け（つづき）

4. ベースキャビネットの設置前加工

壁面に設置するキャビネットには以下の作業をしてください

フィラー下地材の取付け（ペニンシュラ型で壁面固定するキャビネットのみ）

- ① フィラー下地材に下穴をあける。
(φ4.5mm、深さ25mm程度)
- ② キャビネット外側からタッピンねじφ4×35mmで固定する。
※前面上部のフィラー下地材は、キャビネットの下端に合わせ

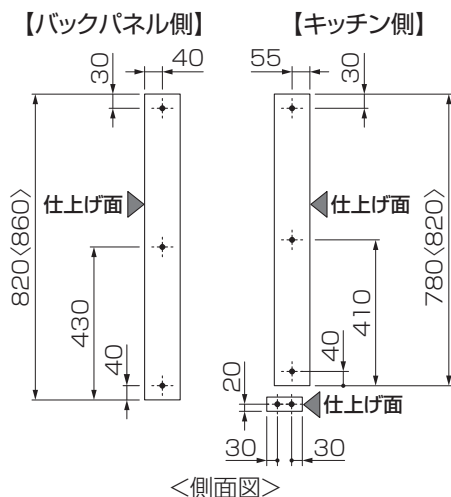
※前面上部のフィラー下地材は、キャビネットの下端に合わせ、
前面から3mm下げて取り付けてください。

※巾木部のフィラー下地材は、キャビネットの巾木同面で合わせて取り付けください。

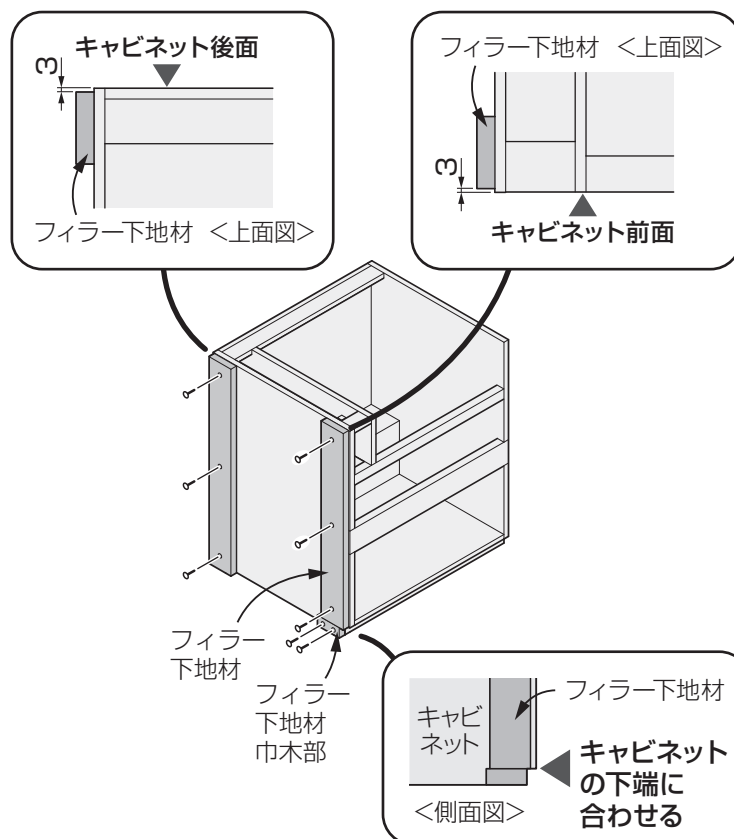
■ 下穴加工位置(フィラー下地材固定用)

※〈 〉は天板高H900の場合の寸法。

※仕上げ面の向きに注意してください。



固定下穴 $\langle \phi 4.5 \rangle$ 位置(8か所)



**(浅型食洗機・深型食洗機・輸入食洗機がある場合、
または食洗機の有無に関わらず横引き配管のある場合のみ)配管・配線取出し用の切欠き加工
本説明書の「ウォール型」13ページを参照してください。**

5. (浅型食洗機・深型食洗機がある場合のみ) 食洗機取付用金具の取付け

本説明書の「各プラン共通」57～58ページを参照してください。

6. ベースキャビネットの連結

本説明書の「ウォール型」13～14、16ページを参照してください。

7. ベースキャビネットの不陸調整

本説明書の「ウォール型」15ページを参照してください。

8. (ペニンシュラ型のみ) ベースキャビネットの横壁仮固定

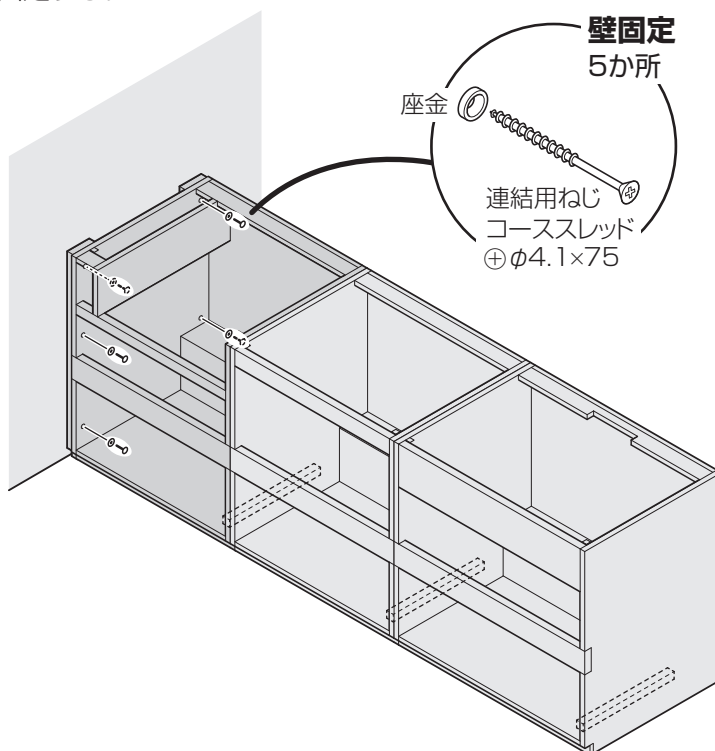
壁側のキャビネット側板と壁面を、座金とねじで仮固定する。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

ポイント

**床固定と横壁への本固定は
ワークトップを載せてから**

床固定枠と各キャビネットの固定や横壁への本固定は、ワークトップを載せてから行います。



2 ワークトップの取付け

① (ペニンシュラ型のみ)

ワークトップに天板下バックアップ用角材を、壁側短手方向のみ、両面テープのはく離紙をはがして貼り付ける。

詳細は、本説明書の「ウォール型」18ページを参照してください。

※天板下バックアップ用角材は、壁面に接する箇所のみ取付けが必要です。

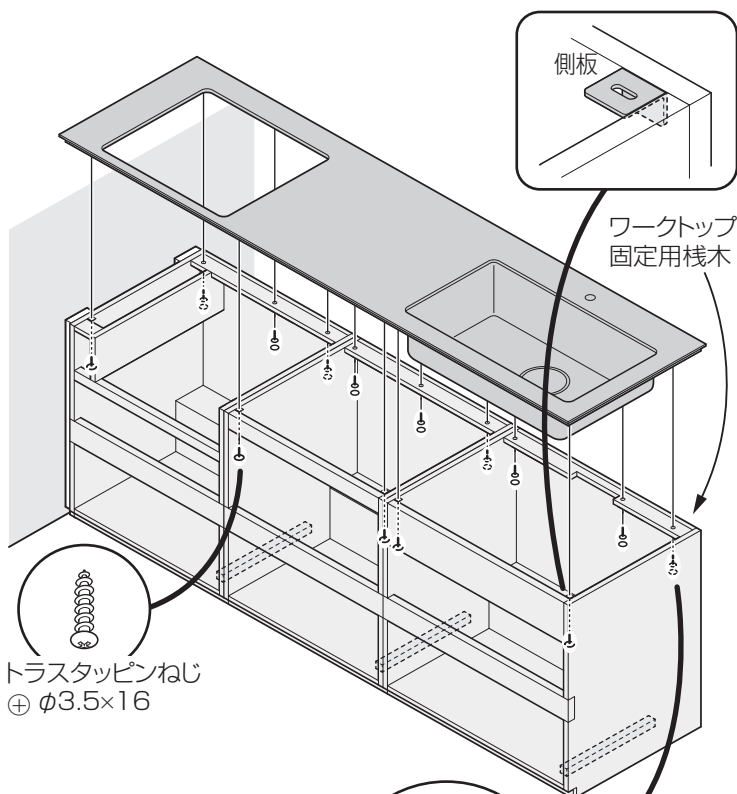
ポイント

- キャビネットにワークトップを載せる前に、必ず天板下バックアップ用角材を貼り付けてください。
- 天板下バックアップ用角材を貼り付ける前に、ワークトップの裏面をふき取ってください。
出荷時に汚れている場合があります。

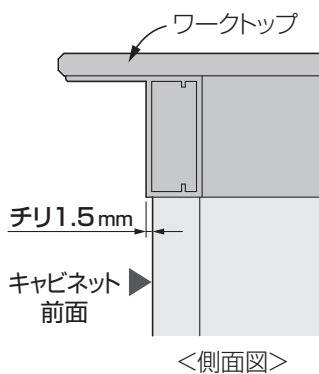
② ベースキャビネットにワークトップを載せる。

⚠ 注意	
！ 必ず守る	重量物注意 持ち上げ・移動は必ず複数の人数で行う

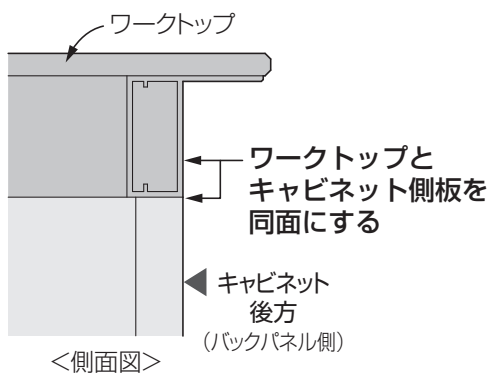
③ ワークトップとベースキャビネットの前後・左右位置を調整し、キャビネット内部よりねじ固定する。
キャビネット背板側はワークトップ固定用 棧木の下穴を通してねじ固定する。



<キッチン側>

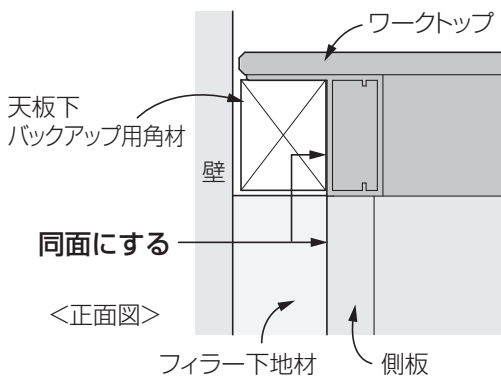


<バックパネル側>



<壁面側(ペニンシュラ型のみ)>

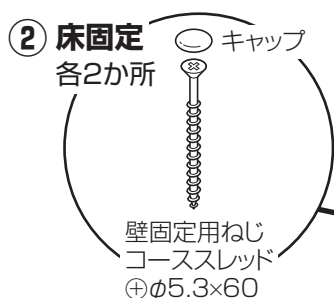
壁面側のワークトップ下部とキャビネット側板を同面にしてください。



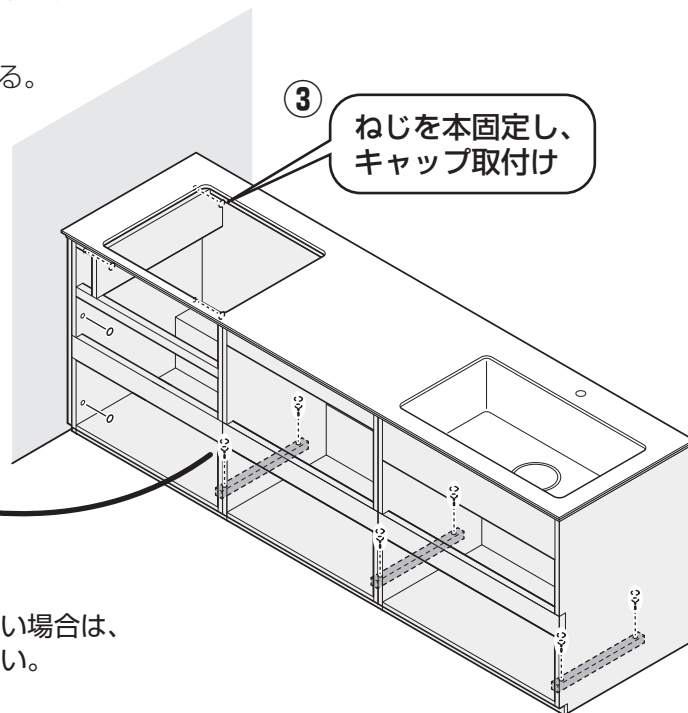
※ねじは隙間なく締め付けてください。隙間があると、がたつきの原因となります。
※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

3 床固定柵とベースキャビネットの固定・ (ペニンシュラ型のみ) ベースキャビネット横壁本固定

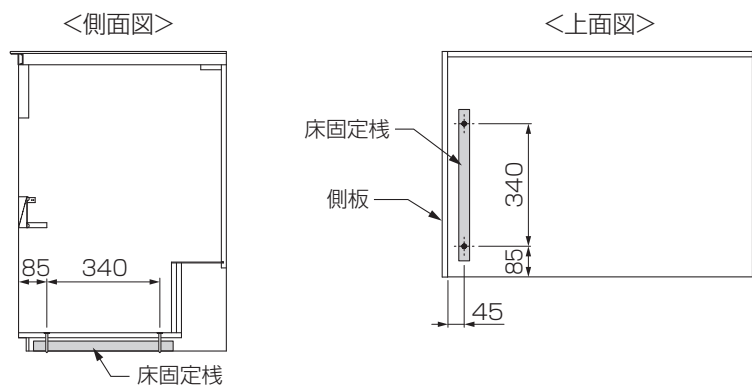
- ① 床固定柵取付位置のベースキャビネット底板に対して、
φ6mm、深さ15mm程度の下穴をあける。
- ② 床固定柵と各キャビネットの底板をねじで固定する。
- ③ (ペニンシュラ型のみ)
ベースキャビネットと横壁を本固定し、
キャップを取り付ける。



※床仕上げ材により、ねじが長い場合は、
現場調達にて変更してください。

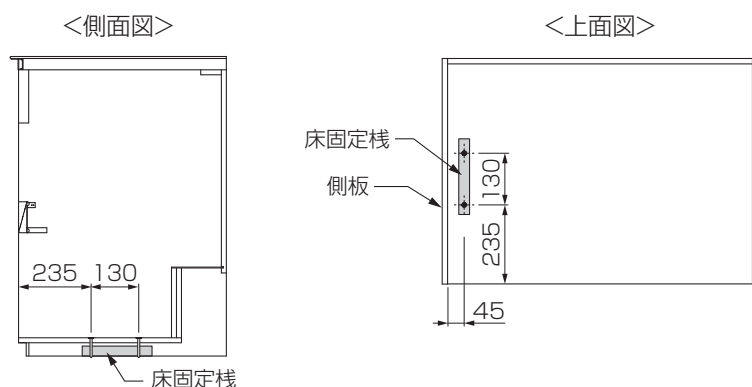


■ 床固定柵とベースキャビネット底板の固定位置 (各キャビネット寸法共通)



※左記の寸法図は一例です。
プランによっては右側板から45mmの
位置に、床固定柵を設置する場合も
あります。
29～32ページの「床固定柵と床面の
固定位置」図で、床固定柵の
設置位置を確認してください。

輸入食洗機設置の場合(1/2にカットした床固定柵の固定位置)

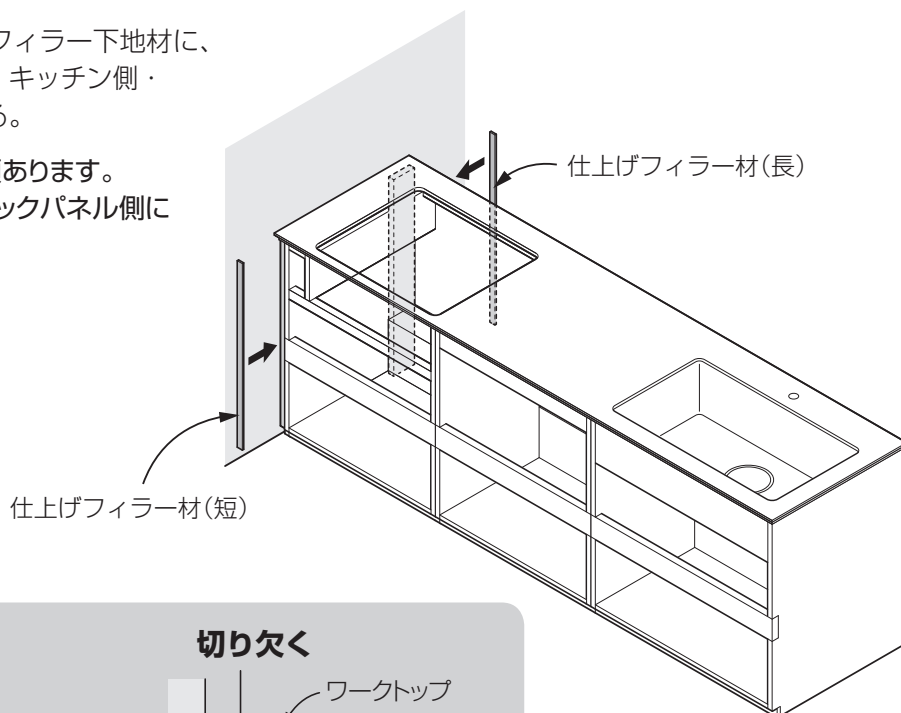


※左記の寸法図は一例です。
プランによっては右側板から45mmの
位置に、床固定柵を設置する場合も
あります。
29～32ページの「床固定柵と床面の
固定位置」図で、床固定柵の
設置位置を確認してください。

4 (ペニンシュラ型のみ) 仕上げフィラー材の貼付け

仕上げフィラー材(2.5mm厚)をフィラー下地材に、両面テープのはく離紙をはがして、キッチン側・バックパネル側の両方に貼り付ける。

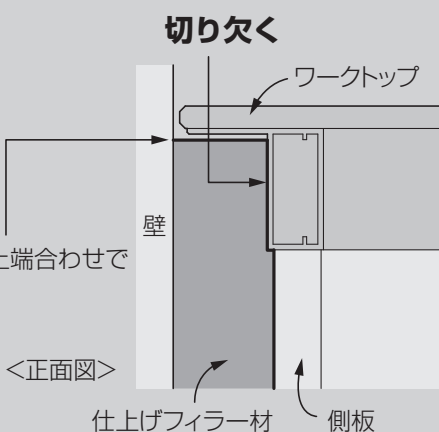
※仕上げフィラー材は長さが2種類あります。
短い方をキッチン側、長い方をバックパネル側にそれぞれ貼り付けてください。



ポイント

壁面側のワークトップ下部とキャビネット側板が同面にならない場合、現場で仕上げフィラー材を切り欠いてください。

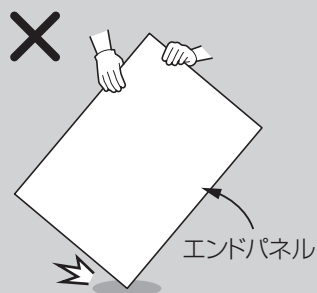
仕上げフィラー材は、上端合わせて貼り付けてください。



5 エンドパネルの取付け

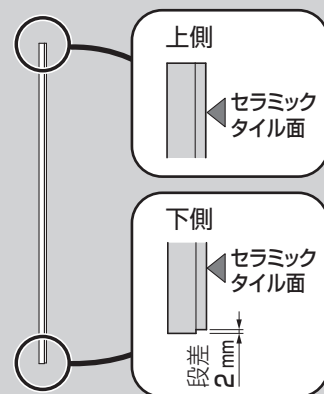
ポイント エンドパネルの取扱い注意

右図のように角を立てたりしないでください。タイルの角が欠けるおそれがあります。



ポイント

エンドパネルはタイルと基材との段差がある方が下側です。



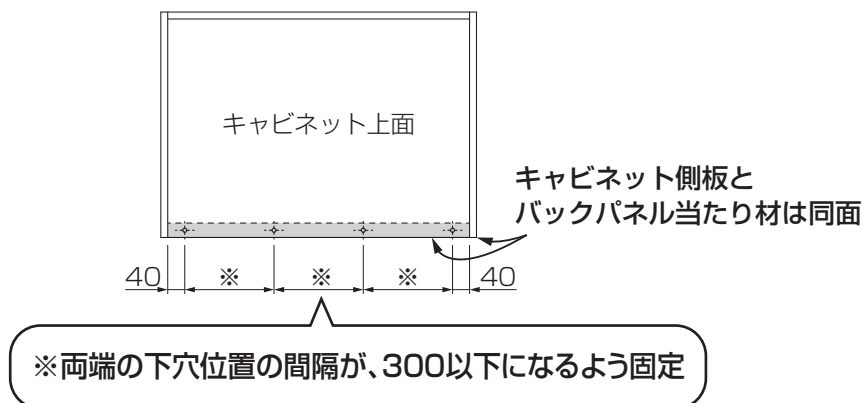
本説明書の「ウォール型」21～22ページを参照してください。

6 バックパネルの取付け

- ① バックパネル当たり材をキャビネット側板の内法寸法に合わせてカットし、ねじ固定位置に下穴をあける。
（ $\phi 6\text{mm}$ 、深さ30mm程度）

※現場の配管状況により同梱の「バックパネル当たり材」で対応できない場合は、現場状況に適した部材を別途ご用意のうえ、施工してください。

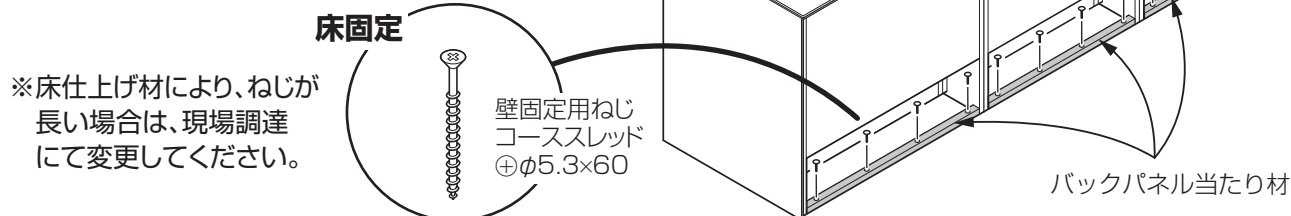
■ 下穴加工位置（バックパネル当たり材固定用）



- ② 床にねじ固定する。

ポイント

浅型食洗機または深型食洗機を設置する場合、キャビネットに配管・配線取出し用の穴加工が施されている箇所には、バックパネル当たり材を継ぎ足して取り付けてください。

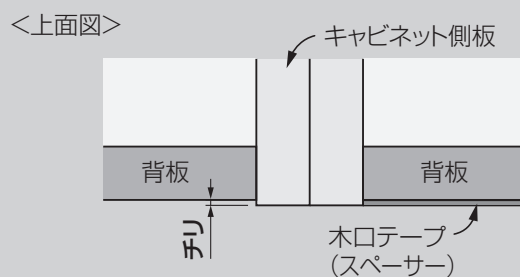
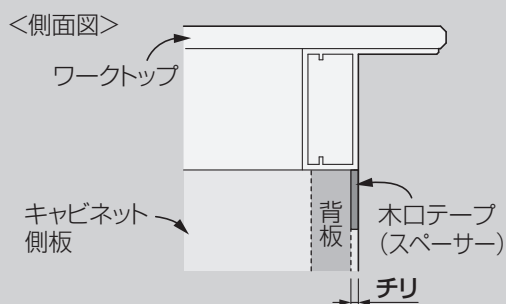


- ③ 各ベースキャビネットの背面側に、木口テープ(スペーサー)を貼り付ける。
(キャビネットの側板と背板の段差をなくす目的です。下記のポイントを参照してください。)
- ※ベースキャビネット1台につき、木口テープ(スペーサー)を上下方向に4枚貼り付けてください。
木口テープ(スペーサー)同士の間隔が**均等**になるように貼り付けてください。

ポイント

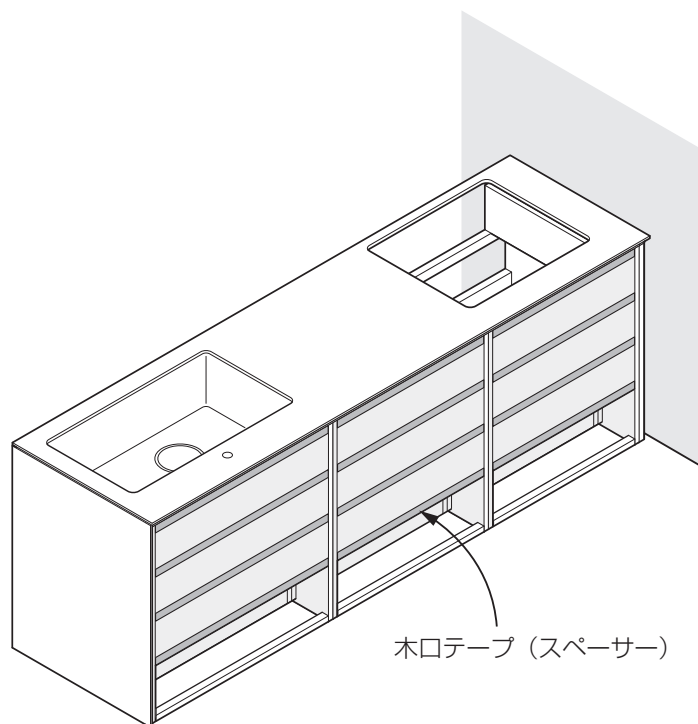
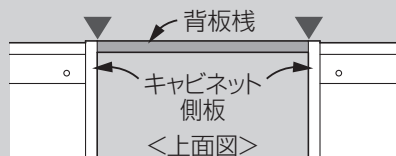
シンク下ベースキャビネット、コンロ下ベースキャビネット(グリルあり・なし)、浅型食洗機用キャビネット、調理下ベースキャビネットの背板と、キャビネット側板には段差(チリ)が生じています。

木口テープ(スペーサー)を貼ることで背板とキャビネット側板との段差をなくし、キャビネットの背面部を平面にすることが目的です。

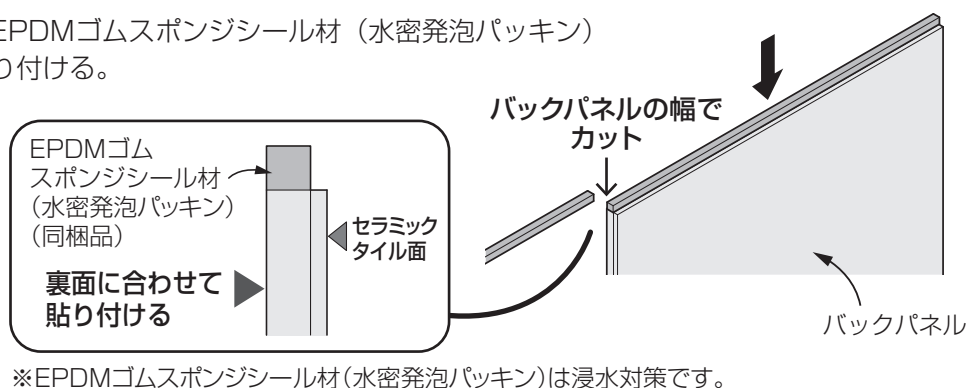


ポイント

深型食洗機または輸入食洗機設置時に取り付ける背板棧には、**木口テープ(スペーサー)の貼付けは不要です。**(側板と同面のため)



- ⑤ バックパネル上部木口にEPDMゴムスポンジシール材（水密発泡パッキン）（同梱品）をカットして貼り付ける。



※EPDMゴムスポンジシール材(水密発泡パッキン)は浸水対策です。

- ⑥ バックパネルをキャビネットの内側からねじで固定する。

ポイント バックパネルの固定順注意

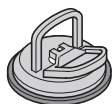
バックパネルは下記の順番でねじ固定してください。

- ① 中段のねじ仮止め（下穴φ6 mm）

※バックパネル位置の調整を行ってください。

●使用する工具

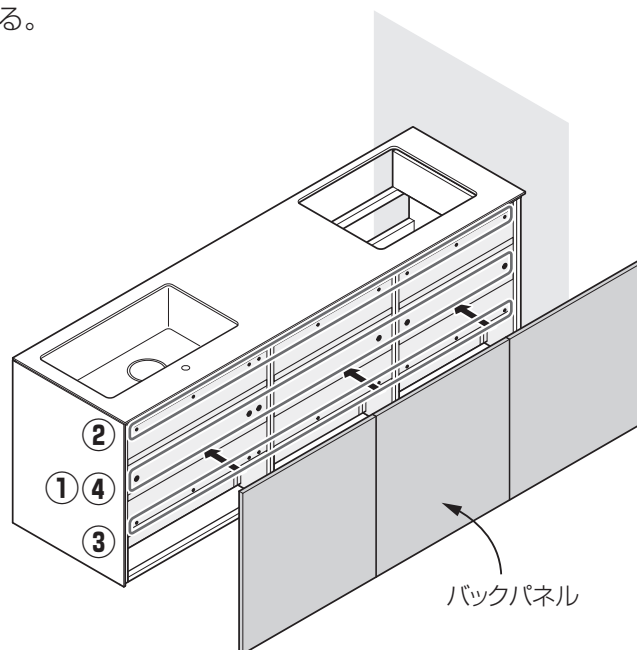
サクションリフター



- ② 上段のねじ固定（下穴φ4.5 mm）

- ③ 下段のねじ固定（下穴φ4.5 mm）

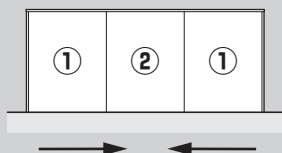
- ④ 中段のねじ本締め



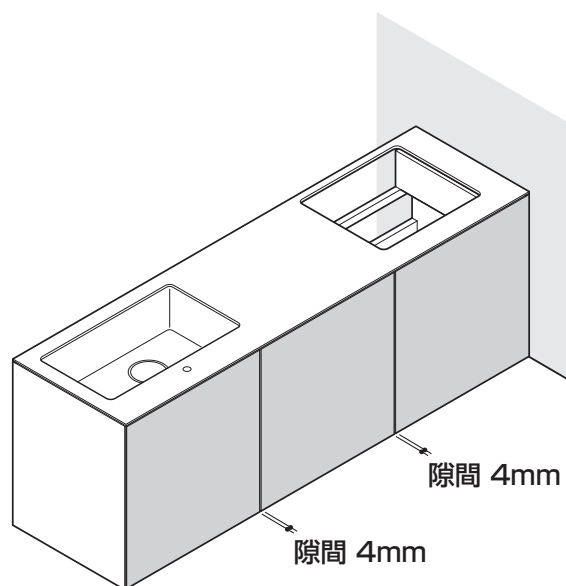
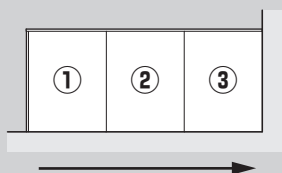
ポイント バックパネルの取付け順注意

設置する種類によって、バックパネルの取付け順が異なります。

アイランド型：両サイドから取付け
（中央のパネルで寸法調整）



ペニンシュラ型：エンドパネル側から壁側へ取付け
（壁側のパネルで寸法調整）



各取り合いに関しては、詳細図面を参照してください。

7 <オプション>食洗機の取付け**8 水栓金具の取付け****9 排水トラップの取付け****10 機器の取付け**

本説明書の「ウォール型」
22～26ページを参照してください。

11 引出しの取付け

詳細は、本説明書の「各プラン共通」59ページを参照してください。

12 コンロフィラーの取付け

詳細は、本説明書の「ウォール型」26ページを参照してください。

13 輸入食洗機巾木の取付け

詳細は、本説明書の「各プラン共通」61ページを参照してください。

アイランド・ペニンシュラ型〈背面収納タイプ〉

[寸法単位：mm]

1 ベースキャビネットの取付け（つづき）

（前の作業に関しては、27～40ページを参照してください。）

4. ベースキャビネットの設置前加工

壁面に設置するキャビネットには以下の作業をしてください

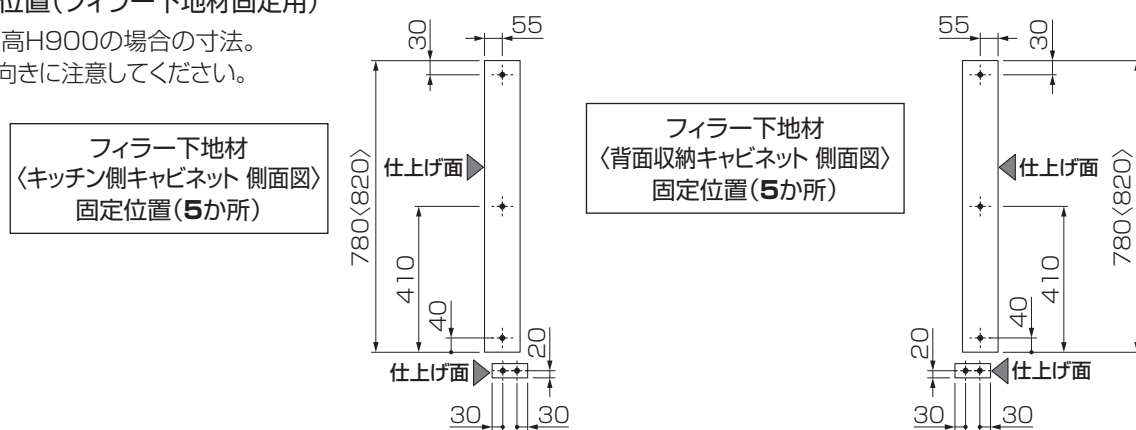
フィラー下地材の取付け（ペニンシュラ型で壁面固定するキャビネットのみ）

- ① フィラー下地材に下穴をあける。（ ϕ 4.5mm、深さ25mm程度）

■ 下穴加工位置（フィラー下地材固定用）

※く>は天板高H900の場合の寸法。

※仕上げ面の向きに注意してください。

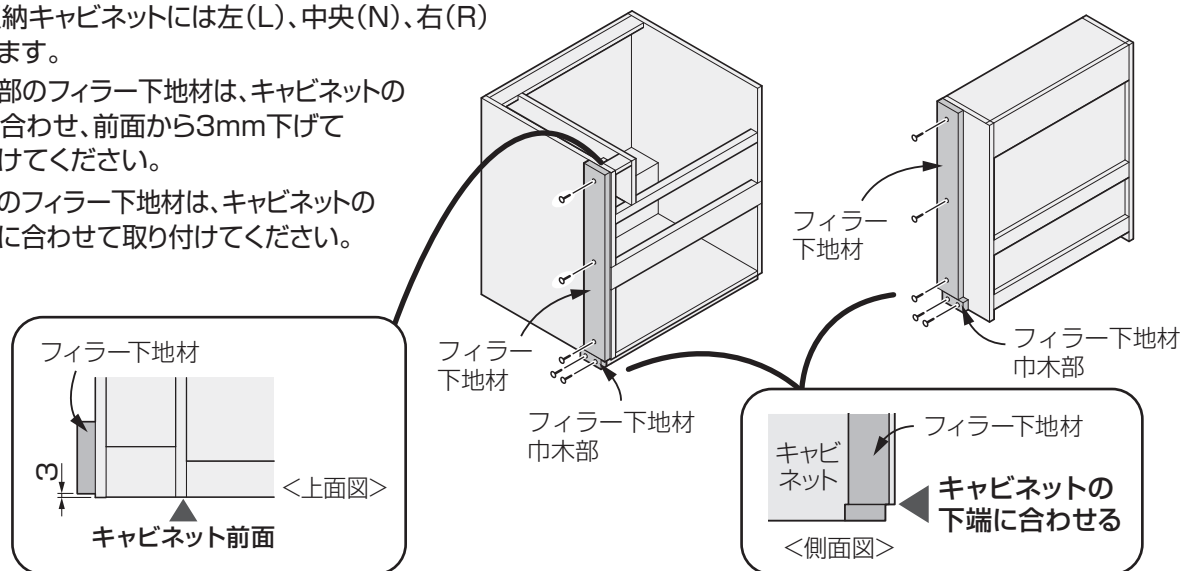


- ② キャビネット外側からタッピンねじ ϕ 4×35mmで固定する。

※背面収納キャビネットには左(L)、中央(N)、右(R)があります。

※前面上部のフィラー下地材は、キャビネットの下端に合わせ、前面から3mm下げて取り付けてください。

※巾木部のフィラー下地材は、キャビネットの切欠きに合わせて取り付けてください。



（浅型食洗機・深型食洗機・輸入食洗機がある場合、または食洗機の有無に関わらず横引き配管のある場合のみ）配管・配線取出し用の切欠き加工
本説明書の「ウォール型」13ページを参照してください。

5. （浅型食洗機・深型食洗機がある場合のみ）食洗機取付用金具の取付け

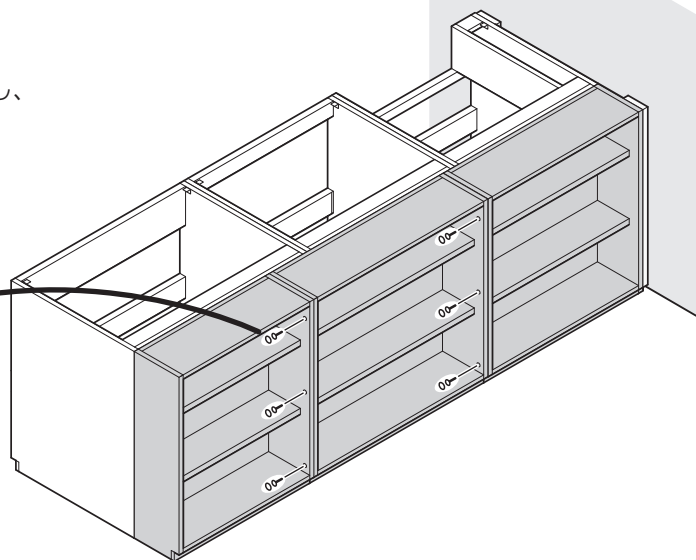
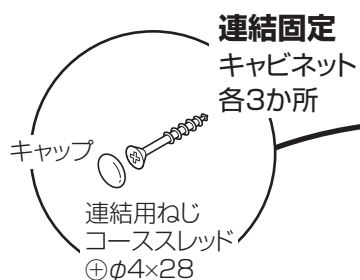
本説明書の「各プラン共通」57～58ページを参照してください。

6. ベースキャビネットの連結

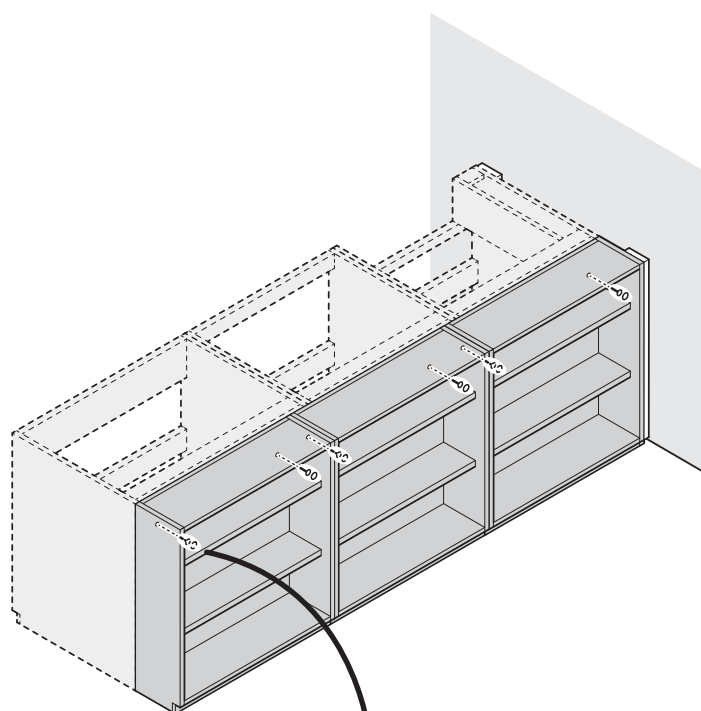
本説明書の「ウォール型」13～14、16ページを参照してください。

7. 背面収納キャビネットの連結

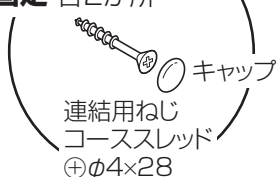
- ① 背面収納キャビネットを前面合わせで設置し、左右連結する。



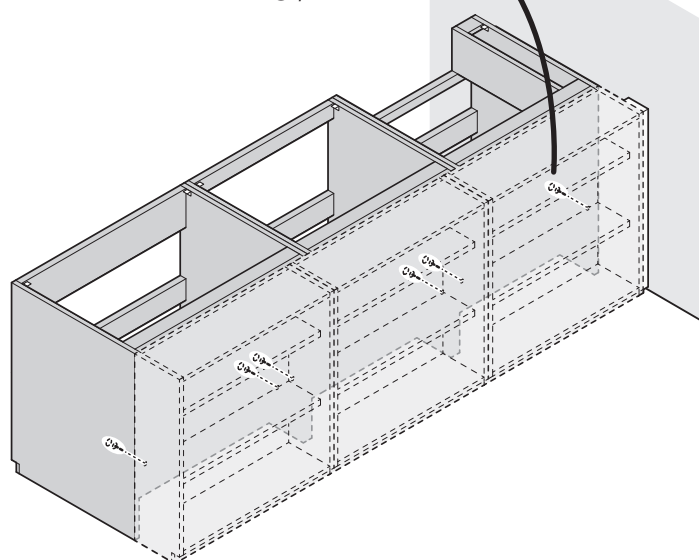
- ② 背面収納キャビネットと、キッチン側のベースキャビネットの背板同士を下穴位置でねじ固定する。



ダイニング側から
連結固定 各2か所



キッチン側から
連結固定 各1～3か所



8. ベースキャビネットの不陸調整

本説明書の「ウォール型」15ページを参照してください。

9. (ペニンシュラ型のみ) ベースキャビネットの横壁仮固定

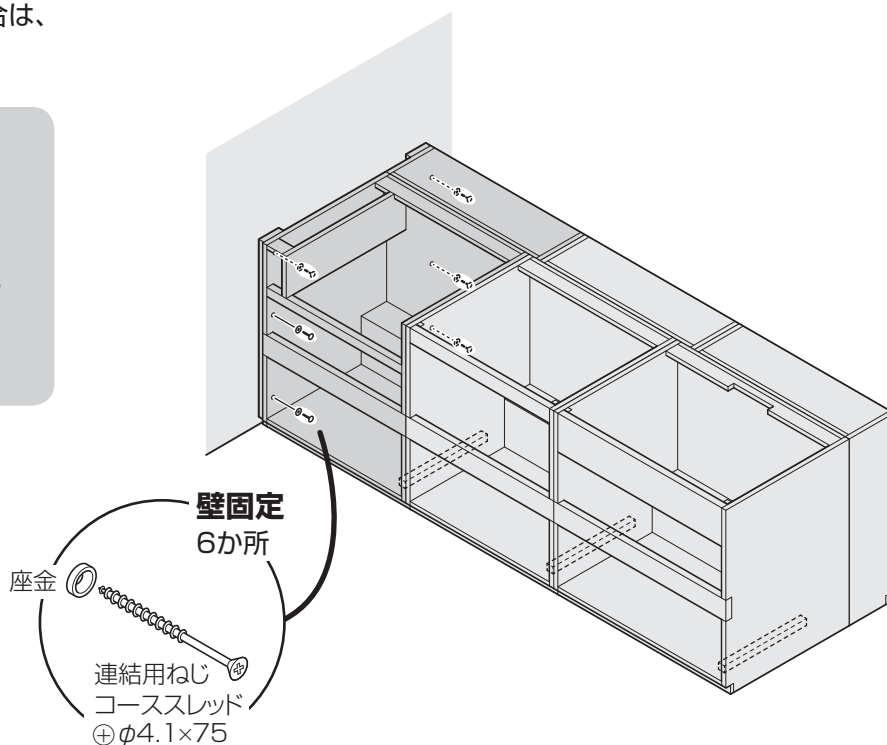
壁側のキャビネット側板と壁面を、座金とねじで仮固定する。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

ポイント

床固定と横壁への本固定はワークトップを載せてから

床固定と各キャビネットの固定や横壁への本固定は、ワークトップを載せてから行います。



2 ワークトップの取付け

① (ペニンシュラ型のみ)

ワークトップに天板下バックアップ用角材を、壁側短手方向のみ、両面テープのはく離紙をはがして貼り付ける。

詳細は、本説明書の「ウォール型」18ページを参照してください。

※天板下バックアップ用角材は、壁面に接する箇所への取付けが必要です。

ポイント

- キャビネットにワークトップを載せる前に、必ず天板下バックアップ用角材を貼り付けてください。
- 天板下バックアップ用角材を貼り付ける前に、ワークトップの裏面をふき取ってください。出荷時に汚れている場合があります。

② ベースキャビネットにワークトップを載せる。

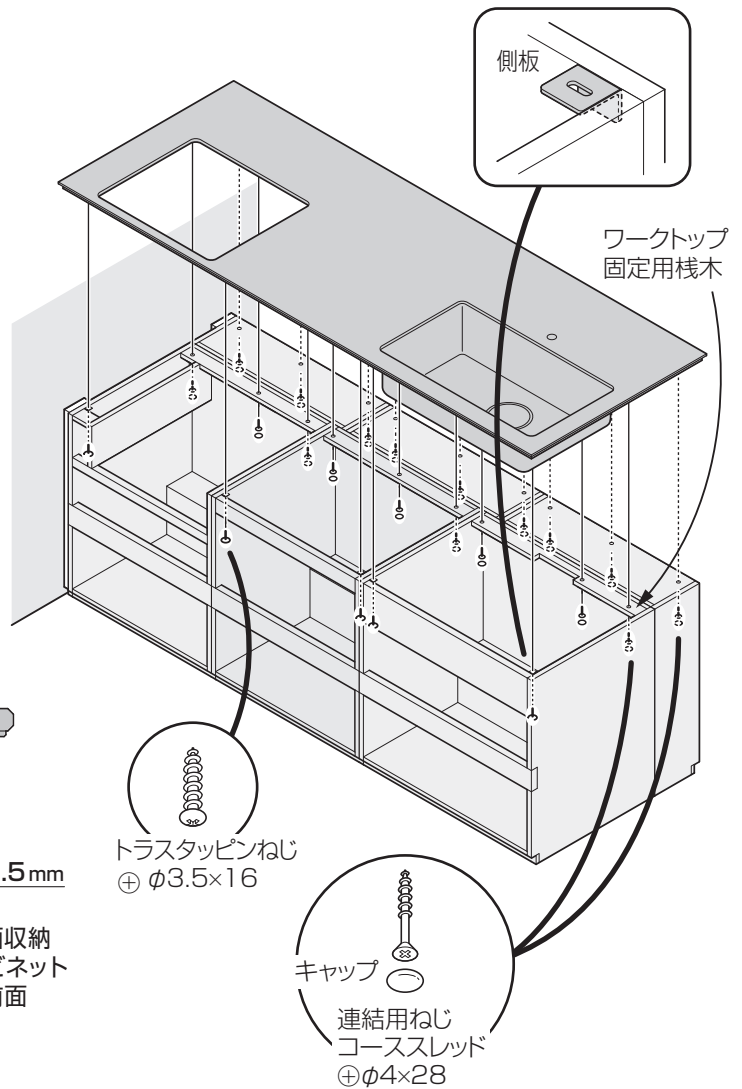
! 注意



重量物注意

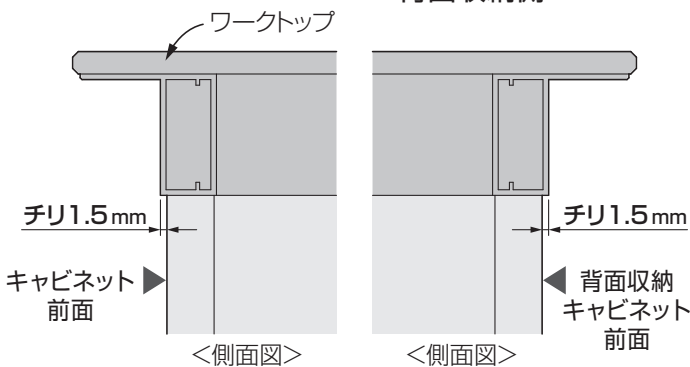
持ち上げ・移動は必ず複数の人数で行う

- ③ ワークトップとベースキャビネットの前後・左右位置を調整し、キャビネット内部よりねじ固定する。
キャビネット背板側はワークトップ固定用栈木の下穴を通してねじ固定する。
背面収納キャビネットはワークトップの下穴を通してねじ固定する。



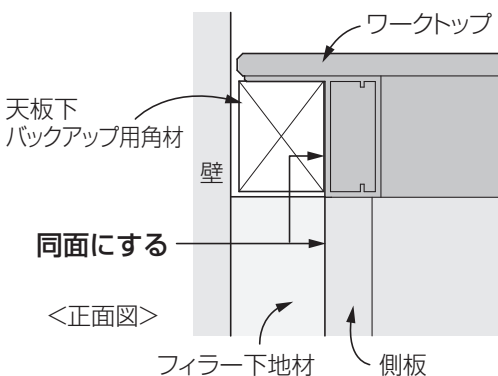
<キッチン側>

<背面収納側>



<壁面側(ペニンシュラ型のみ)>

壁面側のワークトップ下部とキャビネット側板を同面にしてください。



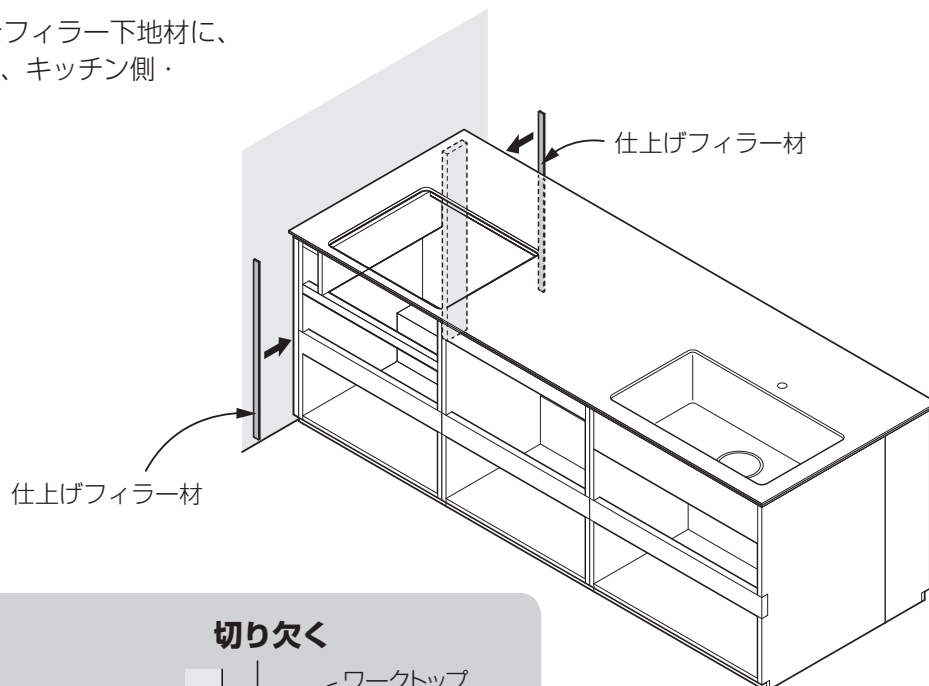
※ねじは隙間なく締め付けてください。隙間があると、がたつきの原因となります。
※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

③ 床固定栈とベースキャビネットの固定・ (ペニンシュラ型のみ) ベースキャビネット横壁本固定

本説明書の「アイランド・ペニンシュラ型〈スタンダードタイプ(バックパネルタイプ)〉」
44ページを参照してください。

4 (ペニンシュラ型のみ) 仕上げフィラー材の貼付け

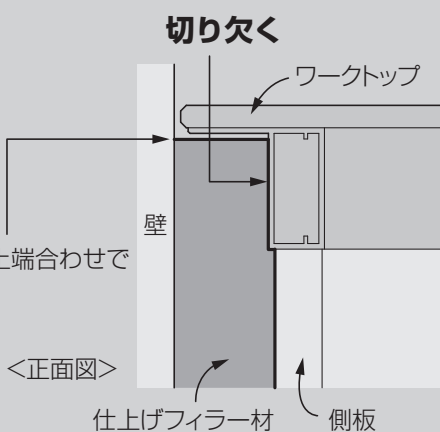
仕上げフィラー材(2.5mm厚)をフィラー下地材に、両面テープのはく離紙をはがして、キッチン側・背面収納側の両方に貼り付ける。



ポイント

壁面側のワークトップ下部とキャビネット側板が同面にならない場合、現場で仕上げフィラー材を切り欠いてください。

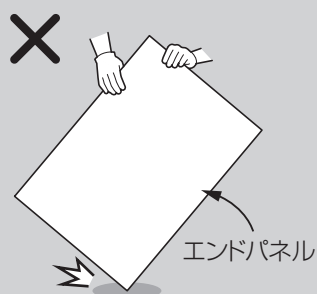
仕上げフィラー材は、上端合わせて貼り付けてください。



5 エンドパネルの取付け

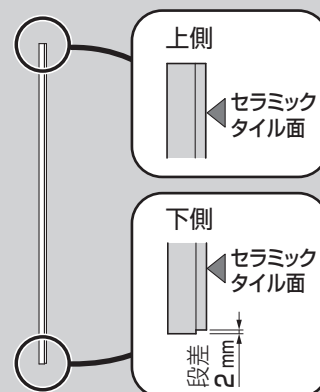
ポイント エンドパネルの取扱い注意

右図のように角を立てたりしないでください。タイルの角が欠けるおそれがあります。



ポイント

エンドパネルはタイルと基材との段差がある方が下側です。



本説明書の「ウォール型」21～22ページを参照してください。

6 <オプション>食洗機の取付け

7 水栓金具の取付け

8 排水トラップの取付け

9 機器の取付け

本説明書の「ウォール型」
22～26ページを参照してください。

10 引出し・扉の取付け

詳細は、本説明書の「各プラン共通」59～60ページを参照してください。

11 コンロフィラーの取付け

詳細は、本説明書の「ウォール型」26ページを参照してください。

12 輸入食洗機巾木の取付け

詳細は、本説明書の「各プラン共通」61ページを参照してください。

食洗機の設置のしかた

国産浅型食洗機設置の場合

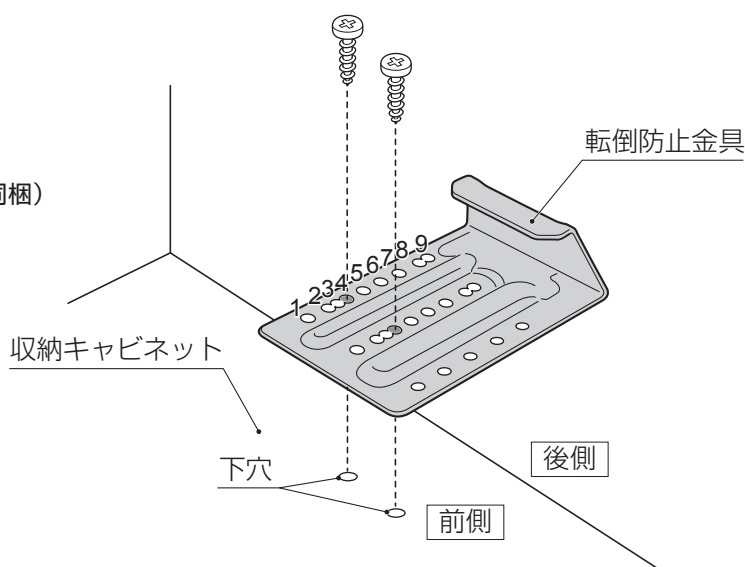
■ 対象品番：EW-45****（三菱電機 浅型食洗機）

転倒防止金具・前ズレ防止金具位置は、食洗機に同梱の型紙に合わせて下穴をあけて、同梱のねじで固定してください。（キャビネットの前面小口に、型紙の前端を合わせてください。）

1 転倒防止金具の取付け

型紙に合わせて下穴をあけて、同梱のねじで転倒防止金具を固定する。

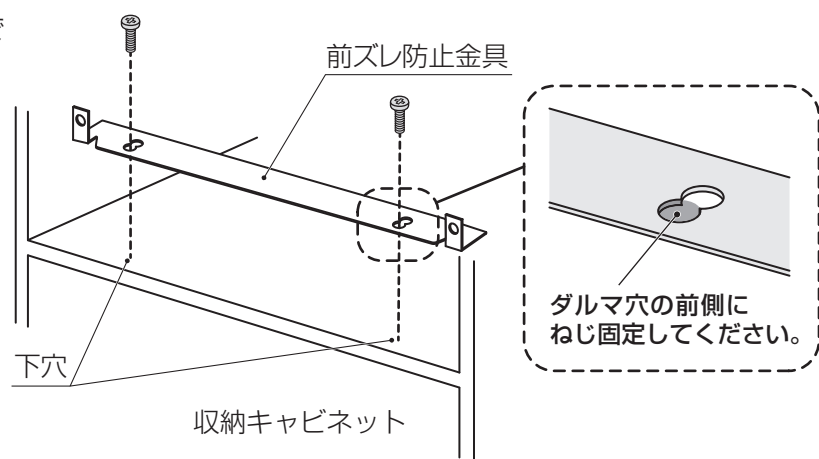
※下穴はキリなどであけて、2本の固定用ねじ（食洗機同梱）で必ず手締めしてください。



2 前ズレ防止金具の取付け

食洗機同梱の据付説明書に従い、同梱のねじで前ズレ防止金具を固定する。

※キリなどで下穴をあけて、2本の固定用ねじ（食洗機同梱）で必ず手締めしてください。



3 食洗機の設置

食洗機同梱の据付説明書に従い、食洗機を設置する。

警告



必ず守る

電気工事・アース接地は据付説明書どおりに確実に行う
漏電・感電のおそれがあります。

国産深型食洗機設置の場合

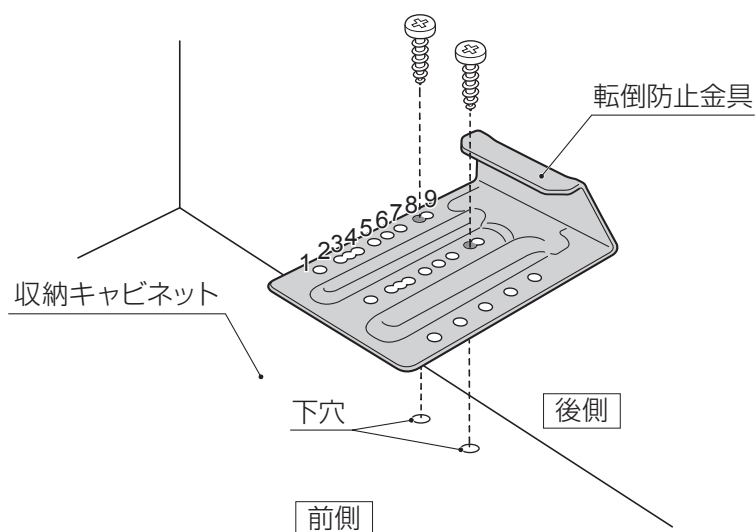
■ 対象品番：EW-45****（三菱電機 深型食洗機）

転倒防止金具・前ズレ防止金具位置は、食洗機に同梱の型紙に合わせて下穴をあけて、同梱のねじで固定してください。（キャビネットの前面小口に、型紙の前端を合わせてください。）

1 転倒防止金具の取付け

型紙に合わせて下穴をあけて、同梱のねじで転倒防止金具を固定する。

※下穴はキリなどであけて、2本の固定用ねじ（食洗機同梱）で必ず手締めしてください。



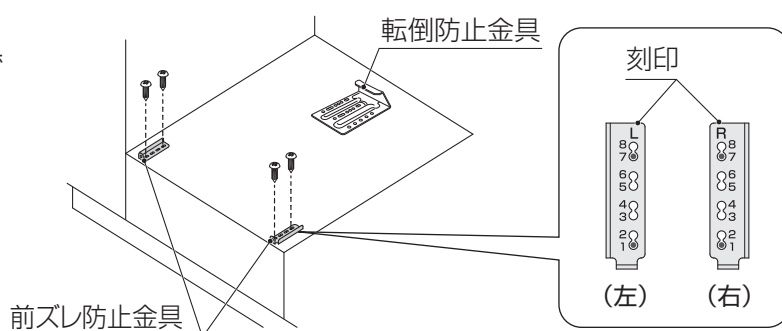
2 前ズレ防止金具の取付け

食洗機同梱の据付説明書に従い、同梱のねじで前ズレ防止金具を固定する。

※キリなどで下穴をあけて、2本の固定用ねじ（食洗機同梱）で必ず手締めしてください。

※前ズレ防止金具は、[1]と[7]または[5]と[7]のねじ固定穴位置で固定してください。

※前ズレ防止金具の刻印（L（左）・R（右））を確認してください。



3 食洗機の設置

食洗機同梱の据付説明書に従い、食洗機を設置する。

⚠ 警告



必ず守る

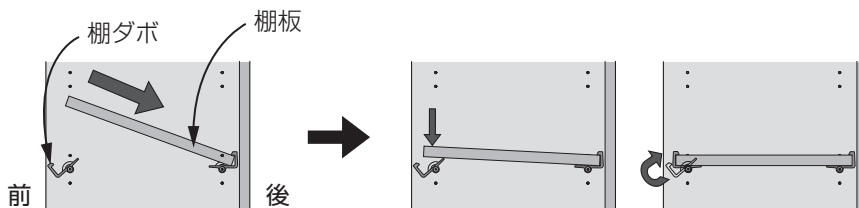
電気工事・アース接地は据付説明書どおりに確実に行う
漏電・感電のおそれがあります。

部材の取付け

1 棚受金具の取付け

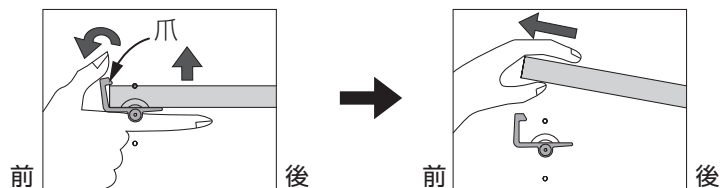
棚受けの取付け

- ① あらかじめダボ穴に棚ダボを取り付けておき、奥側の棚ダボに棚板を入れる。
- ② 上側から棚板をはめ込む。



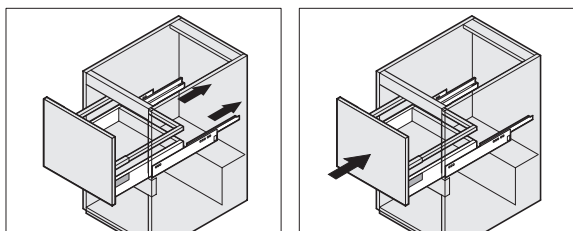
棚受けの取外し

- ① 棚ダボの爪を手前に倒し、棚板を持ち上げる。
- ② 棚板を斜め上前方に引き抜く。



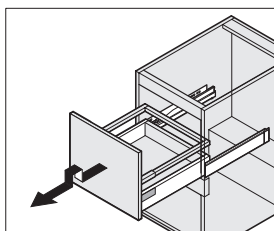
2 引出しの取付け

引出しの入れかた



“カチャ”という音で引出しが正しく入ったかどうか確認できます。

引出しの外しかた



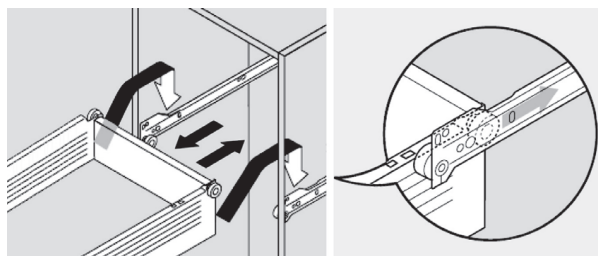
引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引く。

グリル脇小引出しの入れかた

引出しを少し上に持ち上げながらレールに入れる。

グリル脇小引出しの外しかた

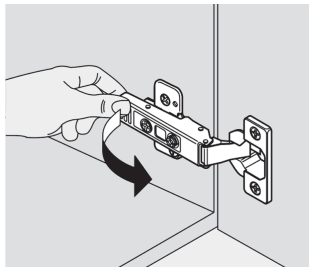
引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引く。



※引出しの取付け後、バンポンを保護するマスキングテープをはがしてください。

3 扉の取付け

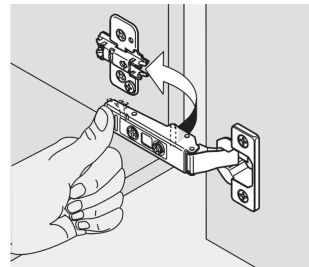
丁番の取付け



お願い

取付け後、扉を持って2、3回開閉し、
丁番が確実に固定されている
ことを確認してください。

丁番の取外し

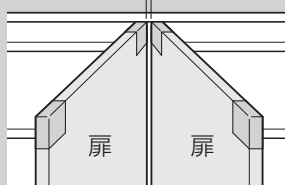


ポイント

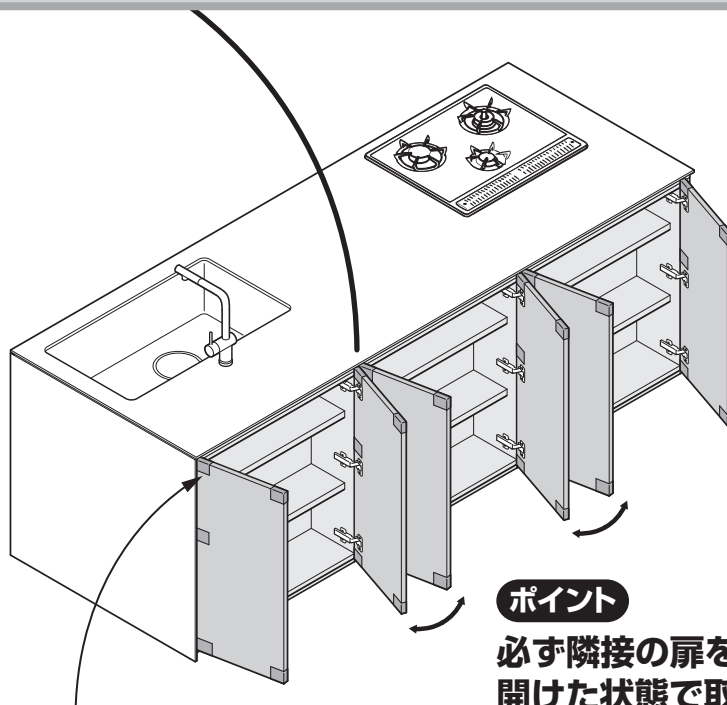
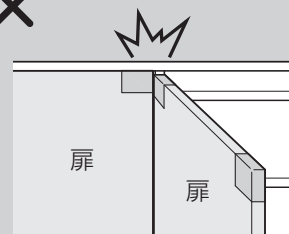
エンドパネルおよび扉同士の
タイル面が、干渉しないように
注意してください。

※扉の取付け作業時は、隣接の扉を
必ず開けた状態で取り付けてください。
(干渉によるカケの発生を防止するため)

○ 隙間がある状態で取付け



×



ポイント

**必ず隣接の扉を
開けた状態で取り付ける**

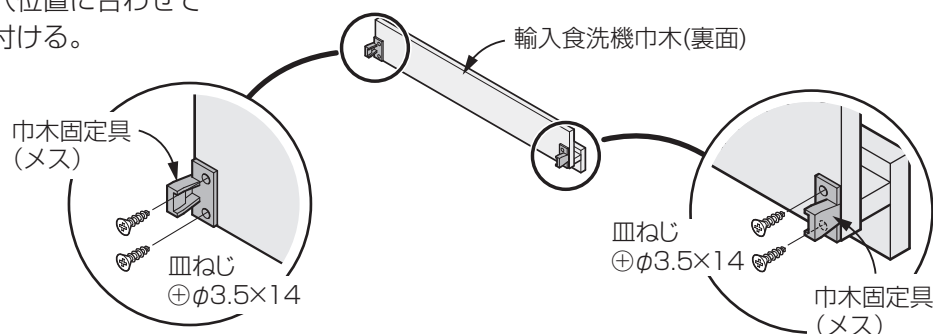
※扉の保護シート材は、
扉の取付け後に取り外してください。

取付け時、タイルの角が欠けやすいので十分注意してください。

4 輸入食洗機巾木の取付け(輸入食洗機設置の場合のみ)

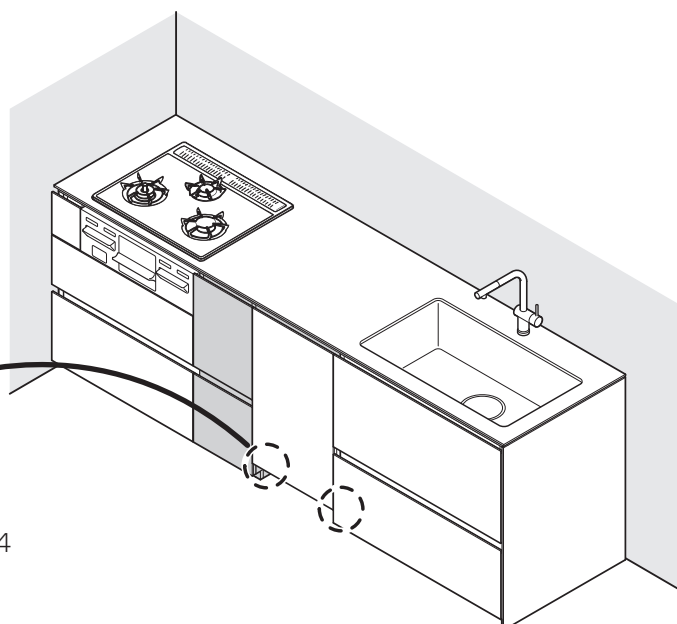
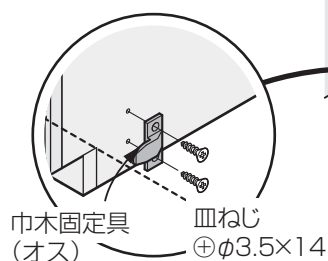
- ① 食洗機下部にある調整脚を回して、食洗機が水平・垂直になるように高さ調整をする。
※詳細は食洗機に付属の説明書に従い、調整してください。

- ② 輸入食洗機巾木両端の下穴位置に合わせて巾木固定具(メス)を取り付ける。

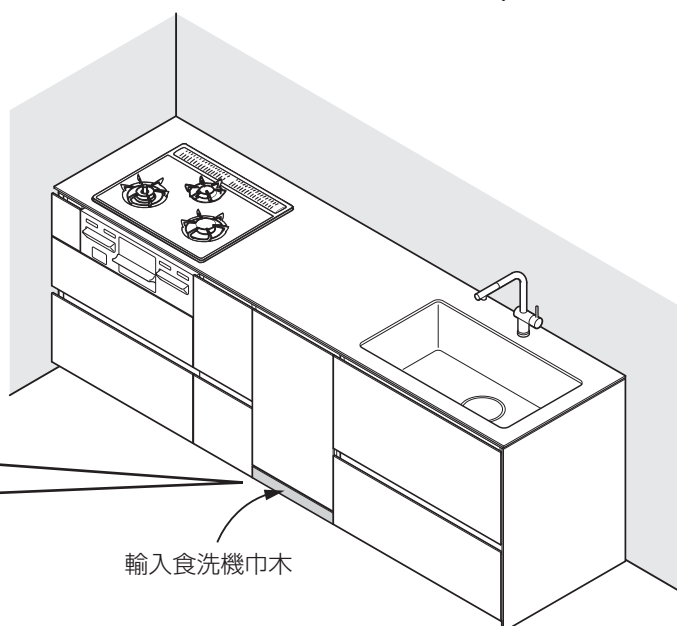


- ③ 取付け準備時にあけた下穴に、巾木固定具(オス)を取り付ける。

輸入食洗機の取付け準備は、本説明書の16ページを参照してください。



- ④ 輸入食洗機巾木を取り付ける。



調整

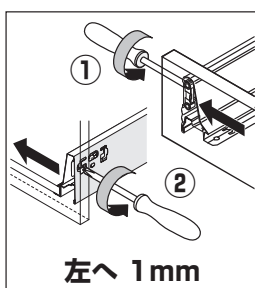
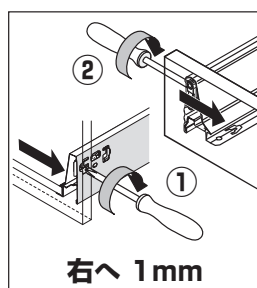
1 引出し・扉



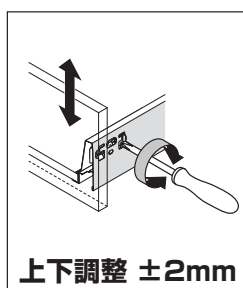
設置完了後、扉の傾き、がたつき、丁番（ヒンジ）の緩みがないことを必ず確認する
使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

■ 引出しレール

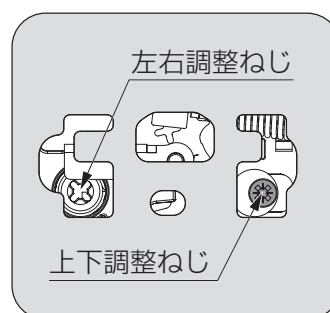
左右調整



上下調整



調整ねじ位置

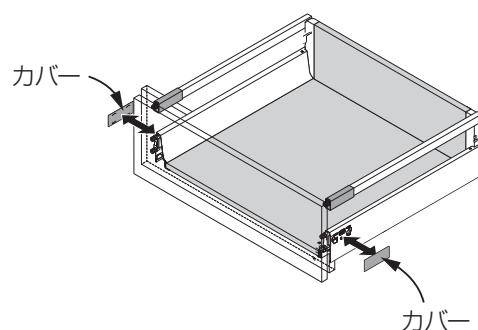


左右調整をする場合は、引出し裏にある引出し前板と底板を連結しているL金具のねじを緩めてから調整する。

左右調整、上下調整の作業前にはレール横のカバーを外し、作業後にはカバーを取り付ける。

※ 調整後はL金具のねじを必ず締め付けてください。

※ L金具は付いていない場合もあります。



■ グリル脇小引出しレール

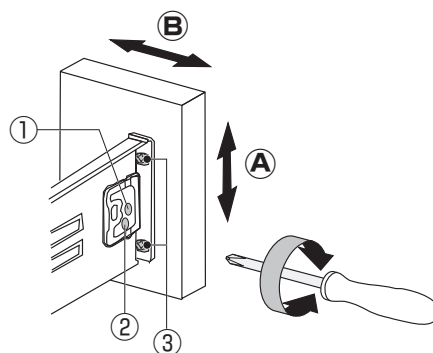
微調整が必要な場合は、下図を参考にねじをまわして調整する。

① 高さ調整(±1.5mm)

ねじ①を緩めて偏芯ねじ②で高さ調整する。
調整後はねじ①を締めて固定する。

② 左右調整(±1.5mm)

ねじ③を緩めて前板を左右調整する。
調整後はねじ③を締めて固定する。



■背面収納丁番

 注意	
 必ず守る	設置完了後、扉の傾き、がたつき、丁番（ヒンジ）の緩みがないことを必ず確認する 使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。
	扉の調整は正しく行う 耐震ロックが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。

微調整が必要な場合は、丁番のねじ①②③をまわして調整する。

左右調整

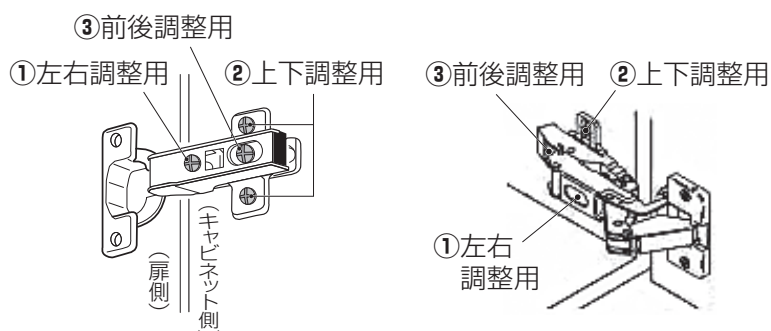
右図①のねじをまわす。

上下調整

右図②のねじを緩めて調整する。
調整後、ねじを締めてください。

前後調整

右図③のねじをまわす。

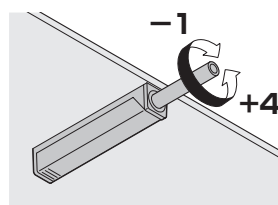


※①②③以外のねじはさわらないでください。

■プッシュラッチ（背面収納扉）

微調整が必要な場合は、プッシュラッチの先端部を引き出した状態で左右にまわして、飛出し代を調整する。

- 左へまわす：飛出し代が大きくなる（+4mm）
- 右へまわす：飛出し代が小さくなる（-1mm）



右へ回す
飛出し代が小さくなる

左へ回す
飛出し代が大きくなる

組立設置後の確認

■ 下記の表に従い、仕上がりをチェックしてください。

	チェック項目	チェック		チェック項目	チェック
キャビネット	各キャビネットの連結は確実に行われているか。		シンク	シンク表面にキズ・汚れはないか。	
	壁面との固定は確実に行われているか。			シンクに水滴はないか。 ※排水の水もれ確認や水栓金具の通水 確認後は、水滴の残らないよう、 必ずふき取ってください。	
	キャビネット内にキズ、汚れ、残材はないか。				
	各キャップ類は取り付けてあるか。				
ワークトップ	ワークトップ表面にキズ、汚れはないか。		フード	レンジフードが正常に作動するか。	
	ワークトップの水平はよいか。			照明は点灯するか。	
	ワークトップのタイルに割れやカケはないか。		加熱機器	機器の作動は正常か。	
扉・引出し	扉・引出しに傾き、がたつき、緩みはないか。			ガス種は合っているか。	
	扉・引出し・棚板は確実に取り付けられているか。			ガス元栓はついているか。	
	扉・引出し前板の調整はできているか。		資料	取扱説明書はお客様の目につきやすい 場所に置いてあるか。(引出しの最上段など)	
	扉の丁番は確実にセットされているか。			電気工事・配管工事を行う商品の取付設置 説明書は、取付け事業者が目につきやすい 場所に置いてあるか。	
	扉・部材に貼られている保護シートは はがしてあるか。		養生	養生されているか。 ※内装工事が続いて行われるときや、引き渡し までに日数があるときは、必ず養生して ください。 ※粘着力の弱い養生テープで商品表面を避け 目立ちにくい部分に貼り付けてください。	
	プッシュオープン扉の前後調整はできているか。				
	引出し裏のバンポンを保護するマスキング テープははがしてあるか。				
	引出しのタイルに割れやカケはないか。		清掃	キャビネットや扉のほこり・汚れは 柔らかい布でふき取られているか。	
排水セット	水漏れはないか。(トラップーシンク トラップーエルボ)				
	防臭キャップは確実に排水管に固定されて いるか。				
	排水トラップのエルボは確実に差し込まれ ているか。				
	エルボの三角パッキンの忘れ、方向は 間違っていないか。				
水栓金具	水栓金具は確実に固定されているか。				
	湯・水の混合の具合はいいか。				
	水栓金具のレバー、ハンドルのぐらつき などはないか。				
	吐水口のぐらつきなどはないか。				

お願い

試運転を実施してください。

機能商品（ガスコンロ、IHクッキングヒーター、水栓金具、レンジフード、食器洗い乾燥機など）は、それぞれの取扱説明書に基づき、必ず試運転の実施をし、確実に作動することを確認してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096



GER01S/Di0526-0